

[illegible]

●化学物質を放散させる機材等

●室内空気中の化学物質の濃度測定

●主任技術者等

●電気保安技術者

●技能士の適用

○監督員事務所

●工事用電力・水・その他

●工事用仮設物

●足場・さん橋類

●建設発生土の処理

●埋め戻し土・盛土

●工事写真・完成図等

●運転操作説明板

●機材の承諾図

●総合調整

●電源周波数

●容量等の表示

●耐震措置

本工事の建物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。

- 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
- 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
- 3) 接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
- 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
- 5) 上記１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のもを使用するものとする。また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する機材等
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤不使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。

測定はパンプ型採集機器により行う。

測定時期 ○工事着手前 ●施工終了時（建築工事に含む）
 測定対象室 ○示 ●示
 測定箇所数 ○示 ●示

下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。

●資格の区分1)

(イ) 建築業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者
 (ロ) 技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。）、水道部門又は衛生工学部門に合格した者

○資格の区分2)

(イ) 技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者
 (ロ) 資格の区分1)の資格を有する者

工事現場における電気保安技術者は、監督職員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行うものとする。 ○要 ●不要

●配管施工（配管工事） ●建築板金施工（ダクト製作および取付け）
 ●熱絡線施工（保温工事） ●冷凍空調調和機器施工（冷凍空調機器の据付け）
 ○設けなく ○設ける

この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。

構内につくことが ●できる ○できない

●別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用する。

●本工事で設置とする。

○改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。

○内部仮設足場等（○種 ○種）
 ○外部仮設足場等（○種 ○種）

●展張し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に堆積とする。

○構外適切処分

●切取り土の中の良質土 ●山砂の類
 ●完成図の原因サイズは、原則としてA1サイズとする。
 ●CADデータの提出 ○要 ●不要
 ●既存完成図（CADデータ）の修正を行う。
 ●安全に関する資料の提出部数は3部とする。

系図図、機器等の取扱い方及び重要な定期検査項目を書いたアクリル樹脂製の板を機械室に貼ける。説明板の大きさは、約 m² とする。

機械設備工事機材承諾図様式（平成28年版）によるほか、監督職員の指示による。

●本工事（調整項目は下記のものとする。）

○風量調整 ●水量調整 ●室内外空気の湿度の測定 ●個別リモコンの設定（節電機能）
 ○室内気流及びじんあい測定 ○騒音の測定 ●飲料水の水質の測定
 ●50Hz ○60Hz

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

設備機器の固定等は、「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修（建築設備耐震設計・施工指針 最新年版）」により行う。ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力 K_H 及び設計用鉛直地震力 K_V（K_H/2）を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用標準水平地震力

設置場所	機器種別	○ 特定の施設		● 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	(2.0)	2.0	(2.0)	(1.5)
	水槽類（※1）	(2.0)	(1.5)	(1.5)	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	水槽類（※1）	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	水槽類（※1）	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)

(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
 () 内の数値は水槽類に適用する。

・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平家建の場合は無し）

・重要機器は次のものを示す。

○給水装置 ●排水装置 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器

●配管	●防災設備 ●監視制御設備 ○危険物貯蔵装置 ●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ○ (1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ○呼び径60S以下 ●SAS322を満足した継ぎ手による接合) ○呼び径75S以上 ●溶接接合、<i>ハジゲン</i>形継手による接合又は<i>フレンジ</i>接合) (2) 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図「建築物導入部の変位吸収配管要領」による。 ○(a) ○(b) ○(c) (3) 接続部の非破壊検査 ○不要 ○要) 既設配管を含む部分の試験 ●要(方法及び圧力：監督官の指示による) ○不要 「機器と配管接続」取付け箇所は図示による。 (1) 地中埋設機 ●要(曲がり、分岐箇所) ○不要 (2) 埋設表用テープ ●要(排水管を除く) ○不要																																											
	●屋外露出部(●給水管 ●消火管 ○膨脹管 ○ドレン管 ●給湯管(●弁類を含む))は防凍保温を行う。仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。厚さは配管の呼び径25以下のものは50mm、呼び径32以上のものは40mmとする。 ○共同溝の保温は「標準仕様書第2編の施工要領」を適用する。 ●多湿箇所は下記の系統とする。(天井内共有多湿箇所とする。) ○調理室フード排気系統 ●洗浄室排気系統 ○ ●屋内露出(○)の保温外装は(○アルミガラスクロス ●カラー亜鉛鉄板)とする。 ●塗装(●屋外露出の金属電線管) 既存コウクリー1床、壁等の配管貫通部の穴開けは、X線によるレントゲン撮影を行い、鉄筋及び電気配線の状況を確認してから、ダイヤモンドカッターにて行うこと 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5表4.1.11による。 () 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 ●(槽内 ●ビット内)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。 (○100kg以上 ●全て)の設備機器を天井ふところ又は吊りボルトの長さが、1.5m以上にて吊り支持する場合、振れ止めの支持とする。 ○下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。																																											
○施工調査	事前調査 調査項目																																											
●設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th><th colspan="2">外 気</th><th colspan="6">屋 内 (調 整 目 標)</th></tr> <tr> <th colspan="2"></th><th colspan="2">一 般</th><th colspan="2">調理室</th><th colspan="2">食品庫・和えお室</th></tr> <tr> <th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th></tr> <tr> <td>夏期</td><td>35.1℃</td><td>42.0%</td><td>26.0℃</td><td>成行き</td><td>25.0℃</td><td>80%以下</td><td>25.0℃</td><td>80%以下</td></tr> <tr> <td>冬期</td><td>-11.2℃</td><td>81.0%</td><td>22.0℃</td><td>成行き</td><td>25.0℃</td><td>80%以下</td><td>25.0℃</td><td>80%以下</td></tr> </table>		外 気		屋 内 (調 整 目 標)								一 般		調理室		食品庫・和えお室		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏期	35.1℃	42.0%	26.0℃	成行き	25.0℃	80%以下	25.0℃	80%以下	冬期	-11.2℃	81.0%	22.0℃	成行き	25.0℃	80%以下	25.0℃	80%以下
	外 気		屋 内 (調 整 目 標)																																									
			一 般		調理室		食品庫・和えお室																																					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																				
夏期	35.1℃	42.0%	26.0℃	成行き	25.0℃	80%以下	25.0℃	80%以下																																				
冬期	-11.2℃	81.0%	22.0℃	成行き	25.0℃	80%以下	25.0℃	80%以下																																				
○鋼板製煙道	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。																																											
○ダクト	鋼板厚(○3.2mm ○4.5mm) ○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法)とする。 ○高圧ダクト(適用範囲は図示による。)とする。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト、耐火ダクトの仕様は別図による。 取付け箇所は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防塵ダンパー 復帰方式(○遠隔 ○手動) ○定格入力値はDC24V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー(PFD) 復帰方式(○遠隔 ○手動) (3) レリフダンパー(RD) ○自立式 (1) 冷温水管 ○ (2) 冷却水管 ○ (3) 油管 ○ (4) 蒸気管 給気管 ○ 還 管 ○ (5) 加湿給水管 ○一般配管用ステンレス鋼管(SU管) (6) 冷媒管 ○冷媒用被覆銅管(ハイグレード) (7) ドレン管 ○ポリ硬質塩化ビニル管(VP) ○耐火二層管 JIS又はJV ●(5K ○10K(図示部分)) 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ●ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 ○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取付ける。 取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 コック付とし、取り付け箇所は図示による。 制弁壁には(○給油ポンプ制御 ○満油警報 ○遠隔警報 ○電磁弁制御 ○返油ポンプ制御 ○減油警報)の端子を設ける。 なおフオートスイッチ部と制弁壁間の配管配線は製造者の標準仕様とする。 図示の位置に取付ける。 ●選りダクトの保温 範囲は(●全てのダクト ○空調室の天井以外) ●外気ダクトの保温 範囲は(●全てのダクト○) ○膨脹タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨脹管の項による。 ○建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨脹管の項による。 ●空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ●冷媒管の外装(外部)の種類は(○図示による ●ステンレス鋼板)																																											
●ダクト	●低圧ダクト(●コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法)とする。 ○高圧ダクト(適用範囲は図示による。) ●厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1mm厚いものを使用する。 取付け箇所は図示による。 ○空気調和設備の当該項目による。 ○浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統。●厨房用排気ダクト																																											
●風量測定口	空気調和設備の当該項目による。																																											
●ダンパー	●全熱交換ユニット用のダクト(保温の厚さ25mm、○範囲は図示による ●以下による)																																											
●排気ダクトのシル	(●機器1次側○A・E・A ●SA ●RA) (●厨房 ○湯沸室)用の隠へい部ダクト保温仕様は(1・イ)・Ⅹとし、範囲は図示による。																																											
●チャンパー																																												
●保溫																																												
○温度計																																												
○圧力計																																												
○取開流量計																																												
○油面制御装置																																												
○絶縁継手																																												
●保溫及び消音内貼り																																												
○重量鉄板																																												
○排煙口の形式																																												
○排煙口手動開放装置																																												
○開放及び復帰方式)																																												
○排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。																																											
●システム構成その他	図示による。																																											
●電気計装工事の配線	使用する電線種はFM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11の使用する電線種の規格による。(機器、盤類は除く)																																											
	屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。																																											
	天井内隠へいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。																																											

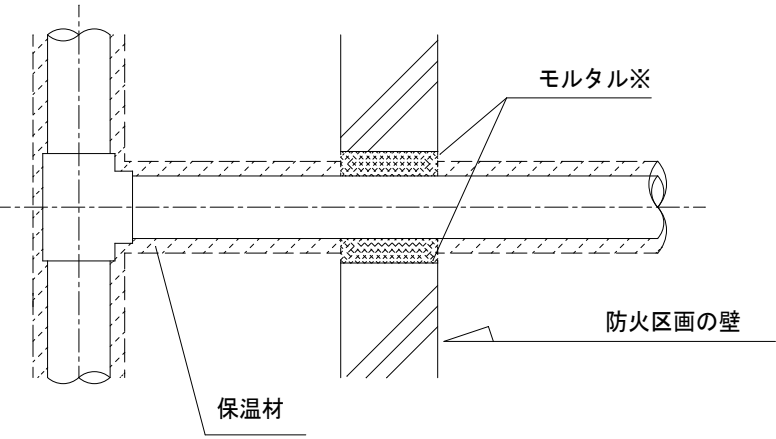
自動洗浄装置及びその組み込み	洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ●個別感知フラッシュ方式 (一体型) 制御盤 (〇要 〇不要) 〇要 (材質:) (〇大便器 〇小便器 〇) 〇不要 ●A C 1 0 〇 V 〇乾電池 〇自己給電
自動水栓の電源供給方式	〇標準図 (耐火性能が必要となる集塵器・風量大便器の防火区画貫通処理要領 (b)) による。
風量大便器の防火区画貫通処理	〇ユニットの配管材料は、監督員の指示による。 ●洋風便器の洗浄水量は8.5L/回以下とする。
衛生器具ユニット風便器	
配管材料 (●管種表参照)	(1) 給水引込管 (給水マテマまで) 水道事業者の指定による (2) 地中埋設配管 ●水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD 〇 (3) その他の一般配管 ●水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB 〇
水栓	台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ●水栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 (●ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。) ●親メーター (●貸与品 〇) 〇子メーター (〇買い取り 〇) ●水道事業者指定品 (〇貸与品 〇買い取り) 又は ●標準図M形 JIS又はJV ●水道直結品 (〇10K 〇) ●その他の部分 (●5K 〇) ●ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 管の上端より原則として、一般敷地は (凍結深度 60cm) 構内道路は (80cm) 以上とする。 〇合成樹脂製 ●アルミニウム合金製 〇人造石とぎ出し製 〇ステンレス製 標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) の (a) 〇 (b) 〇 (c) による。 ●要 (〇別途工事 (施工負担) ●本工事) 〇不要
洗面器等の排水管	(1) 屋 内 土中埋設 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VP 隠蔽部 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VP 雨水管 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VP 通気管 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VP (2) 屋 外 第一崩まで 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VP 樹間 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VU 雨水管 〇硬質ポリ塩化ビニル管 VU (土中埋設以外は建築工事) 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管 (RF-VP) でもよい。 ●標準仕様書第2編2.4.8(f)による 〇図示の箇所に取り付ける。 ●要 (●別途工事 (施工負担) 〇本工事) 〇不要
配管材料 (●管種表参照)	〇耐熱性塩化ビニルライニング鋼管
配管材料 (●管種表参照)	JIS又はJV (●5K 〇10K (図示部分)) ●ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 沸湯器の給排気筒 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編表3.1.5 表2.3.5のh・(イ)・Ⅹとする。
配管材料 (●管種表参照)	(1) 屋内消火栓 一般 〇配管用炭素鋼管 (白) 地中 〇消火用硬質塩化ビニル外面ライニング鋼管SGP-VS (2) スプリンクラー 一般 〇配管用炭素鋼管 (白) 地中 〇消火用硬質塩化ビニル外面ライニング鋼管 SGP-VS 〇 (3) 屋外露出配管は標準仕様書第2編3.1.5. e・(ハ)・Ⅵによる保温を行う。 ただし、防凍保温は共通事項による。 標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) 〇 (a) 〇 (b) 〇 (c) による。
配管材料 (●管種表参照)	住き配管 〇配管用炭素鋼管 (黒) SGP 〇圧力配管用炭素鋼管 (黒) STPG (sch20) ※高圧配管 速り配管 〇ステンレス鋼管
システム	〇ドラインシステム 〇
雨房用熱源	図示による。
機器の機能等	図示による。
ガス種別	〇都市ガス (供給者名) ●液化石油ガス
配管材料 (●管種表参照)	〇都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ●液化石油ガス (1) 一般 ●ガス用硬質塩化ビニル被覆鋼管 (2) 地中 ●ガス用ポリエチレン管 (〇バルクタンク2.9 t ●ボンベ50kg) (●強制気化装置 〇) 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 1.0本組。 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) の (● (a) 〇 (b)) による。 ●親メーター (●貸与品 〇本工事) 〇子メーター (〇買い取り 〇) 〇本工事 〇別途工事 〇要 〇不要 〇要 〇不要
ガス漏れ警報器	●厨房設置 〇ボイラー排水中和 〇浄化槽
ガス洩れ検知装置	図示による。
電気防食	
込込負担金等	
設備方式	
仕様等	

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	 一級建築士事務所 群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL (027) 231-3000 代表	管理職建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査、検図	総括監査者 一級建築士 第260191号	萩原正人	担当設計者	図 面 番 号 MP-002
皆野町新・学校給食センター(仮称)建設工事	特記仕様書1	A 1版 N/S A 3版 N/S	R07. 03	.							

■防火区画（壁）

【保温管】

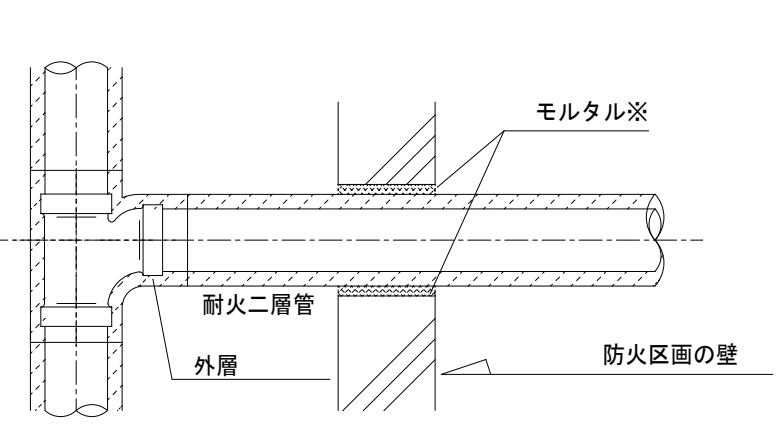
給水、ガス、冷却水、消火



■防火区画（壁）

【耐火二層管】

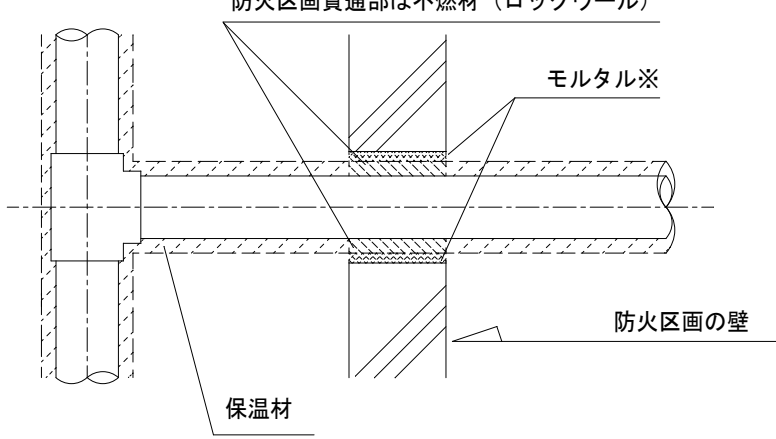
排水、空調ドレン（65以上）



■防火区画（壁）

【保温管】

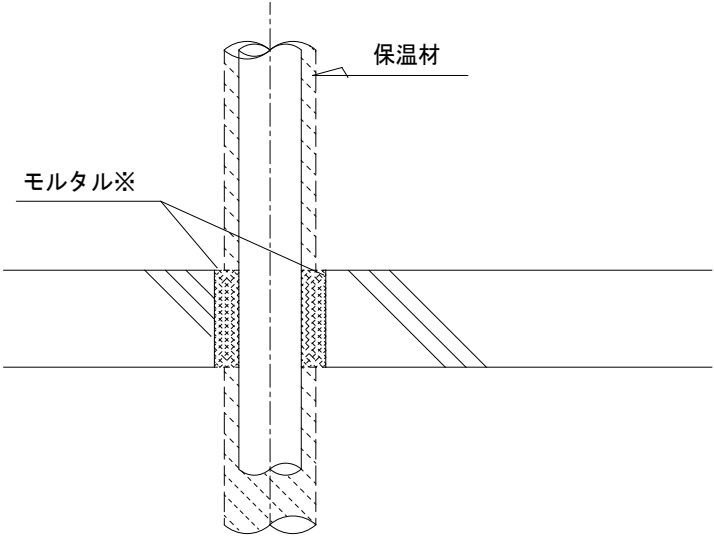
冷水、冷温水、蒸気



■防火区画（床）

【保温管】

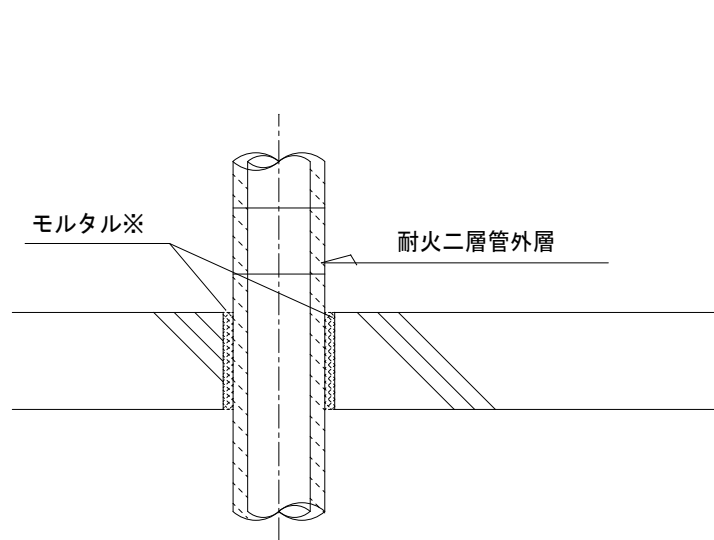
給水、ガス、冷却水、消火



■防火区画（床）

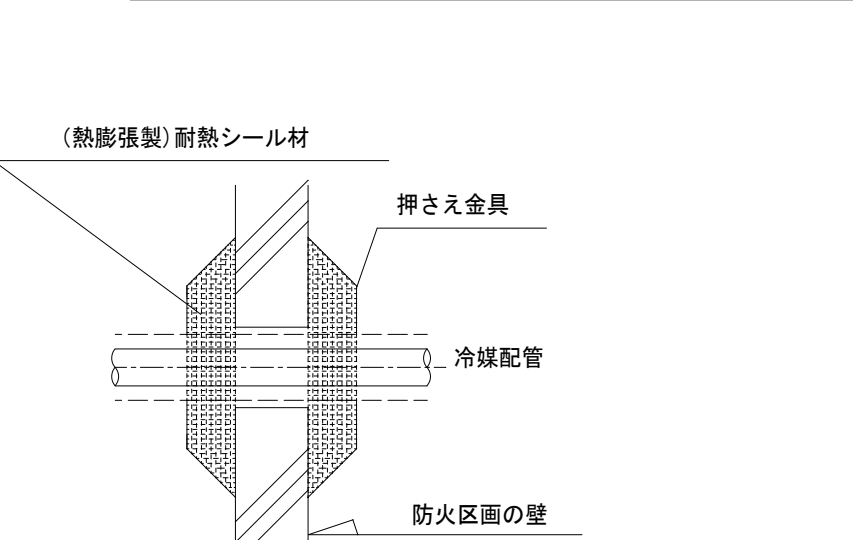
【耐火二層管】

排水、空調ドレン（65以上）



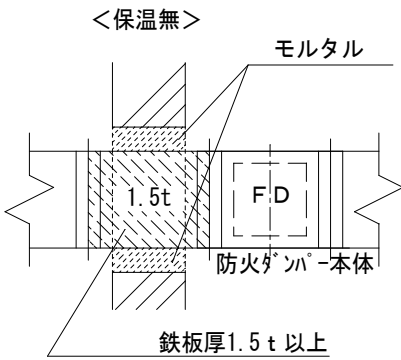
■冷媒配管防火区画（壁・床）

【冷媒管・給湯管の壁貫通部耐火措置材（国土交通大臣認定番号）相当品】

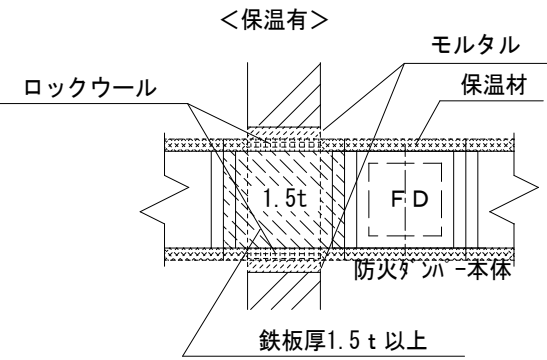


※すきまを埋める材料はモルタルの他、ロックウール・耐火バターの使用も可とする。
防火区画を貫通する配管は建築基準法施行令112-15、113-2、114-5、129の2の5に準ずるものとする

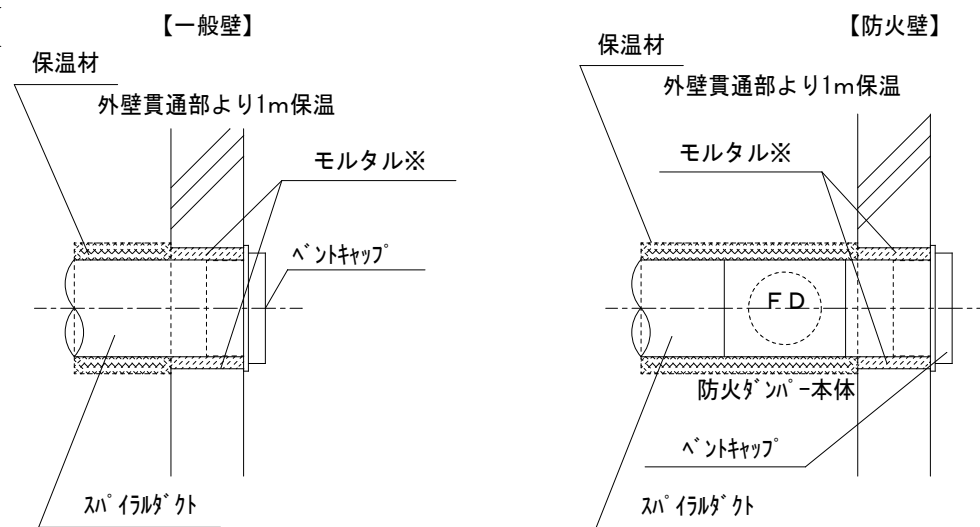
■防火区画【ダクト】



■外壁貫通ダクト【一般部】



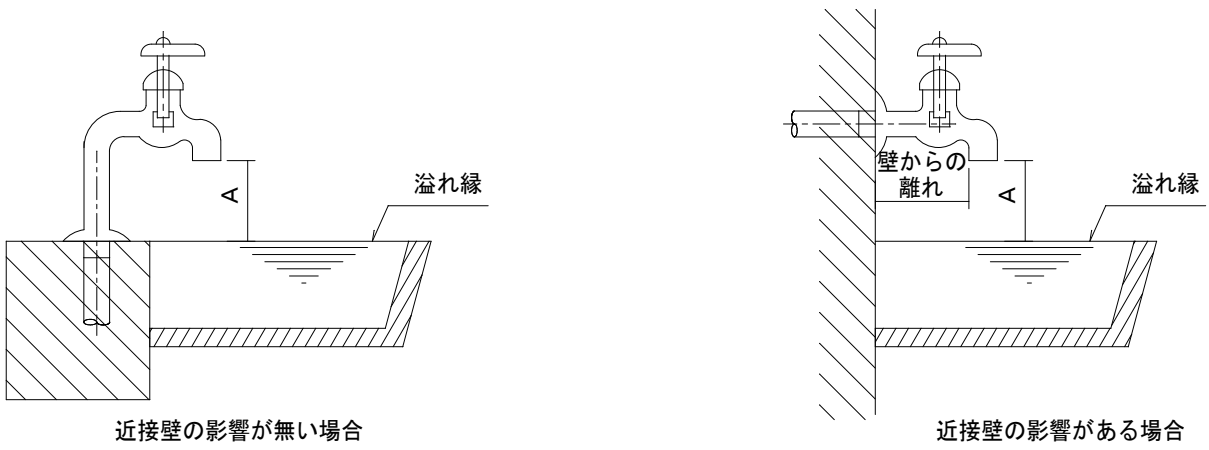
■外壁貫通ダクト【防火壁】



※すきまを埋める材料はモルタルの他、ロックウール・耐火バターの使用も可とする。
防火区画を貫通するダクトは建築基準法施行令112-16、113-2、114-5、S48建設省告示2565、H12建設省告示1376に準ずるものとする

水洗と衛生器具の吐水口空間確保要領図（参考図）

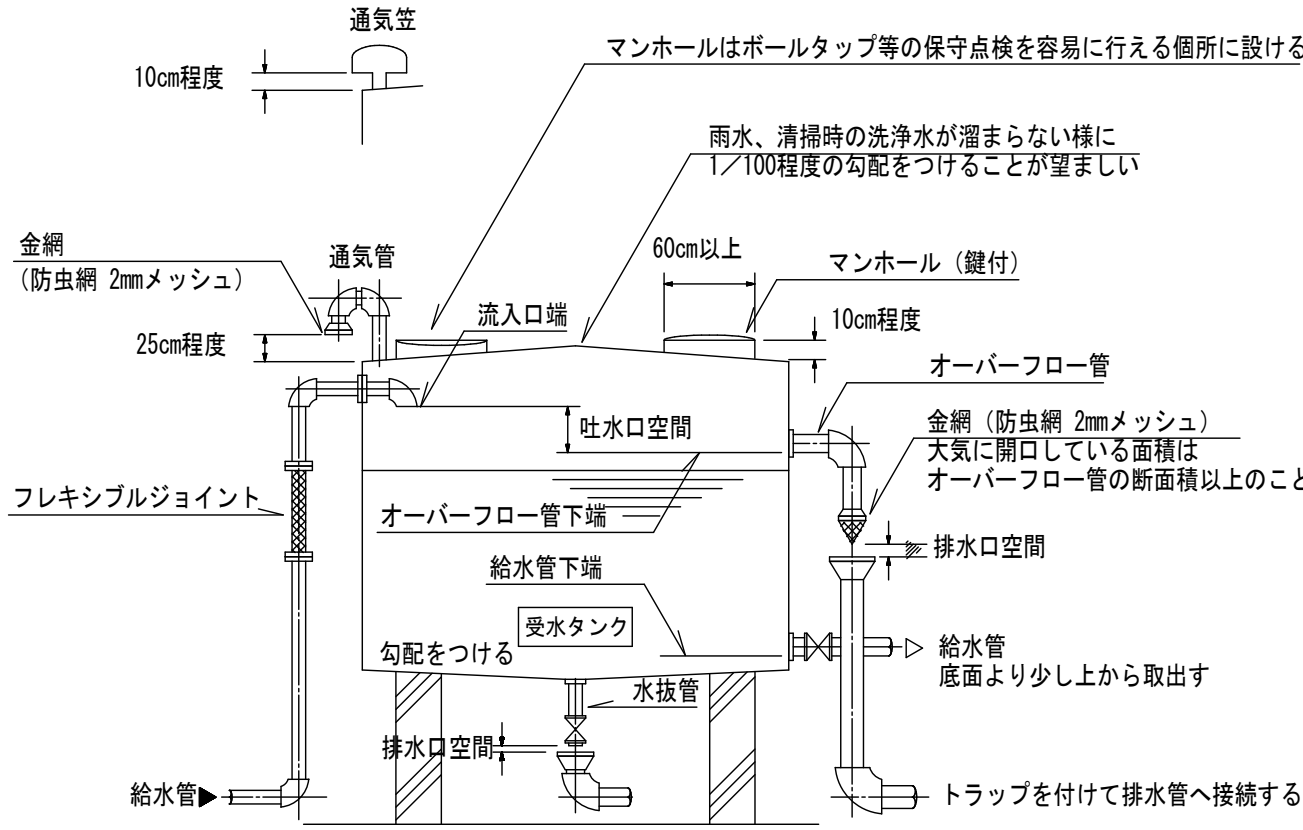
※建築基準法施行令129の2の5に準ずるものとする



吐水口空間 寸法 A (HASS206-1982)							
近接壁の影響が無い場合	近接壁の影響がある場合						
	近接壁の1面の場合			近接壁の2面の場合			
	壁からの離れ			壁からの離れ			
1.7d'+5	3d'以下	3d'以下	5d'超	4d'以下	4d'以下	6d'超	7d'超
	3d'	2d'+5	1.7d'+5	3.5d'	3d'	2d'+5	1.7d'+5

①吐水口の径d
②こま押え部分の内径
③給水栓の接続管の内径

受水槽廻り要領図



「満水時15kgを超える」全ての給湯設備に対する転倒防止措置について
(建築基準法施行令第129条の2の4第1項に基づき、建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改正する告示（平成24年1447号）の仕様規定に従い施工を行う事

①（告示第5の1号に該当）給湯設備の底部を固定する場合～（据置型上部固定なし）

設置階	質量 ^{※1} 73kg以下	底部固定部材の仕様 ^{※3}	本数 ^{※3}
地階	16kg～	M8×35（おねじ形あと施工アカー）、又は2.8kN/本以上のもの	3本以上
	200kg以下	M6×30（おねじ形あと施工アカー）、又は2.2kN/本以上のもの	4本以上
	201kg～	M10×40（おねじ形あと施工アカー）、又は3.6kN/本以上のもの	3本以上
	敷地の部分	350kg以下	M6×30（おねじ形あと施工アカー）、又は2.2kN/本以上のもの
中間階 ^{※4}	351kg～	M12×50（おねじ形あと施工アカー）、又は5.8kN/本以上のもの	3本以上
	600kg以下	M10×40（おねじ形あと施工アカー）、又は3.6kN/本以上のもの	4本以上
	16kg～	M8×35（おねじ形あと施工アカー）、又は2.8kN/本以上のもの	4本以上
	200kg以下	M6×30（おねじ形あと施工アカー）、又は2.2kN/本以上のもの	4本以上
上層階 ^{※5}	201kg～	M12×50（おねじ形あと施工アカー）、又は5.8kN/本以上のもの	3本以上
	350kg以下	M10×40（おねじ形あと施工アカー）、又は3.6kN/本以上のもの	4本以上
	351kg～	M16×60（おねじ形あと施工アカー）、又は8.0kN/本以上のもの	3本以上
	600kg以下	M12×50（おねじ形あと施工アカー）、又は5.8kN/本以上のもの	4本以上
屋上	16kg～	M12×50（おねじ形あと施工アカー）、又は5.8kN/本以上のもの	4本以上
	201kg～	M12×50（おねじ形あと施工アカー）、又は5.8kN/本以上のもの	4本以上
屋上	350kg以下	M10×100（J形埋込アカー）、又は9.0kN/本以上のもの	4本以上
	351kg～		4本以上
600kg以下			

②（告示第5の2号に該当）給湯設備の上部を固定する場合～（据置型上部固定あり）

設置階	質量 ^{※1}	上部固定部材の仕様（いずれか） ^{※3}	本数 ^{※3}	底部固定部材の仕様 ^{※3}	
地階	16kg～	M5×20（おねじ形あと施工アカー）	1本以上	底部固定不要	
	60kg以下	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）15mm以上	1本以上	（但し、自立する構造で	
	敷地の部分	61kg～	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）12mm以上	2本以上	ある事）
		350kg以下	引張耐力合計が0.3kN以上の7ヶ所 ^{※4} M ^{※5}	－	
中間階 ^{※4}	61kg～	M5×20（おねじ形あと施工アカー）	1本以上	M8×35（おねじ形あと施工アカー）又はせん断耐力が	
	60kg以下	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）15mm以上	2本以上	0.3kN/本以上のもの3本以上	
	上層階 ^{※5}	61kg～	M5×20（おねじ形あと施工アカー）	1本以上	底部固定不要
		350kg以下	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）15mm以上	2本以上	（但し、自立する構造で
屋上	61kg～	M5×20（おねじ形あと施工アカー）	1本以上	ある事）	
	350kg以下	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）25mm以上	4本以上		
屋上	61kg～	引張耐力合計が0.6kN以上の7ヶ所 ^{※4} M ^{※5}	－	M8×35（おねじ形あと施工アカー）又はせん断耐力が	
	350kg以下	引張耐力合計が0.8kN以上の7ヶ所 ^{※4} M ^{※5}	－	0.7kN/本以上のもの3本以上	

表③（告示第5の3号に該当）給湯設備の壁掛けの場合～（壁掛設置）

設置階	質量 ^{※1}	壁掛固定部材の仕様 ^{※3}	本数 ^{※3}	
地階	16kg～	M6×30（あと施工アカー）、又は0.3kN/本以上のもの	2本以上	
	60kg以下	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）12mm以上	4本以上	
	敷地の部分	61kg～	又は0.2kN/本以上のもの	
		100kg以下	M6×30（あと施工アカー）、又は0.5kN/本以上のもの	2本以上
中間階 ^{※4}	61kg～	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）15mm以上	4本以上	
	100kg以下	又は0.2kN/本以上のもの	6本以上	
	上層階 ^{※5}	61kg～	M6×30（あと施工アカー）、又は0.5kN/本以上のもの	2本以上
		100kg以下	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）12mm以上	4本以上
屋上	61kg～	又は0.2kN/本以上のもの	6本以上	
	100kg以下	M6×30（あと施工アカー）、又は0.5kN/本以上のもの	4本以上	
屋上	61kg～	木ねじΦ4.8+有効打ち込み長さ（木下地）15mm以上	8本以上	
	100kg以下	又は0.4kN/本以上のもの		

パイプシャフトに固定する場合～（表③の壁掛けの場合に含まれる）

設置階	質量 ^{※1}	金枠のねじ固定部の厚さ（標準）	固定の仕様 ^{※3}	本数 ^{※3}
すべて	16kg～	1.6mm	M5 ねじ	3本以上
の階	60kg以下			

注1）質量は支持構造部（据置台等）の質量と給湯設備を満水にした時の質量の総和

注2）アスペクト比は、機器の幅又は奥行きの小さい方に対する機器の高さの比

注3）ねじ及びアンカーの径及び長さは、記載寸法以上のものを採用する事

注4）中間階とは、地階及び上層を除く階をいう

注5）上階とは、地階除く階数が2以上6以下の建築物の最上階

地階除く階数が7以上9以下の建築物にあっては最上階及び直下階

地階除く階数が13以上の建築物にあっては最上階及び最上階から数えた階数が4以内の階をいう

工事件名

菅野町新・学校給食センター（仮称）建設工事

図面名称

特記仕様書3

縮尺

A1版 N/S
A3版 N/S

設計年月日

F07.03

訂正年月日

一級建築士事務所 群馬県 登録 47号
福島建築設計事務所
群馬県前橋市白吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表 萩原憲一

管理級建築士
一級建築士 第252777号
萩原憲一

照査・検図

経済部設計者

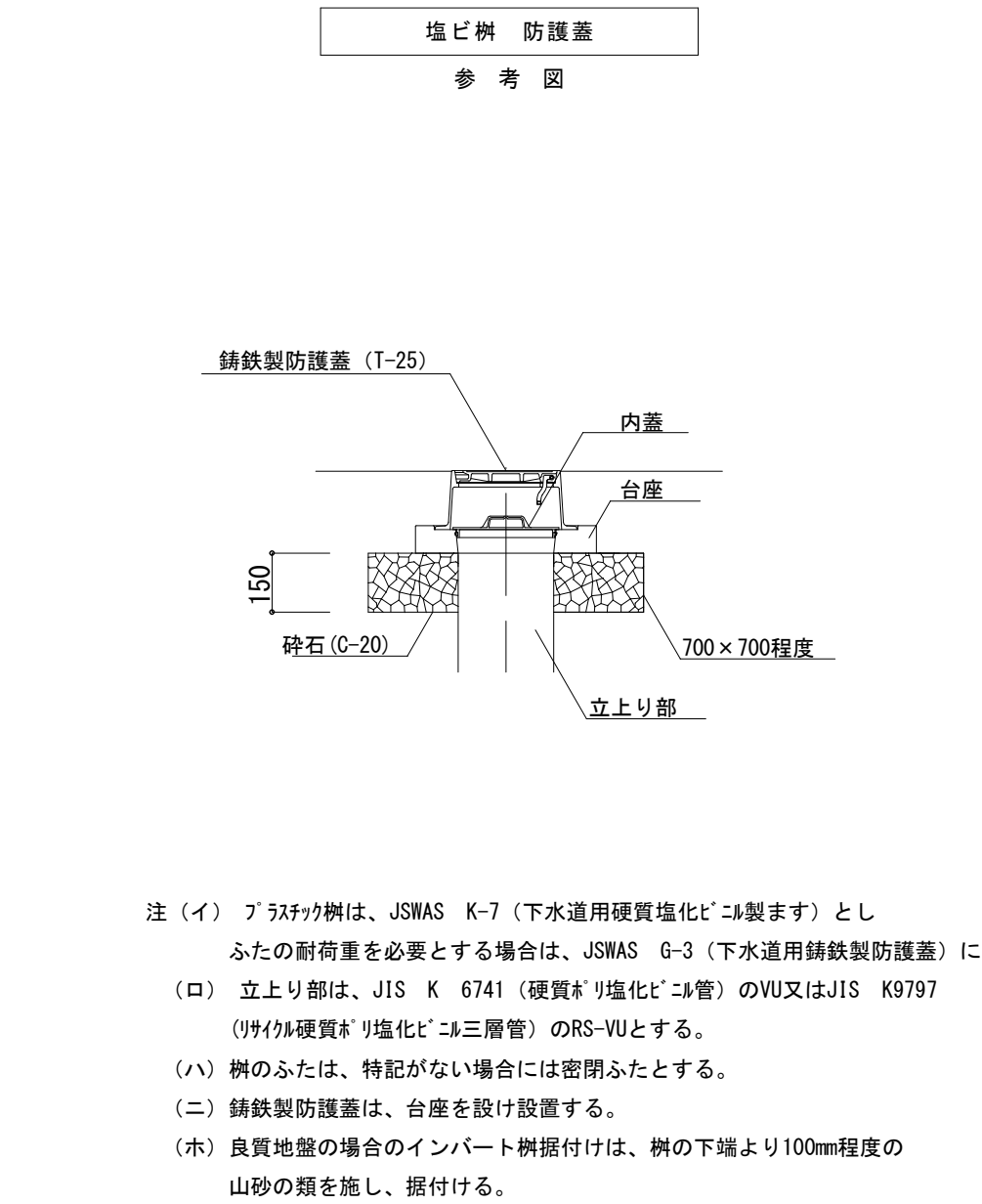
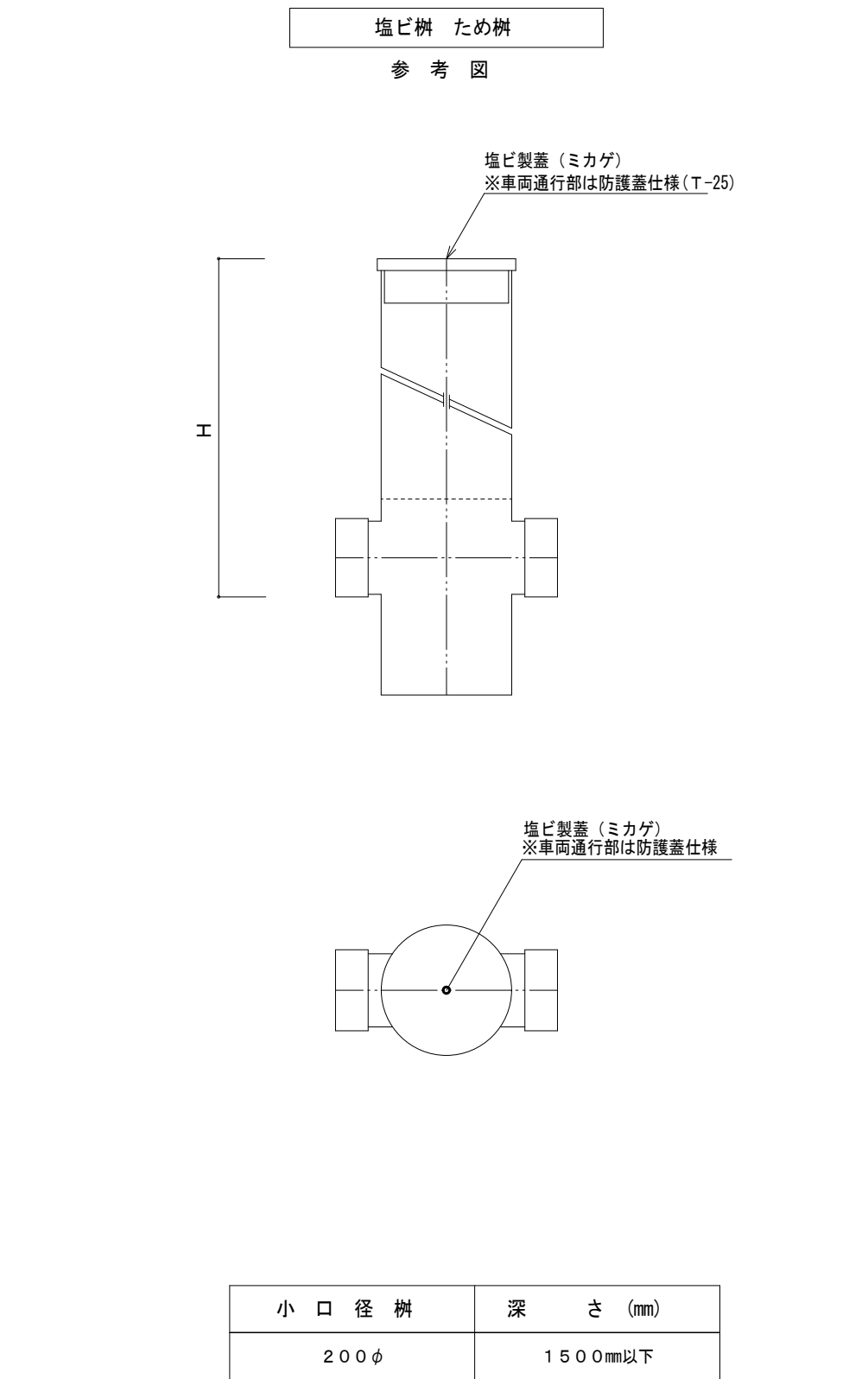
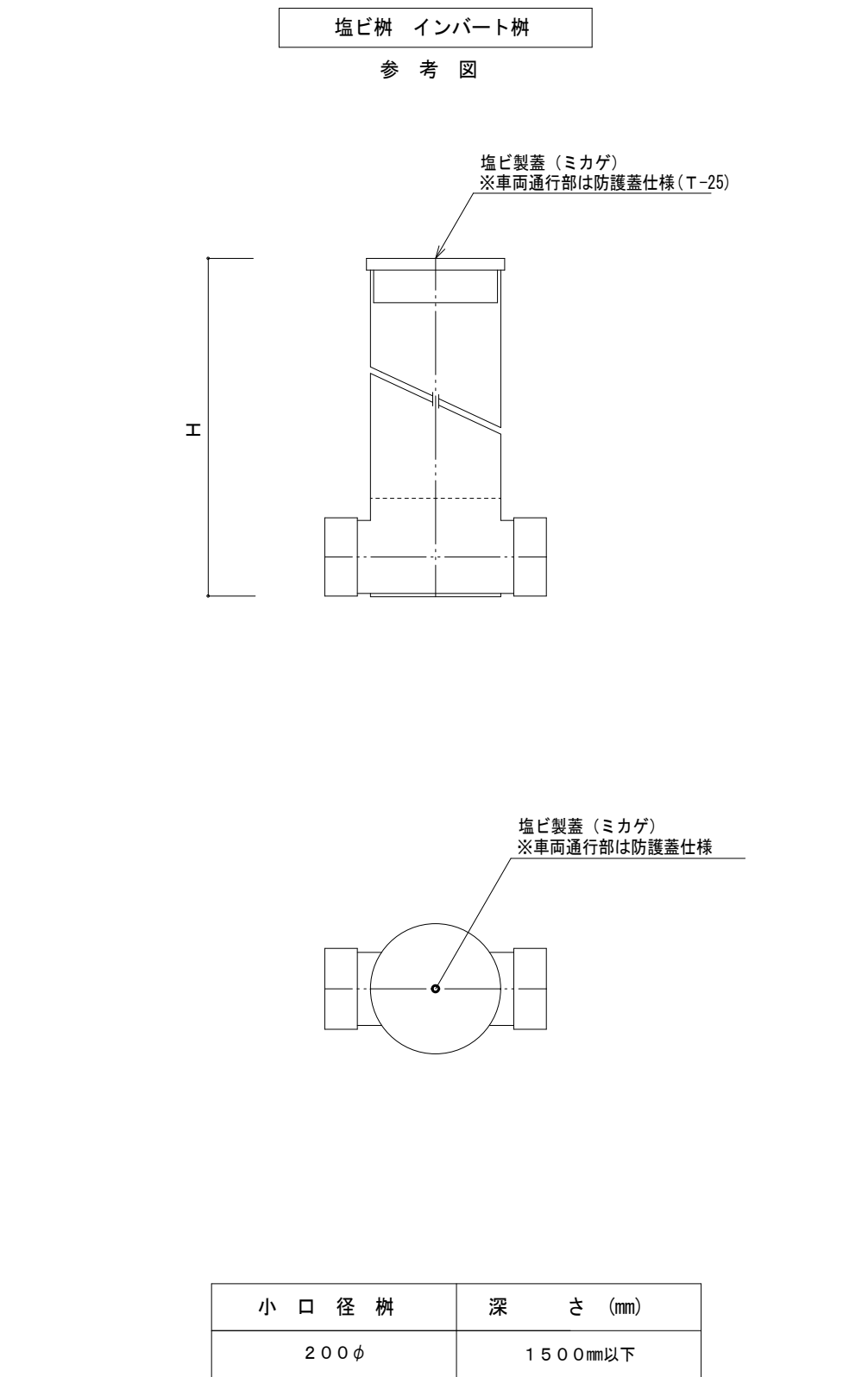
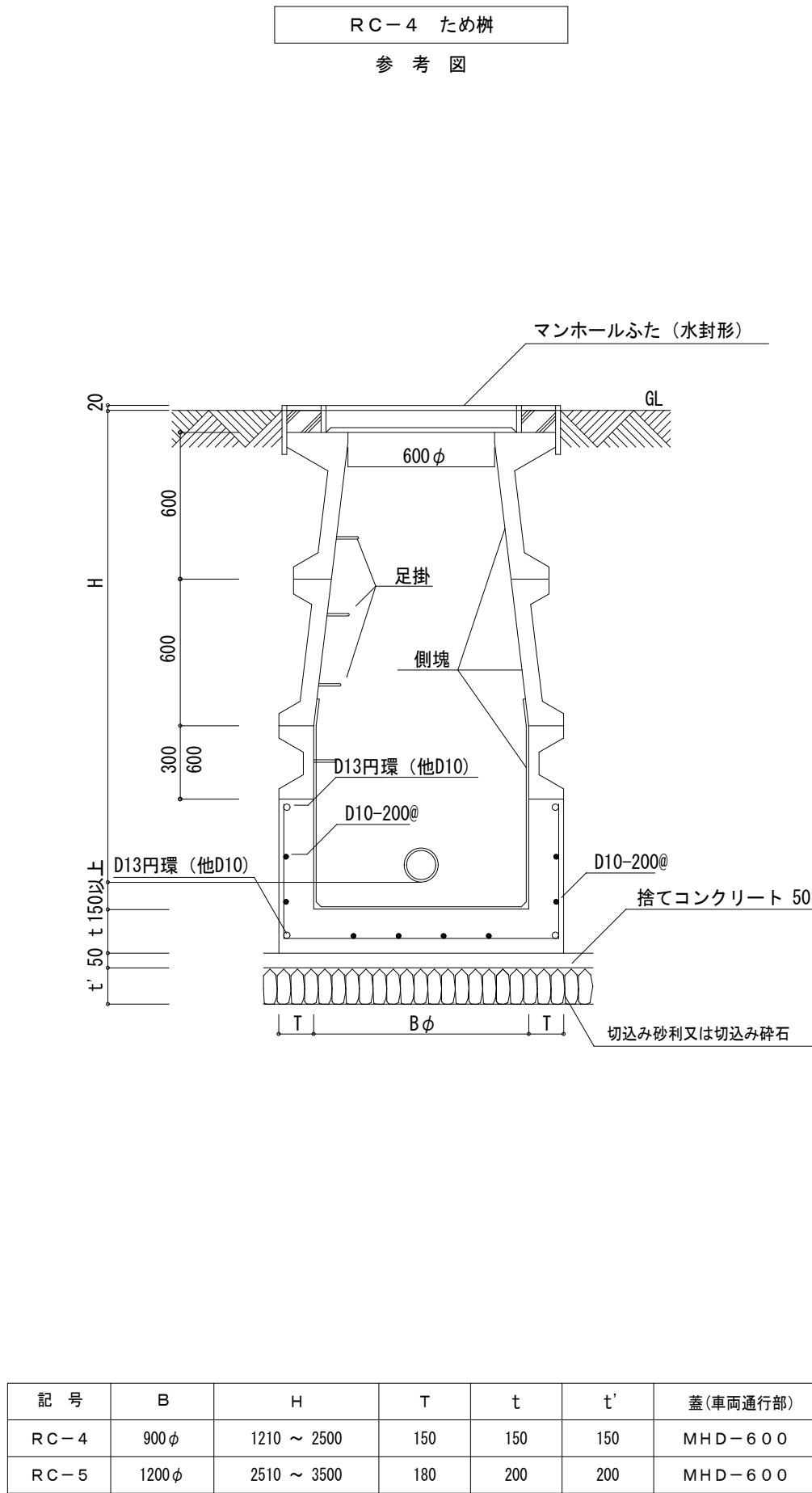
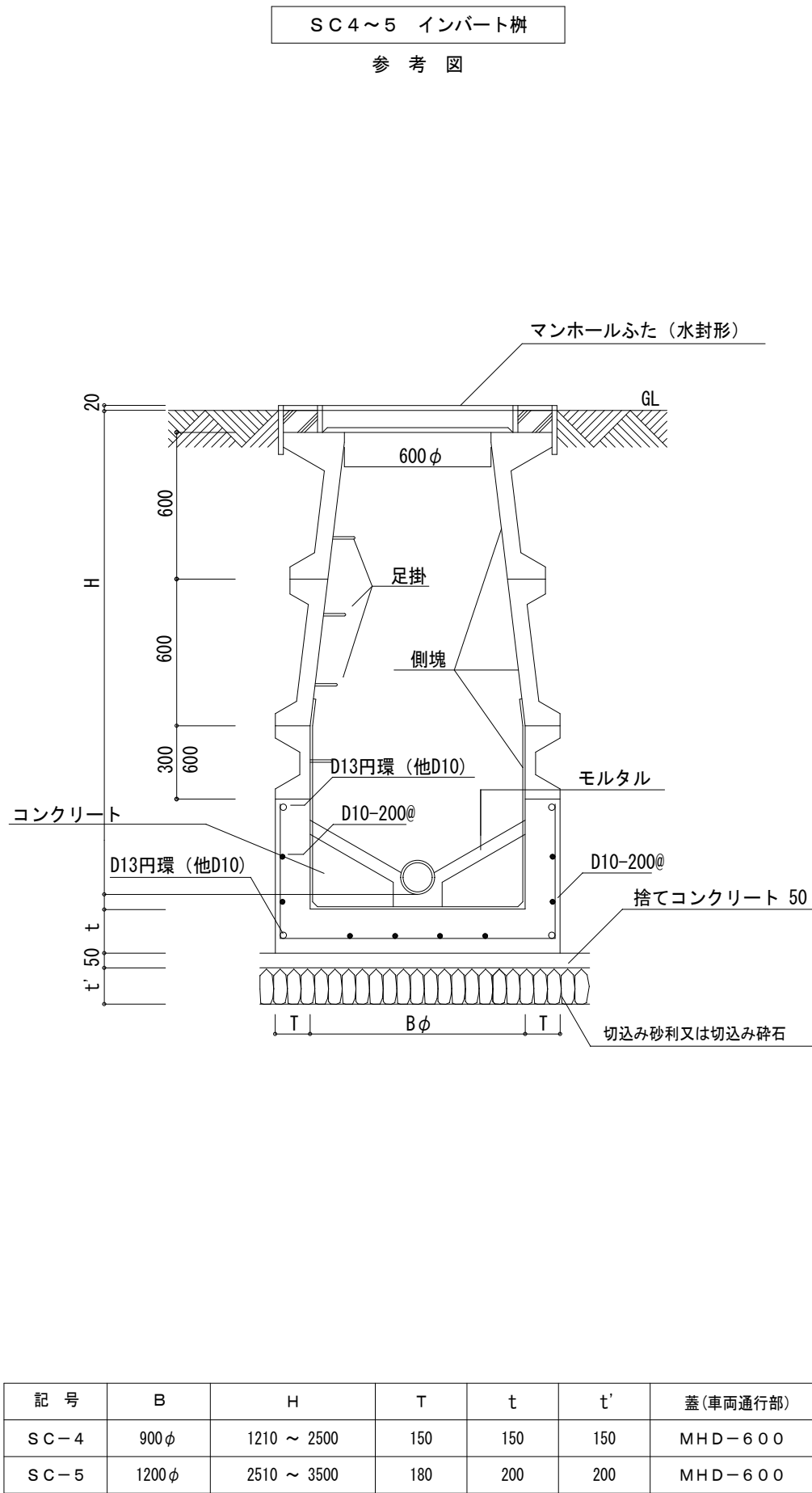
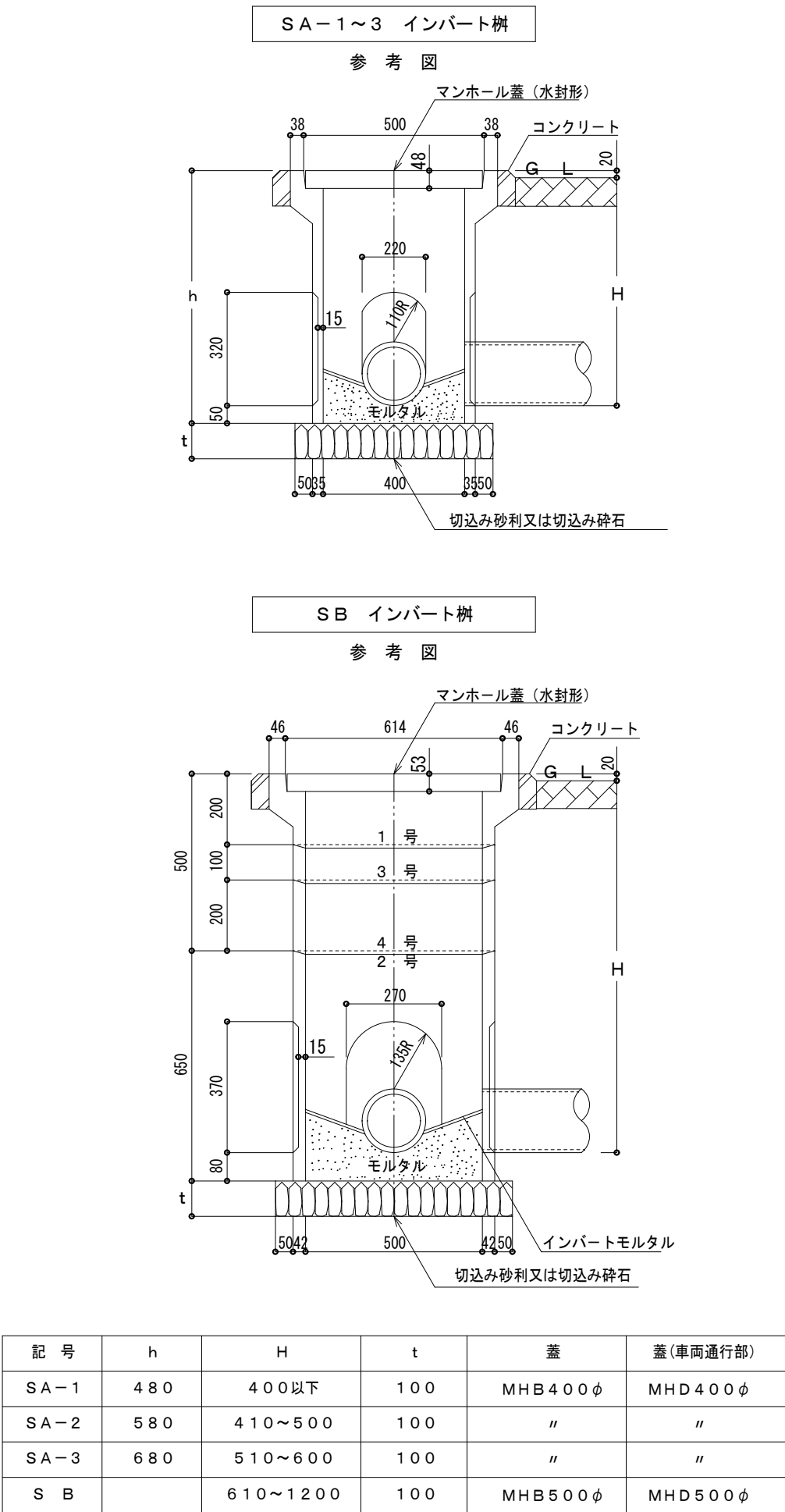
萩原正人

担当設計者

図面番号

MP-004

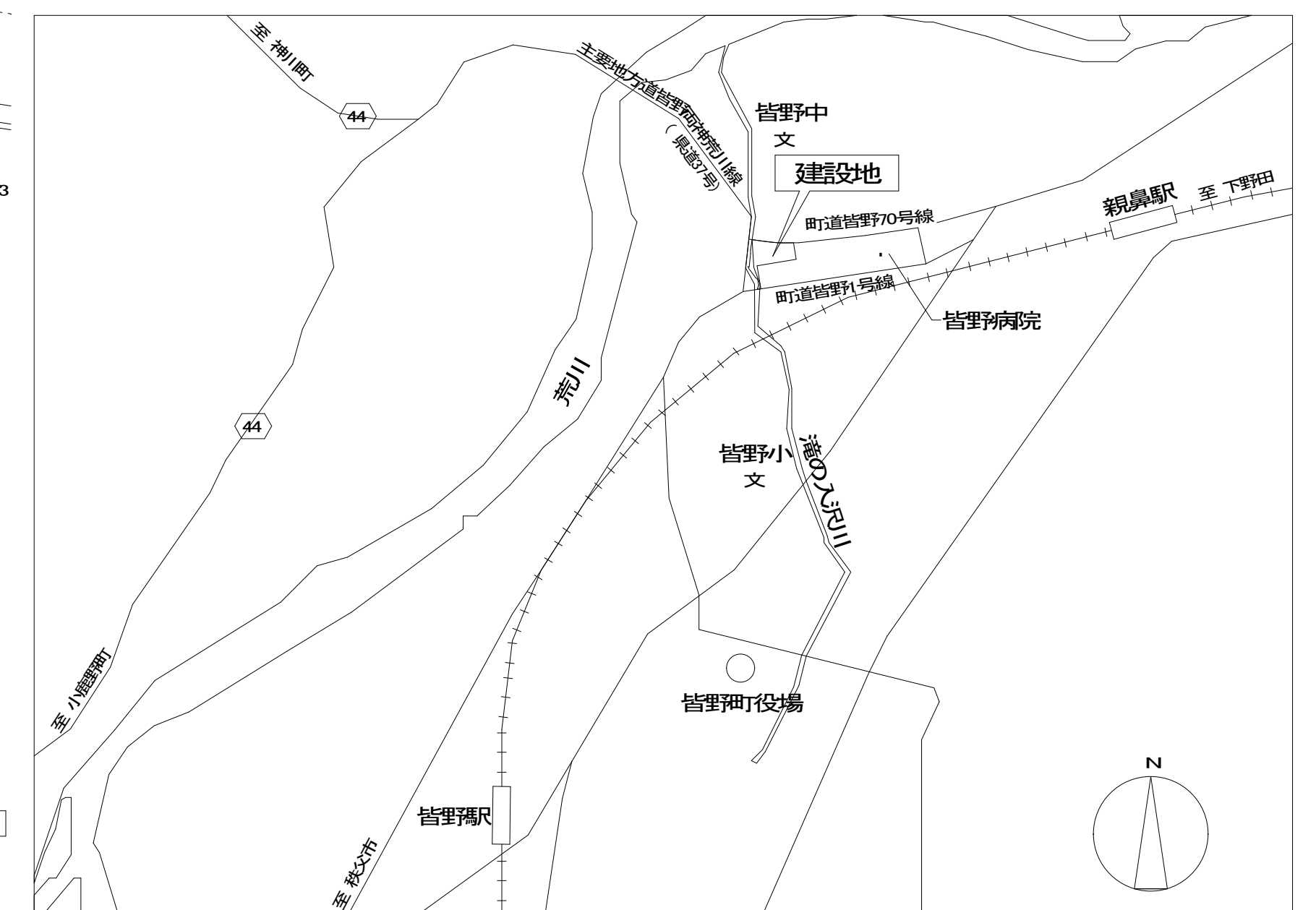
管 種 表			継手：国土交通省監修の機械設備工事共通仕様書による 保温・塗装及び防錆工事：国土交通省監修の共通仕様書による			
配管凡例記号	工 種	施 工 場 所	管 種		保 温	
					保温材	仕 上 げ
――・――	給 水 管	屋 外 埋 設	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VD		
		屋 内 埋 設	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VD		
		屋 外 露 出	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VB	ポリスチレンフォーム	ステンレス鋼板
		屋 内 露 出	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VB	グラスウール	ステンレス鋼板
		屋 内 隠 ベ イ	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VB	グラスウール	アルミガラスクロス
		ピ ッ ト 内	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VB	ポリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス
――・――	給 水 引 込 管	引 込 埋 設	(本管取り出し～量水器1次側)		皆野市指定管材	
		敷 地 内 埋 設	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP－VD		
――Ⅰ―― (注)	給 湯 管	屋 外 露 出	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	K－HVA	グラスウール	ステンレス鋼板
		屋 内 露 出	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	K－HVA	グラスウール	ステンレス鋼板
		屋 内 隠 ベ イ	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	K－HVA	グラスウール	アルミガラスクロス
		ピ ッ ト 内	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	K－HVA	ロックウール	着色アルミガラスクロス
――Ⅱ―― (注)	汚 水 管	屋 外 埋 設	(第一樹まで) 硬質ポリ塩化ビニル管		VP	
		屋 内 外 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
屋 内 露 出		硬質ポリ塩化ビニル管	VP			
屋 内 隠 ベ イ		硬質ポリ塩化ビニル管	VP			
ピ ッ ト 内		硬質ポリ塩化ビニル管	VP			
――――	雑 排 水 管	屋 外 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 隠 ベ イ	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		ピ ッ ト 内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
――RD――	雨 水 排 水 管	屋 外 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 隠 ベ イ	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		ピ ッ ト 内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
――K――	調理系統排水管	屋 外 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		ピ ッ ト 内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
――HD――	ボイラー排水管	高 温 排 水	配管用炭素鋼管（白）	SGP	※高温排水対応 MD継手	埋設部は防食テープ巻き
屋外埋設（樹間）		遠心力鉄筋コンクリート管	HP			
屋 内 外 埋 設		配管用炭素鋼管（白）	SGP		防食テープ巻き	
ボイラーブロー排水		一般配管用ステンレス鋼管	Su	グラスウール	アルミガラスクロス	
――――	通 気 管	屋 外 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 隠 ベ イ	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		ピ ッ ト 内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 外 埋 設	ポリエチレン被覆鋼管（二層）			
――G――	ガ ス 管	屋 外 露 出	ポリエチレン被覆鋼管（一層）			
		屋 内 露 出	ポリエチレン被覆鋼管（一層）			
		屋 内 隠 ベ イ	ポリエチレン被覆鋼管（一層）			
		ピ ッ ト 内	ポリエチレン被覆鋼管（一層）			
		機 械 室 露 出	配管用炭素鋼管（黒）	SGP	グラスウール	アルミガラスクロス
――S――	蒸 気 管	屋 内 露 出	配管用炭素鋼管（黒）	SGP	グラスウール	ステンレス鋼板
		屋 内 隠 ベ イ	配管用炭素鋼管（黒）	SGP	グラスウール	アルミガラスクロス
		ピ ッ ト 内	配管用炭素鋼管（黒）	SGP	グラスウール	着色アルミガラスクロス
		機 械 室 露 出	配管用ステンレス鋼管	SUS304－TPA（sch40）	グラスウール	アルミガラスクロス
――SR――	遠 水 管	屋 内 露 出	配管用ステンレス鋼管	SUS304－TPA（sch40）	グラスウール	ステンレス鋼板
		ピ ッ ト 内	配管用ステンレス鋼管	SUS304－TPA（sch40）	グラスウール	着色アルミガラスクロス
――X――	消 火 管	屋 内 外 埋 設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	SGP－VS		
		屋 外 露 出	配管用炭素鋼管（白）	SGP	グラスウール	ステンレス鋼板
		屋 内 露 出	配管用炭素鋼管（白）	SGP		塗装
		屋 内 隠 ベ イ	配管用炭素鋼管（白）	SGP		
		ピ ッ ト 内	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	SGP－VS		
		屋 外 埋 設	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
――D――	ド レ ン 管	屋 外 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
		屋 内 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管	VP	(塩ビ管：グラスウール	合成樹脂製カバー)
		屋 内 隠 ベ イ	硬質ポリ塩化ビニル管	VP	(塩ビ管：グラスウール	アルミガラスクロス)
		ピ ッ ト 内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		
――R――	冷 媒 管	屋 外 露 出	冷媒用被覆断熱鋼管（国土交通省仕様）液：保温厚8～10mm／δ's：保温厚20mm			ステンレスラッキング
		屋 内 露 出	冷媒用被覆断熱鋼管（国土交通省仕様）液：保温厚8～10mm／δ's：保温厚20mm			
		屋 内 隠 ベ イ	冷媒用被覆断熱鋼管（国土交通省仕様）液：保温厚8～10mm／δ's：保温厚20mm			
――A――	圧 縮 空 気 管	屋 内 露 出	配管用炭素鋼管（白）	SGP		塗装
		屋 内 隠 ベ イ	配管用炭素鋼管（白）	SGP		



工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 年 月 日	一級建築士事務所・群馬県登録47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原京恵一	照査・検図	経済部設計者 一級建築士 第260191号	萩原正人	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新 学校給食センター(仮称) 建設工事	管種表・樹参考図	A1版 N/S A3版 N/S	F07. 03								NP-005

[illegible]

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	 一級建築士事務所、群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL (027) 231-3000 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査、校閲	総括監造者 一級建築士 第260191号	萩原正人	担当設計者 二級建築士 第12979号	成田麗木	図面番号 MP-006
皆野岡新・学校給食センター（仮称）建設工事	工事区分表	A 1版 N/S A 3版 N/S	2025. 03	.								



申請場所	埼玉県秩父郡皆野町大字皆野字新井2076-4、2076-5
用途地域	都市計画区内 準工業地域
防火・準防火の有無	無指定
敷地面積	2,404.65 m ²
建築面積	申請 968.11m ²
延べ面積	申請 1001.34m ²
建ぺい率	40.26%
容積率	39.94% (容積率算定からの除外部分) 西側屋根(車庫) 35.67㎡+屋根等 5.39=41.06㎡ 1001.34-41.06=960.28㎡ /2,404.65=39.94%
主要用途	工場 (学校給食センター) 区分 08340

建物棟目概要										
申請番号	建物名称	種別	構造	階数	最高 軒高	最高高さ	建築面積	延べ面積	耐火・ 準耐火	4号特例 の有無※1
1	学校給食 センター	新築	SRC造	2階建て	7.881m	8.250m	929.71㎡	962.94㎡	ロ準耐火	無
2	ブロン庫	新築	プレバ造	平屋建て	2.230m	2.260m	9.72㎡	9.72㎡	その他	有
3	ゴミ物置 北 ※2	新築	アルミゴム 合金造	平屋建て	2.047m	2.047m	2.00㎡	2.00㎡	その他	有
4	馬蹄倉庫	新築	アルミゴム 合金造	平屋建て	1.900m	2.423m	5.39㎡	5.39㎡	その他	有
5	排水処理槽 構築工事	新築	RC造	平屋建て	3.380m	3.405m	17.82㎡	17.82㎡	その他	有
6	ゴミ物置 南	新築	プレバ造	平屋建て	2.659m	2.659m	3.47㎡	3.47㎡	その他	有
建物の合計:							968.11㎡	1001.34㎡		

※1: 建築基準法第6条の4 第1項三号 小規模建築物の一部の規定の審査・検査の省略
 ※2: メッシュ芯が奥行き1mを超えるため、建築物として面積を算入する

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL (027) 231-3060 代表 管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原恵一 照査・検図 総計設計者 一級建築士 第260191号 萩原正人 担当設計者 図 面 番 号
皆野町新・学校給食センター(仮称) 建設工事	衛生設備 配置図	A 1版 1/150 A 3版 1/300	F07. 03		

汚水枳リスト

※樹の深さは、参考とする。

[illegible]

雨水枳リスト

※樹の深さは、参考とする。

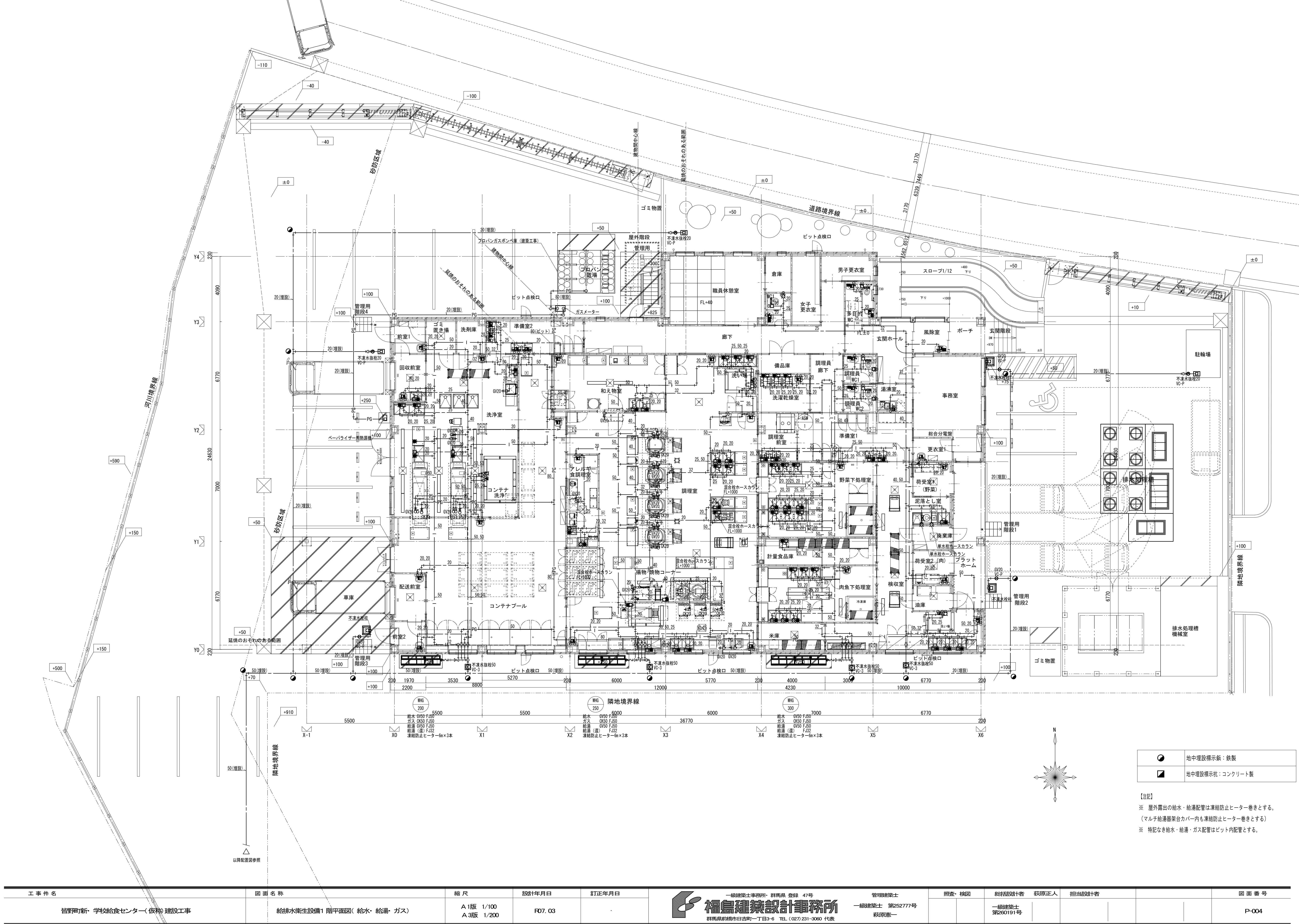
[illegible]

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	 一級建築士事務所、群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL (027) 231-3000 代表	管理級建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査、校閲	総括監設計者	萩原正人	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新・学校給食センター(仮称)建設工事	衛生設備 桟リスト	A 1版 N/S A 3版 N/S	F07. 03					一級建築士 第260191号			P-002

衛生器具表			合 計	1階																								備 考					
器 具 名 称	形 式	仕 様 ・ 付 属 品 形 式		多目的WC	WC 1	洗濯乾燥室	調理員WC 1	調理員WC 2	風除室	湯沸室	更衣室 1	荷受室 1（野菜）	荷受室 2（肉）	検収室	肉魚下処理室	野菜下処理室	調理室	アレルギー食調理室	和え物室	コンテナフール	前室 2	配送前室	回収前室	前室 1	洗浄室 1	調理室前室	準備室 1		泥落とし室	準備室 2	計量食品庫	屋外	
コンパクトオストメイトバック	UAS81RDB2NW	タンク式 電気温水器 1φ100V 600W 他付属品一式	1	1																													
洗面器	L270C	自動水栓一体形電気温水器 3L 1φ100V 600W 他付属品一式	5	1	1		1	1	1																								
化粧鏡	YMK52K	480×1100 他付属品一式	1	1																													
L型手すり	T112CL11	樹脂被覆タイプ φ34 他付属品一式	1	1																													
棚付二連紙巻器	YH702	他付属品一式	4	1	1		1	1																									
ペビーシート	YKA24S	他付属品一式	1	1																													
背もたれ	ENC283GR	ハードタイプ 他付属品一式	1	1																													
跳ね上げ式手すり	T112HK7	樹脂被覆タイプ φ34 他付属品一式	1	1																													
車椅子対応便器	OFS497BPC TCF5841AUP	フラッシュタンク式 温水洗浄便座（便蓋無し、金属ベースプレート仕様） 1φ100V 1260W 他付属品一式	1	1																													
手洗器	LSE570APS	埋込洗面器 自動水栓 電気温水器 1φ100V 505W 他付属品一式	3		1		1	1																									
洋風便器	OFS498BCK TCF5831AU	フラッシュタンク式 温水洗浄便座（オート開閉、オート洗浄） 1φ100V 1262W 他付属品一式	3		1		1	1																									
化粧鏡	YM3560A	350×600 他付属品一式	24		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	4	1	1	1	2	1	1	1	1	1								
化粧鏡	YMK11K3	200×800 他付属品一式	21			1			1		1	1	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	1	1									
洗面器	L210C	自動混合水栓 TLE28SS1A 壁排水 1φ100V 0.6W 他付属品一式	20			1					1	1	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	1	1									
首長自在水栓	特注品	首長：220mm レバーハンドル（水用）210mm 右開き 他付属品一式	40												3	6	9	10	2	2				5				1		1			
首長自在水栓	特注品	首長：220mm レバーハンドル（湯用）210mm 左開き 他付属品一式	40												3	6	9	10	2	2			1		5			1		1			
シャワーセット	TBV03414Z1	節水シャワーヘッド 2.0mシャワーホース 寒冷地仕様 他付属品一式	3											1			1							1									
清掃用水栓	T200ESNR13	横水栓 他付属品一式	3											1			1							1									
単水栓	T28AUH20	カップリング付 20mm 他付属品一式	2																									2					
散水栓	T28UNH13	B3BSK 他付属品一式	3																													3	
ミニキッチン	建築工事		(1)						(1)																								
洗濯機パン	PWP640N2W	縦引きトラップ 他付属品一式	3			3																											
サーモスタット混合水栓	TW40S	混合水栓 緊急止水弁付 他付属品一式	7			3											4																
ペーパータオルホルダー	YKT300MN	ステンレス製 300枚収納 他付属品一式	29			1			1		1	1	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2		4				
ペーパータオルホルダー	YKT100R	樹脂製 300枚収納 他付属品一式	4	1	1		1	1																									
不凍水栓柱	D-A-2013120BR	他付属品一式	3																														3
研ぎ出し流し	600-H型	他付属品一式	3																														3
横水栓	T28AUNH13	ホース接続形 カップリング付 他付属品一式	3																														3
自動水栓	TLE26SM2A	台付混合水栓 グースネック 1φ100V 0.6W 他付属品一式	8																								2	2		4			
自動ディスペンサー	UD-600A-W	手指消毒液600ml トレーF型G ACアダプター 600mlカートリッジボトル スプレー用 1φ100V 他付属品一式	28			1					1	1	1	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2		4			
自動ディスペンサー	UD-600S-W	石鹼液600ml トレーF型G ACアダプター 600mlカートリッジボトル フォーム用 1φ100V 他付属品一式	28			1					1	1	1	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2		4			
SUS製流し台	建築工事	排水トラップ共 (4)																									(1)	(1)		(2)			

衛生機器表		電氣仕様				設置場所	
記 号	名 称	仕 様	φ	V	kW (W)	台数	
WHG-200	ガス給湯器	型 式 屋外壁掛設置型 50号 4台連結 片側設置 L P G仕様 凍結防止ヒーター作動時	1	100	(1508)	1set	屋外
	＋即出湯ポンプユニット	能 力 367.6 kW					
		燃料消費量 26.24 kg/h					
		付 属 品 リモコン、リモコンコード、マルチ配管カバー、マルチ架台、マルチ配管セット					
		システムコントローラー、他標準付属品一式					
WHG-250	ガス給湯器	型 式 屋外壁掛設置型 50号 5台連結 片側設置 L P G仕様 凍結防止ヒーター作動時	1	100	(1836)	1set	屋外
	＋即出湯ポンプユニット	能 力 459.5 kW					
		燃料消費量 32.8 kg/h					
		付 属 品 リモコン、リモコンコード、マルチ配管カバー、マルチ架台、マルチ配管セット					
		システムコントローラー、他標準付属品一式					
WHG-300	ガス給湯器	型 式 屋外壁掛設置型 50号 6台連結 片側設置 L P G仕様 凍結防止ヒーター作動時	1	100	(2164)	1set	屋外
	＋即出湯ポンプユニット	能 力 551.4 kW					
		燃料消費量 39.36 kg/h					
		付 属 品 リモコン、リモコンコード、マルチ配管カバー、マルチ架台、マルチ配管セット					
		システムコントローラー、他標準付属品一式					
ASW-1	エアシャワー	集塵要素 H E P Aフィルタ				1	調理室前室
		集塵効率 0.3μm粒子にて99.99%以上					
		循環風量 16 m3/min±20%	3	200	630W±20%		
		風 速 25 m/s±20%					
		ノズル数 フラッタージェットノズル 16個					
		ド ア シートシャッター、半透明シート（オレンジ）					
		最大外形 1200W×1200D×2242H					
		製品質量 470kg					

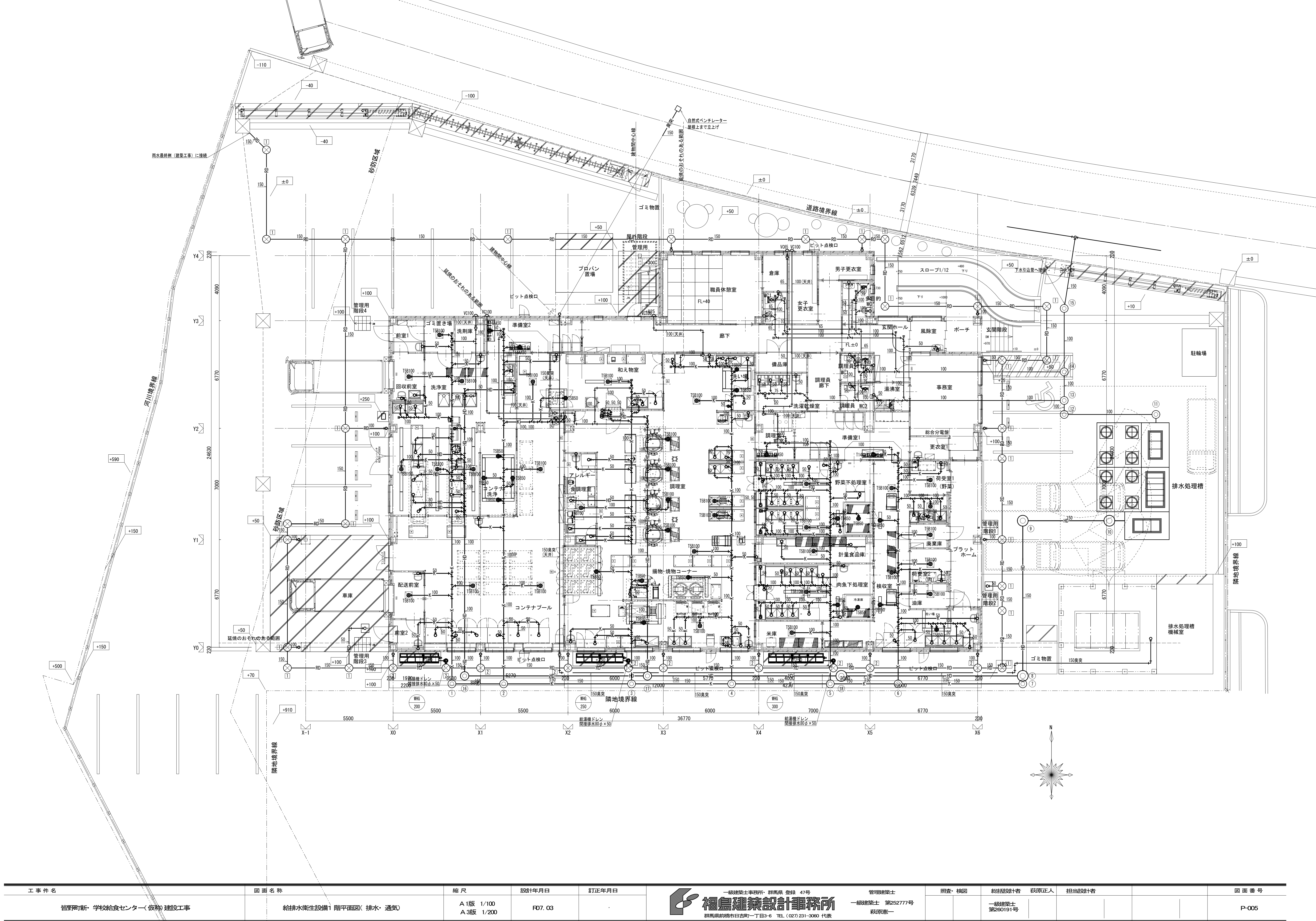
工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市白吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士	照査・検図	経緯部設計者	校原正人	担当設計者	図 面 番 号		
皆野町新 学校給食センター（仮称）建設工事	給排水衛生設備 機器表・器具表	A 1版 N/S A 3版 N/S	F07. 03			一級建築士 第252777号 萩原憲一		一級建築士 第260191号					P-003



	地下埋設標示鉄：鉄製
	地下埋設標示杭：コンクリート製

【注記】
※ 屋外露出の給水・給湯配管は凍結防止ヒーター巻きとする。
（マルチ給湯器架台カバー内も凍結防止ヒーター巻きとする）
※ 特記なき給水・給湯・ガス配管はビッド内配管とする。

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 年 月 日	一級建築士事務所 群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市白吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩京憲一	照査・検図	経済部設計者 一級建築士 第260191号	萩京憲一	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新 学校給食センター（仮称）建設工事	給排水衛生設備1 階平面図（給水・給湯・ガス）	A 1版 1/100 A 3版 1/200	F07. 03								P-004



工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 年 月 日	一級建築士事務所 群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市白吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査・検図	経緯部設計者 一級建築士 第260191号	萩原正人	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新 学校給食センター(仮称) 建設工事	給排水衛生設備1 階平面図(排水・通気)	A1版 1/100 A3版 1/200	F07. 03								P-005

排水処理設備特記仕様書

設計条件			
処理対象排水	給食センター排水		
計画排水量	29 m ³ /日		
排出時間	6 時間		
項 目	流入水質	放流水質	除去率
B O D	800 mg/L	600 mg/L	25.0
S S	600 mg/L	600 mg/L	-
n-Hx	150 mg/L	30 mg/L	80.0
pH	5.0~9.0	5.0~9.0	-
水温	15℃以上35℃以下	-	-
処理方式	担体流動ろ過気方式		
構 造	RCコンクリート財団法人日本建築センター耐久性評価取得BCJ-D069		

使用機器		
名称	数量	仕様
ばっ気ブロワ	2	50A ×2.44m ² 分 × 0.035MPa × 2.2kW (200V)
原水ポンプ	2	50φ × 0.30m ² 分 × 5.0m × 0.75kW (200V2P)
放流ポンプ	2	50φ × 0.20m ² 分 × 5.0m × 0.4W (200V2P)
消泡ポンプ	1	50φ × 0.20m ² 分 × 5.0m × 0.4W (200V2P)
流量計	1	50A
圧力計	1	
培養槽電動弁	1	40A
フロートスイッチ	6	原水ポンプ槽×3 放流ポンプ槽×3
QMSクリーン	1	
脱臭装置	1	活性炭方式 5m ² /分
脱臭ファン	1	5m ² 分×0.7kw (200V)

配管・電気設備工事仕様		
配管材料	空気配管(機械室内)	配管用炭素鋼鋼管(SCP・Q塗装)
	空気配管(土中埋設)	耐摩耗性硬質塩化ビニル管(HVVP)
	空気配管(槽内)	硬質塩化ビニル管(VP)
	ポンプ配管	硬質塩化ビニル管(VP)
	汚水配管	硬質塩化ビニル管(75φ以下VP、100φ以上VU)
給・排気配管	硬質塩化ビニル管(VU)	
弁 機械室内(エア管)	青銅製・アルミ製・鋳鉄製	
弁 機械室内(汚水管)	PVC製	
弁 槽内(エア管)	PVC製	
弁 槽内(汚水管)	PVC製	
弁 ポンプチャッキ	PVC製	
支持金物	槽内 SUS製、槽外 SS製垂鉛メッキ	
ボルトナット	SUS製	

配管管継ぎ手は各種管継ぎ手仕様に準拠する。
ポンプ圧送配管はIS継ぎ手とする。
その他配流管はD継ぎ手とする。

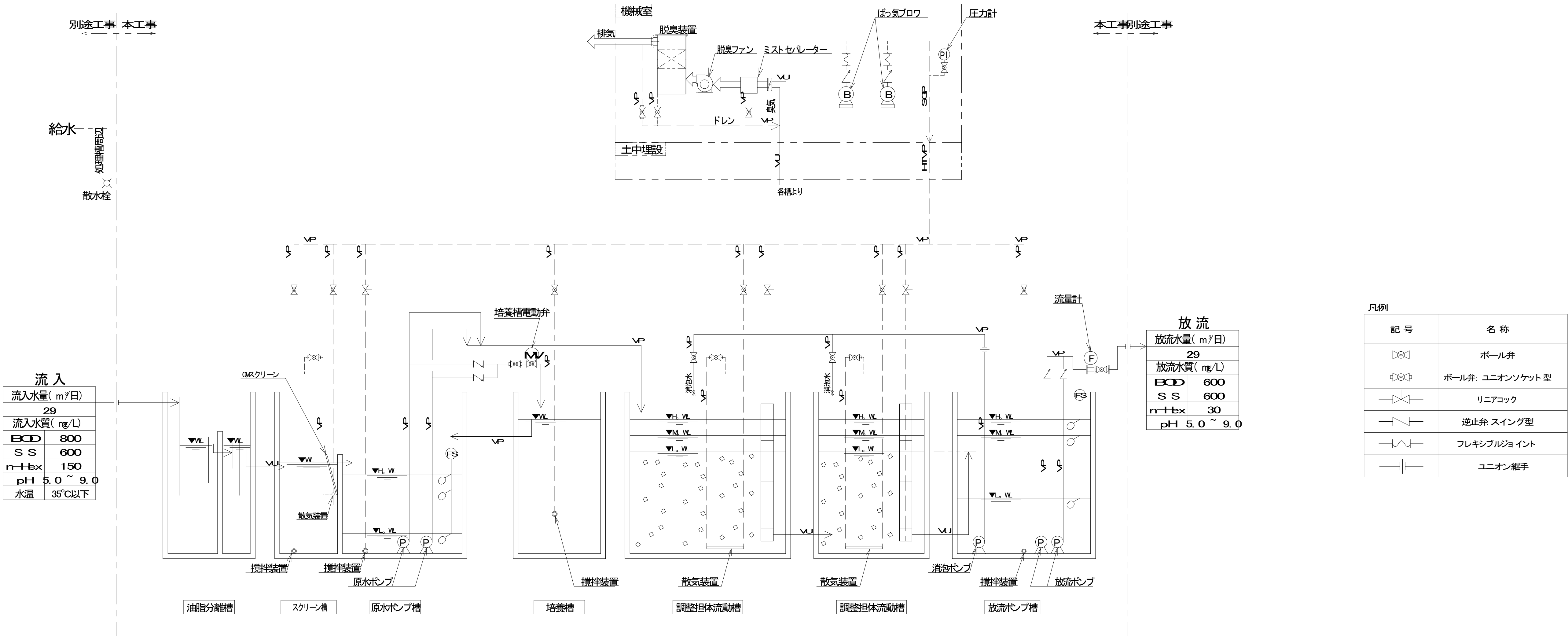
電線(動力)	600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル(OW)
電線(制御)	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル(OW)
電線管	静電しゃべり付制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル(QW-S)
電線管	合成樹脂製可とう管(PF)
ブルボックス	硬質塩化ビニル製防水型ブルボックス

槽内ケーブル、フロートスイッチ支持は引き留め棒子を使用し、金物はSUS製とする。

工事範囲区分			
項目	本工事	別途工事	備考
仮設工事		○	
進入路造成・復旧		○	敷鉄板共
工事用電気・水道		○	
山留工事		○	
土木工事		○	
水槽上部スラブコンクリート工事		○	
水槽ベースコンクリート工事		○	
水槽上部アスファルト仕上工事		○	
躯体据付用レッカー		○	
躯体工事	○		RC製BOX
槽内防食工事		○	
開口蓋据付工事	○		上部荷重(5000K)、鋳鉄製・黒塗装
機械室築造工事		○	ガラスウール・電灯照明・コンセント共
機械室機械基礎工事		○	
機械室換気設備工事		○	換気扇、屋外フード、消音ボックス共
機器・装置設備工事	○		
配管設備工事	○		
流入管工事		○	図示取り合い点まで
放流管工事		○	図示取り合い点まで
臭突管工事		○	脱臭装置接続まで本工事
警報引込工事		○	有電圧・無電圧一括警報端子各1点は制御盤に含む
一次側電力引込・接地工事		○	200V
二次側電気設備工事	○		
維持管理用散水栓		○	処理槽付近に設置のこと
試運転調整	○		機器挙動動作確認

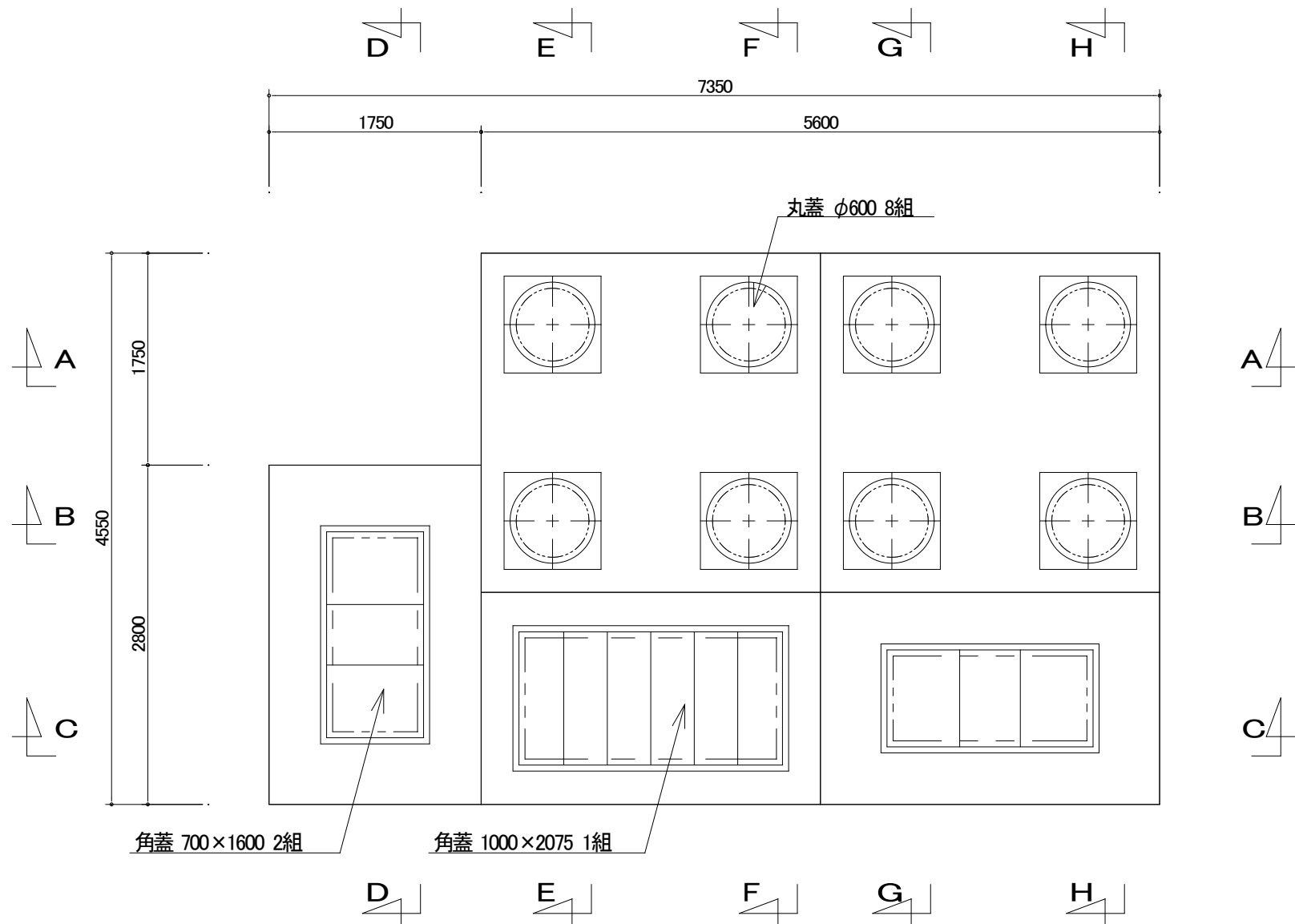
注 記
※ 処理槽付近に散水栓を設置する事。(別途工事)
※ 臭突管は、出口まで必ず上り勾配とし、逆鳥居配管は避けること。
※ 臭突管の吐出口には、目詰まりの原因となる防虫網等の設置は避けること。

フローシート



凡例	
記号	名称
—○—	ボール弁
—○—	ボール弁: ユニオンソケット型
—△—	リニアコック
—▽—	逆止弁: スイミング型
—〰—	フレキシブルジョイント
— —	ユニオン継手

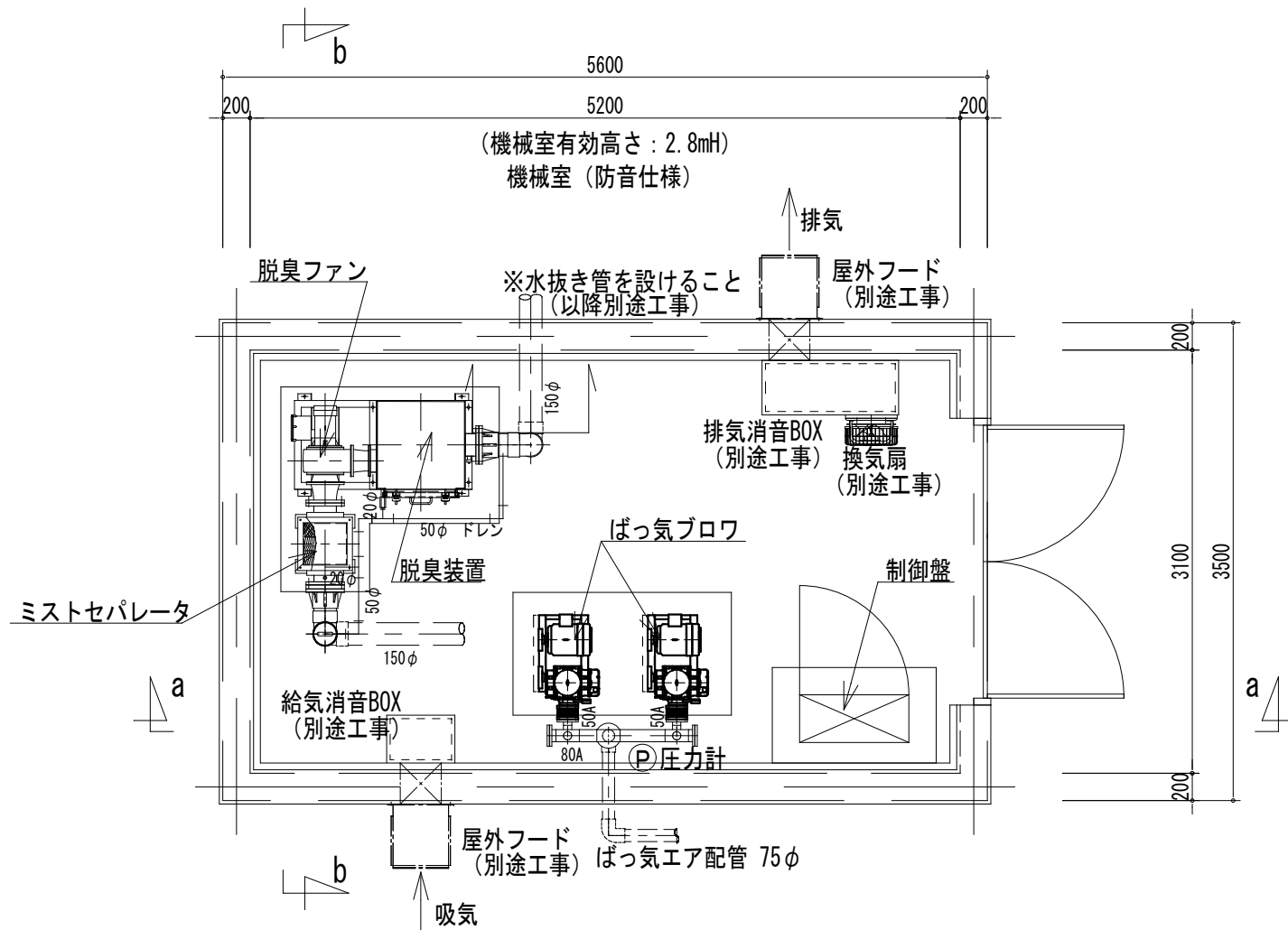
工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	 一級建築士事務所 群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表 管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査・検図		経緯設計者	萩原正人	担当設計者			図 面 番 号
皆野町新・学校給食センター（仮称）建設工事	排水処理施設（1）	A 1版 N/S A 3版 N/S	F07.03	.					一級建築士 第260191号				



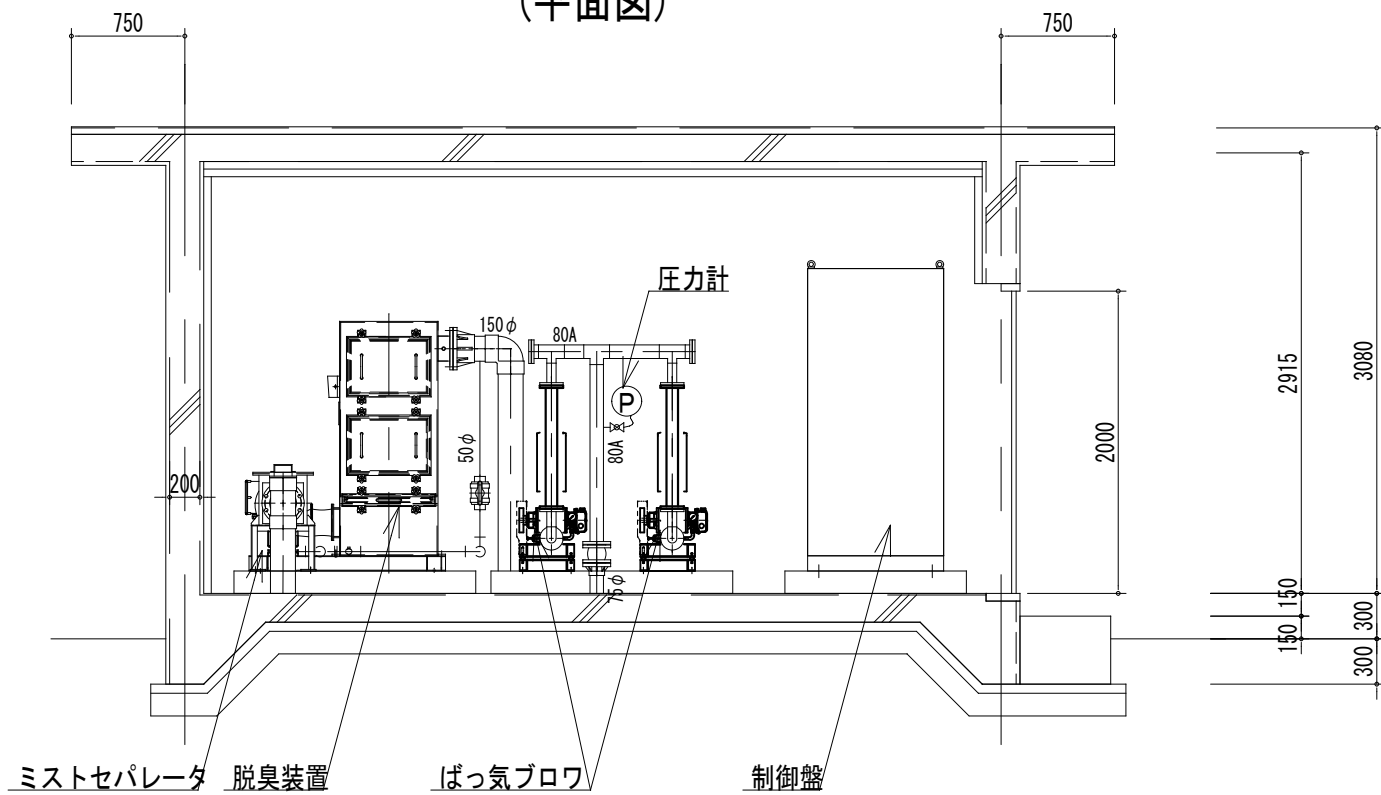
頂板開口部図 1/50

注記
※ 開口部は全てボルトロック式とする。
※ 上部荷重 5000kgとする。
※ 角蓋・丸蓋: 鋳鉄製・黒塗装
※ かさ上: 防雨高40~50mmとする

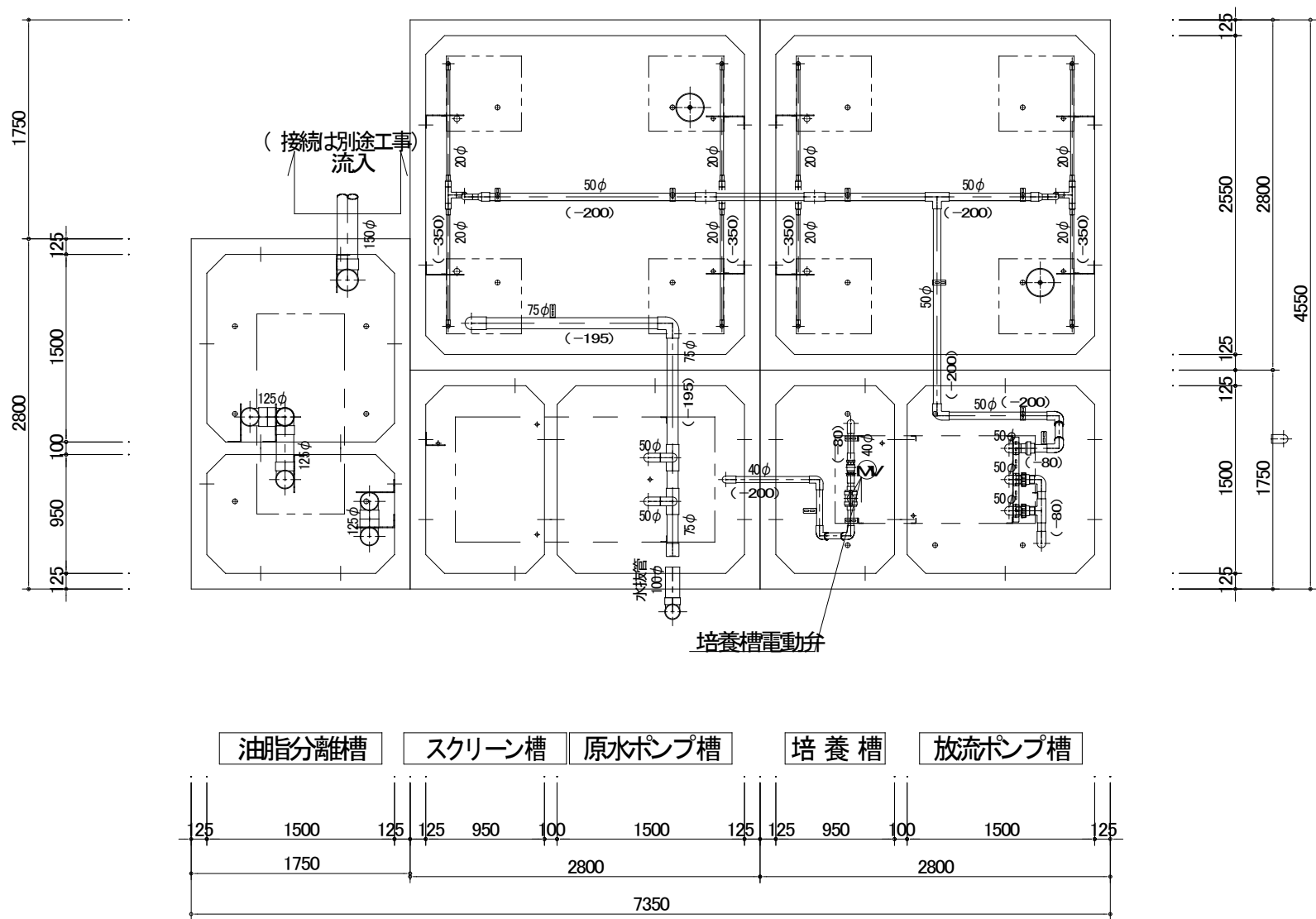
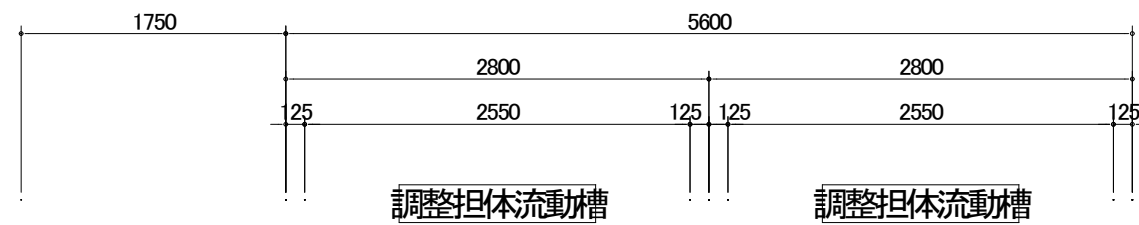
A
B
C



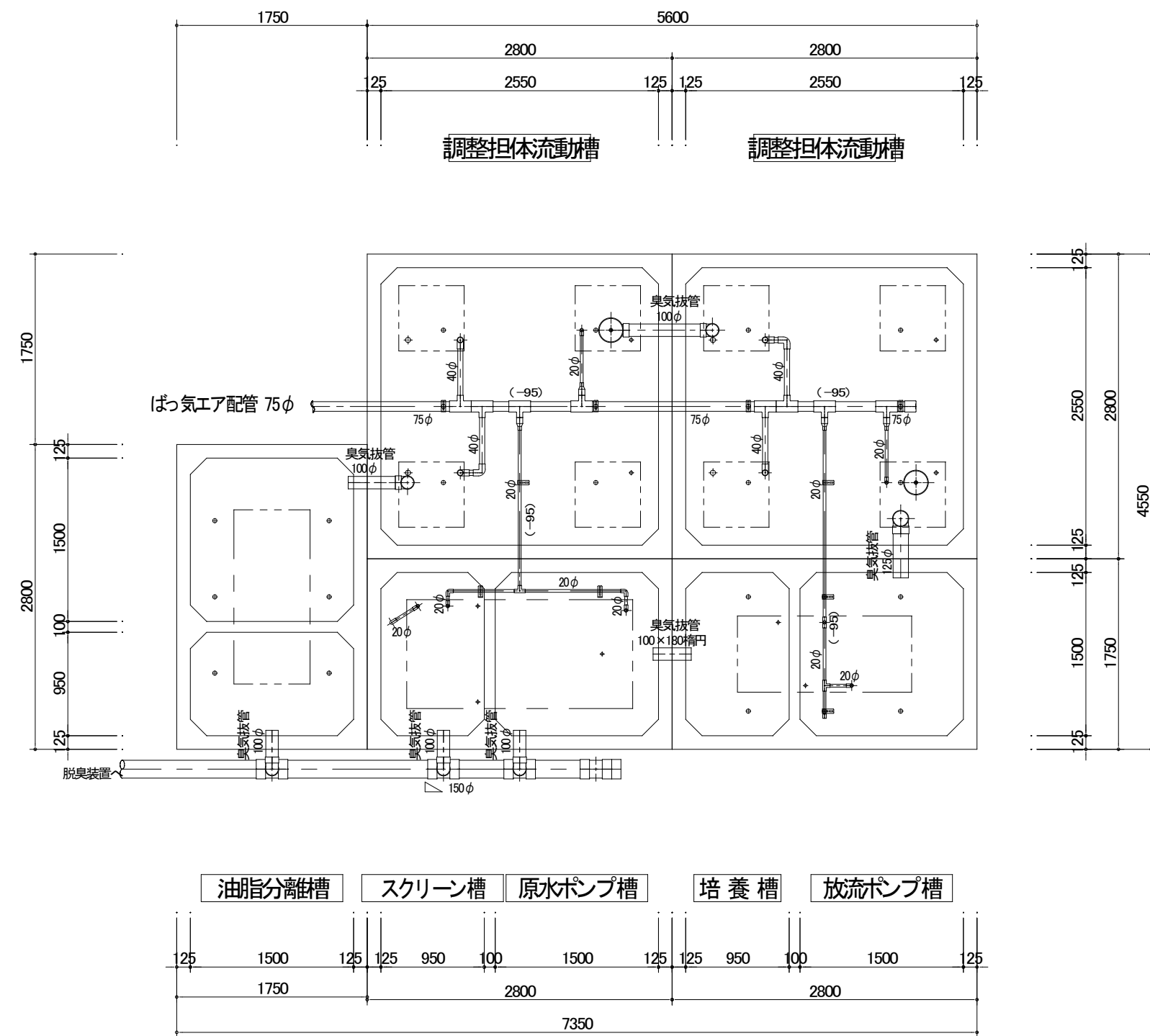
機械室スペース図
(平面図)



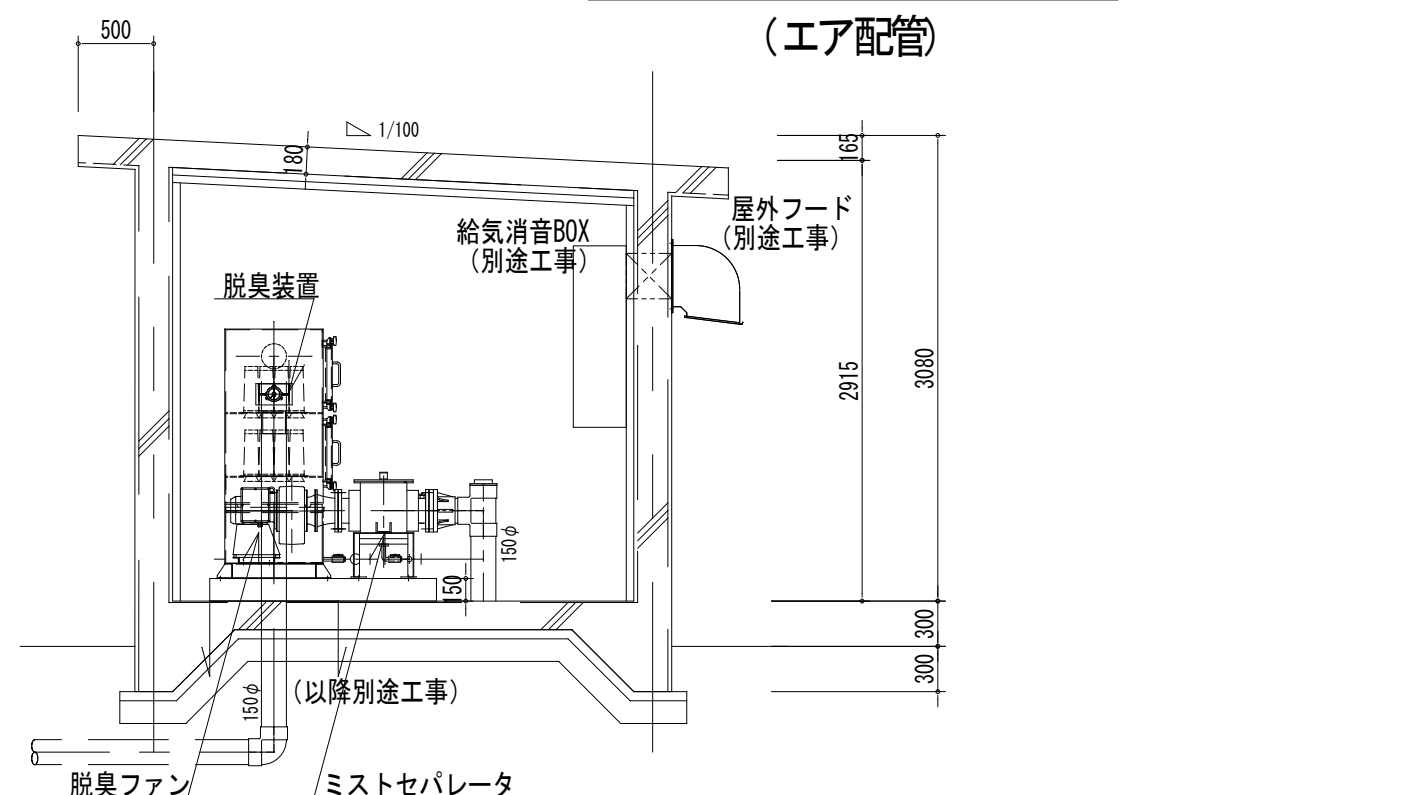
(a-a断面図)



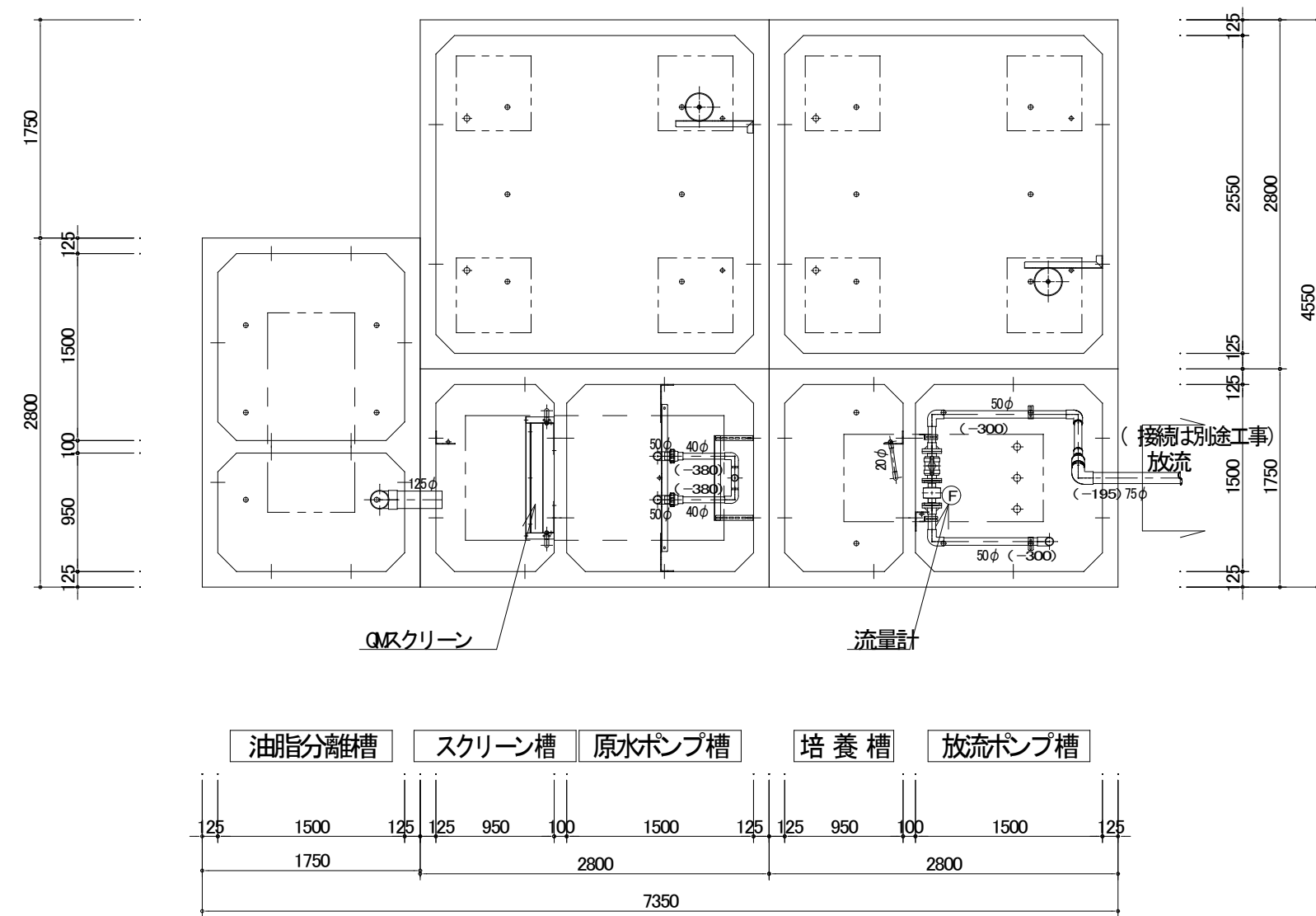
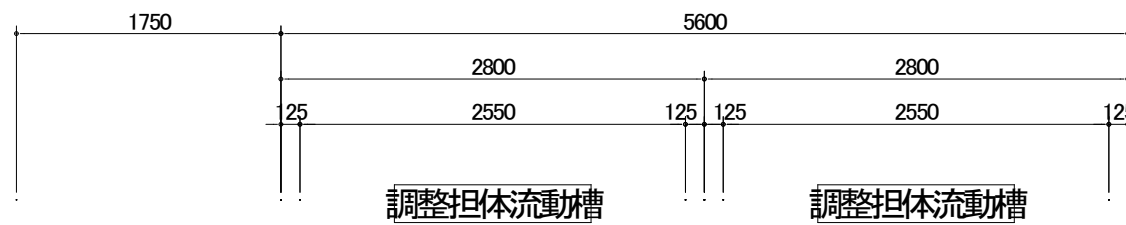
スラブ下平面図 1/50
(ポンプ配管)



スラブ下平面図 1/50
(エア配管)

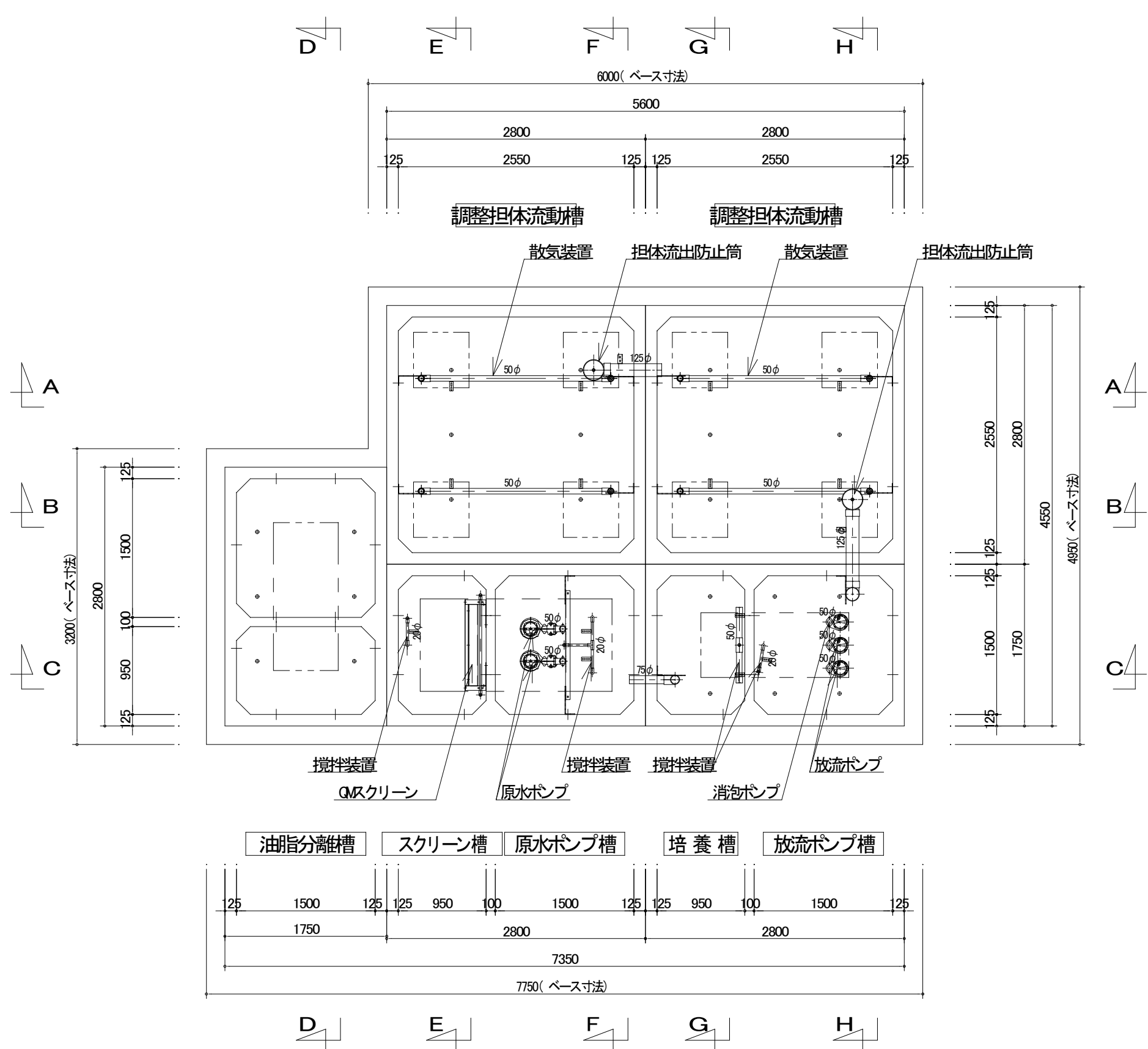


(b-b断面図)

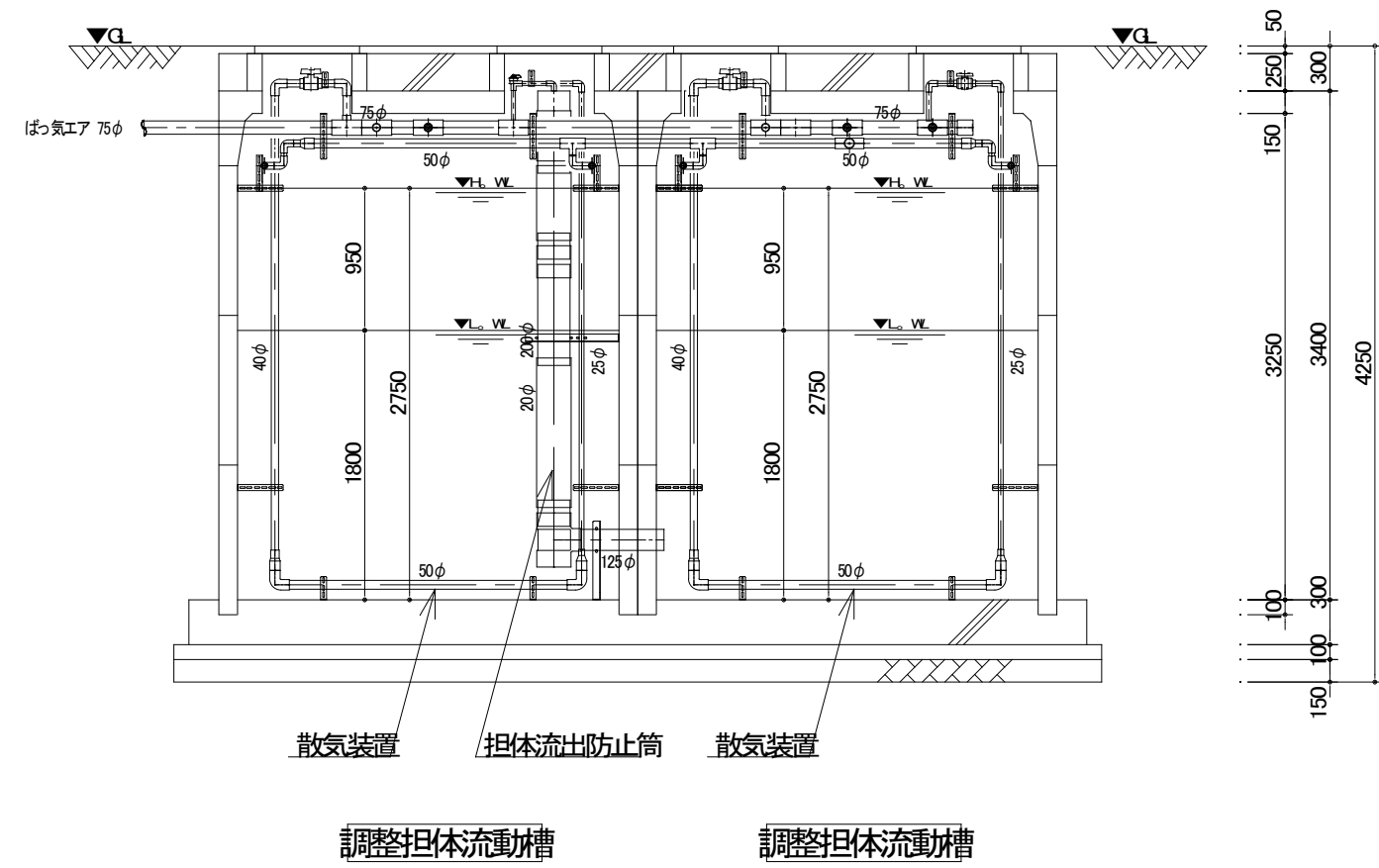


平面図 1/50

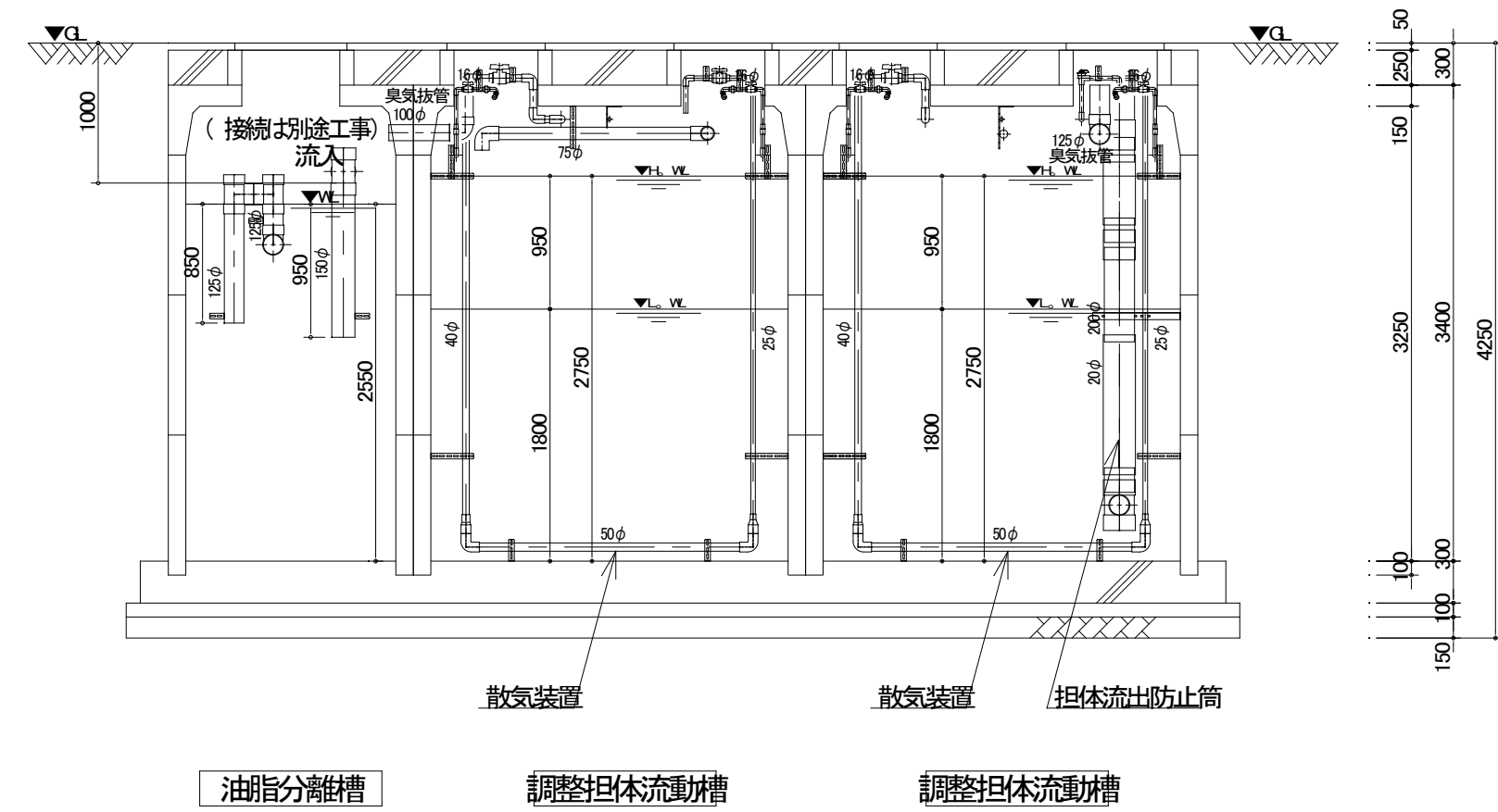
工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	福島建築設計事務所	管理建築士	照査・検図	経緯部設計者	校訂正人	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新・学校給食センター(仮称)建設工事	排水処理施設(2)	A1版 1/50 A3版 1/100	F07.03		一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	一級建築士 第252777号 萩原 憲一		一級建築士 第260191号			P-007



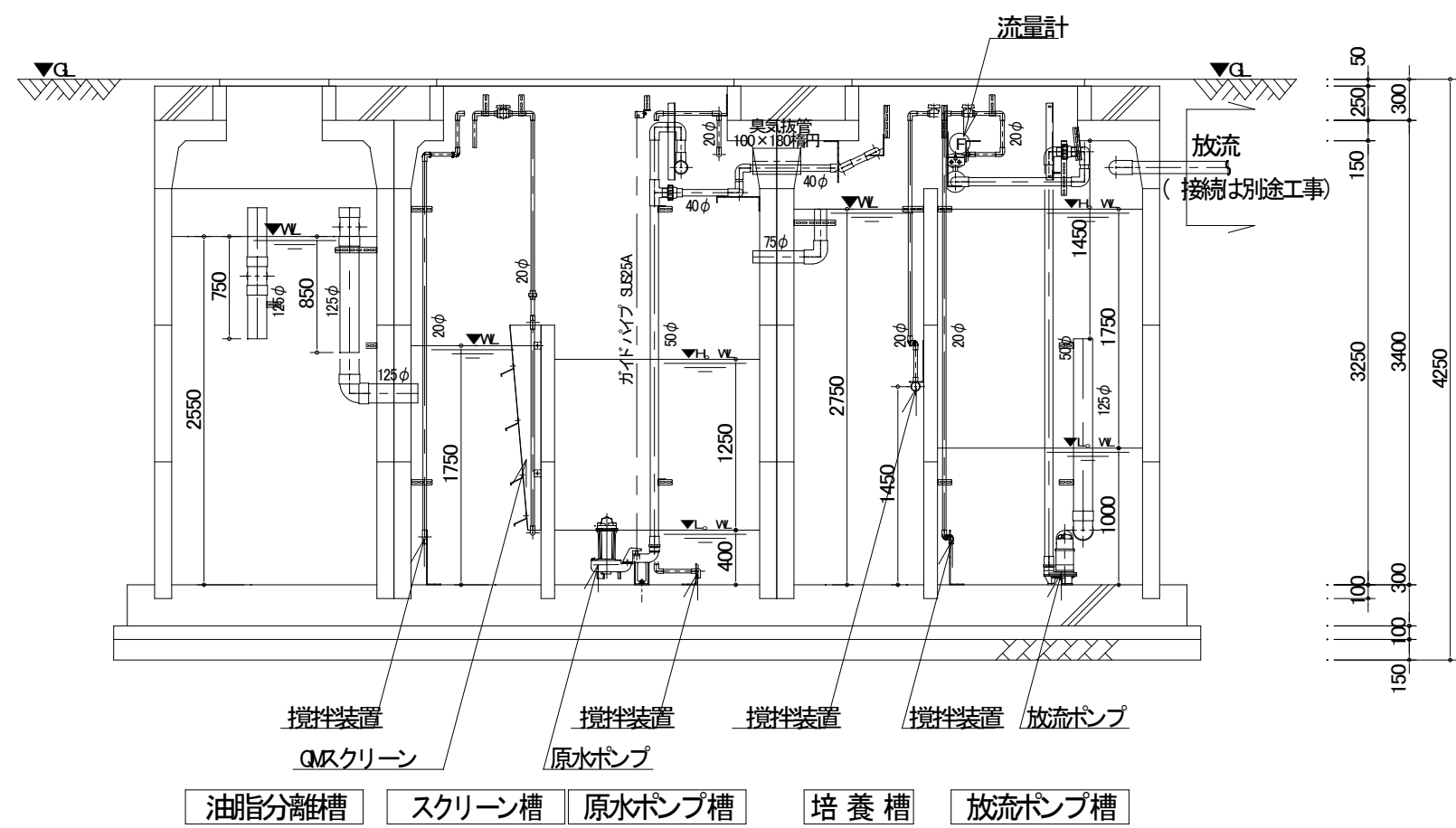
下部平面図 1/50



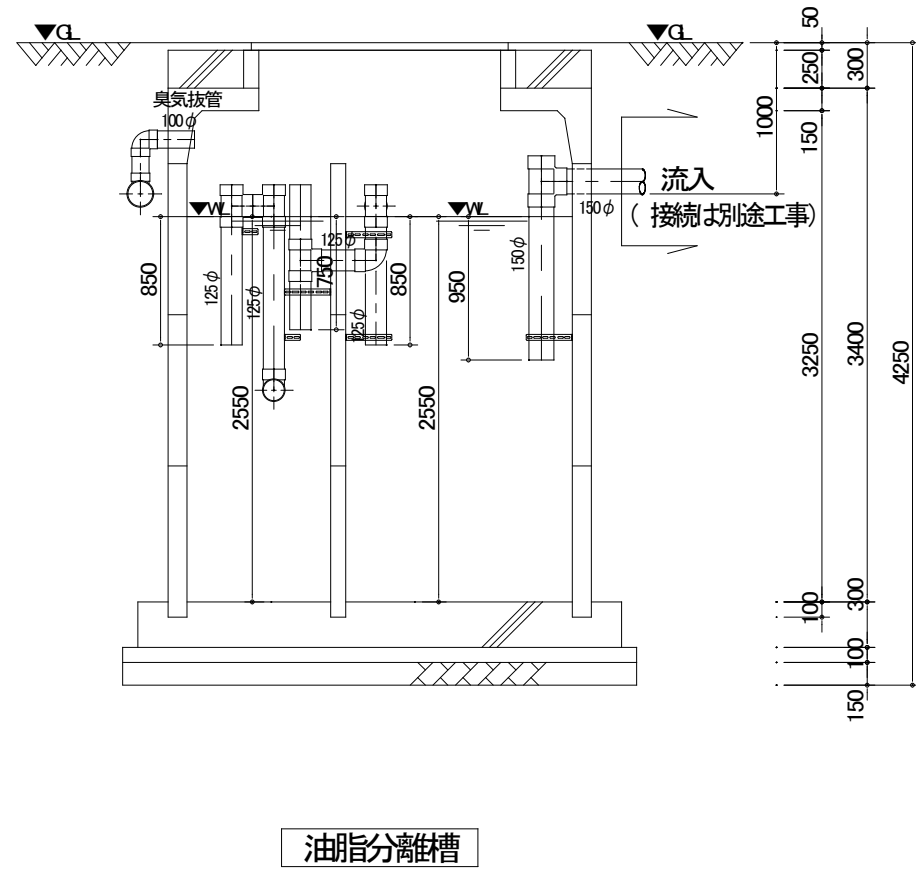
A-A断面図 1/50



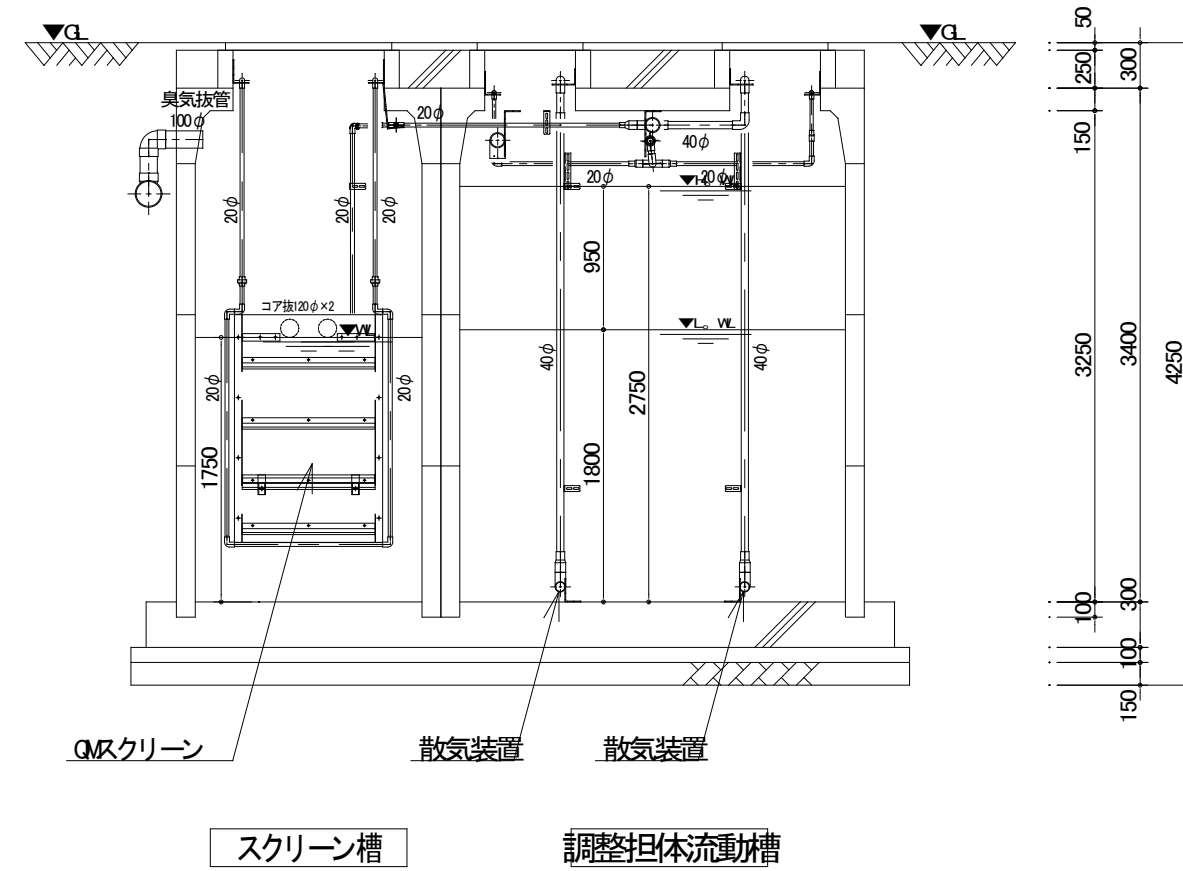
B-B断面図 1/50



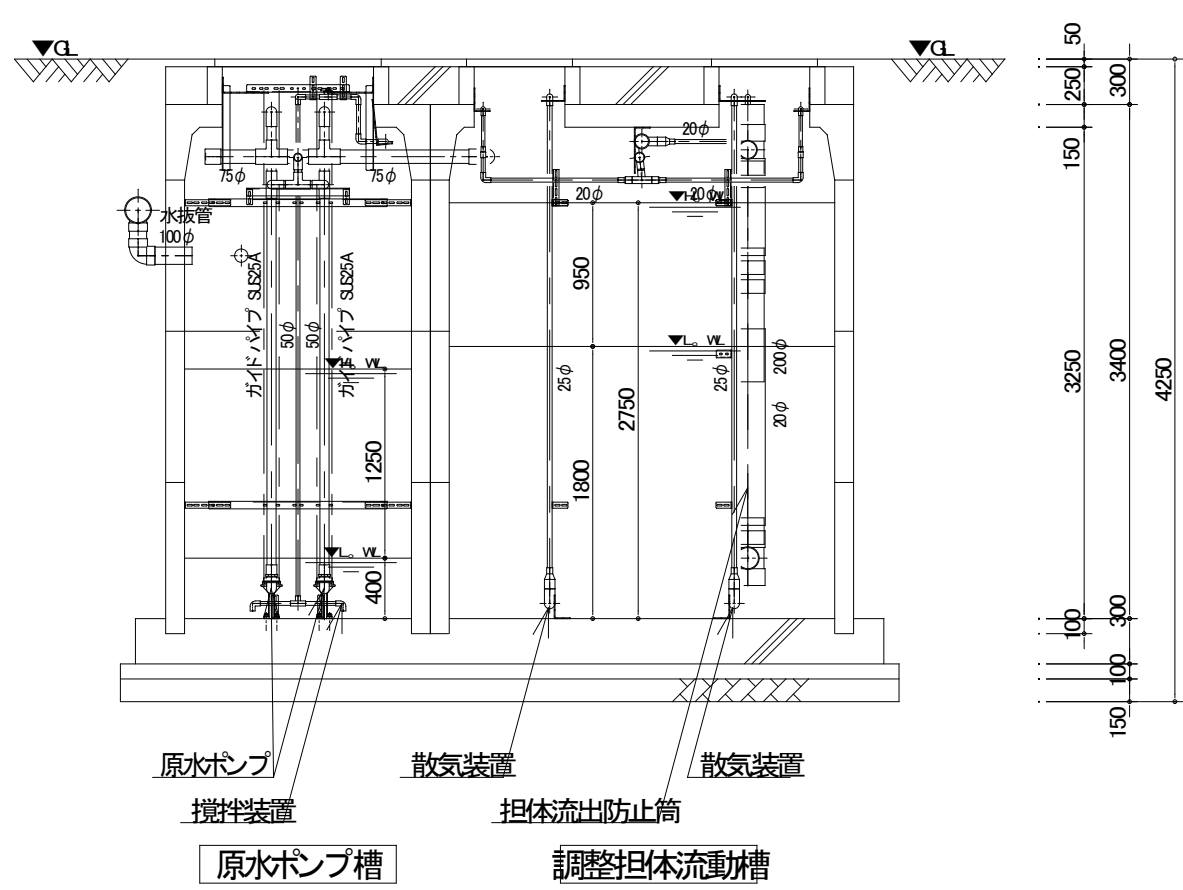
G-C断面図 1/50



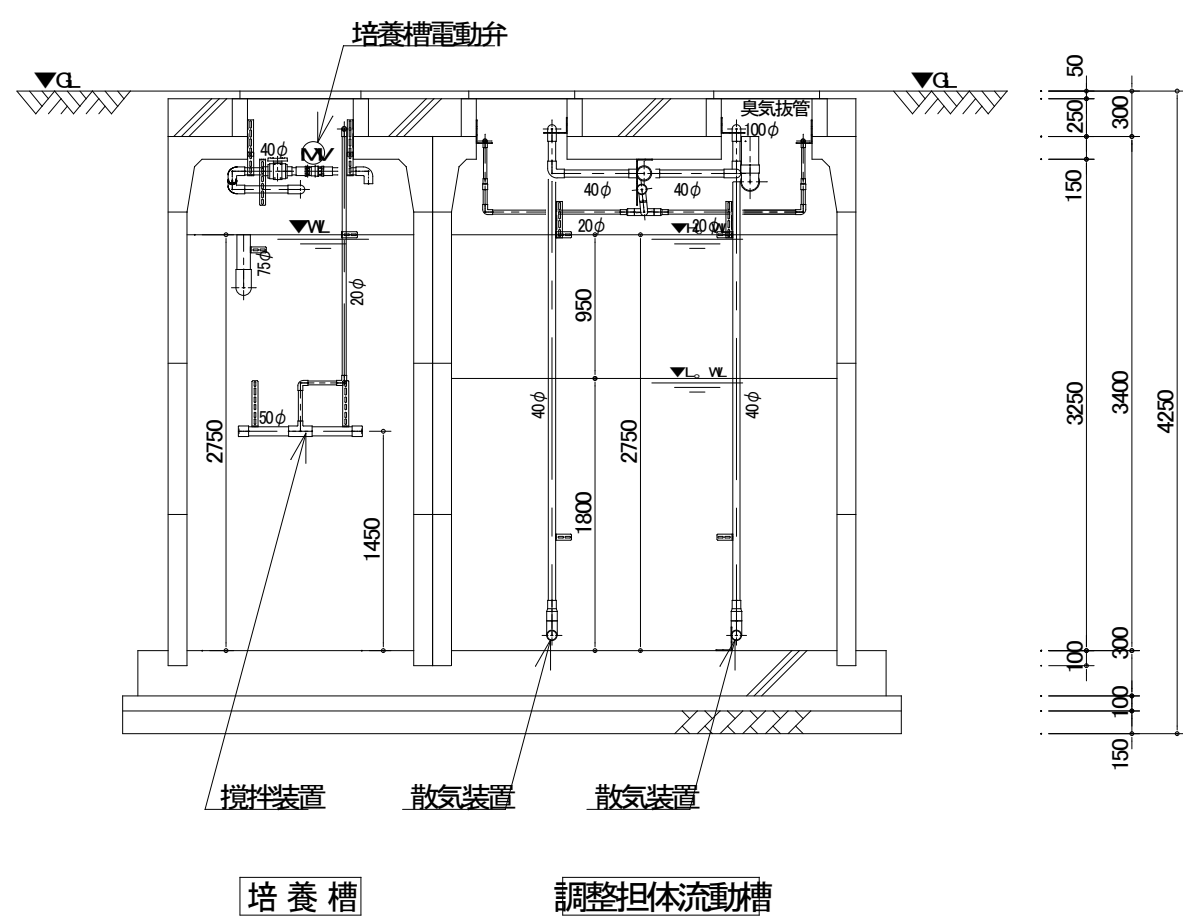
D-D断面図 1/50



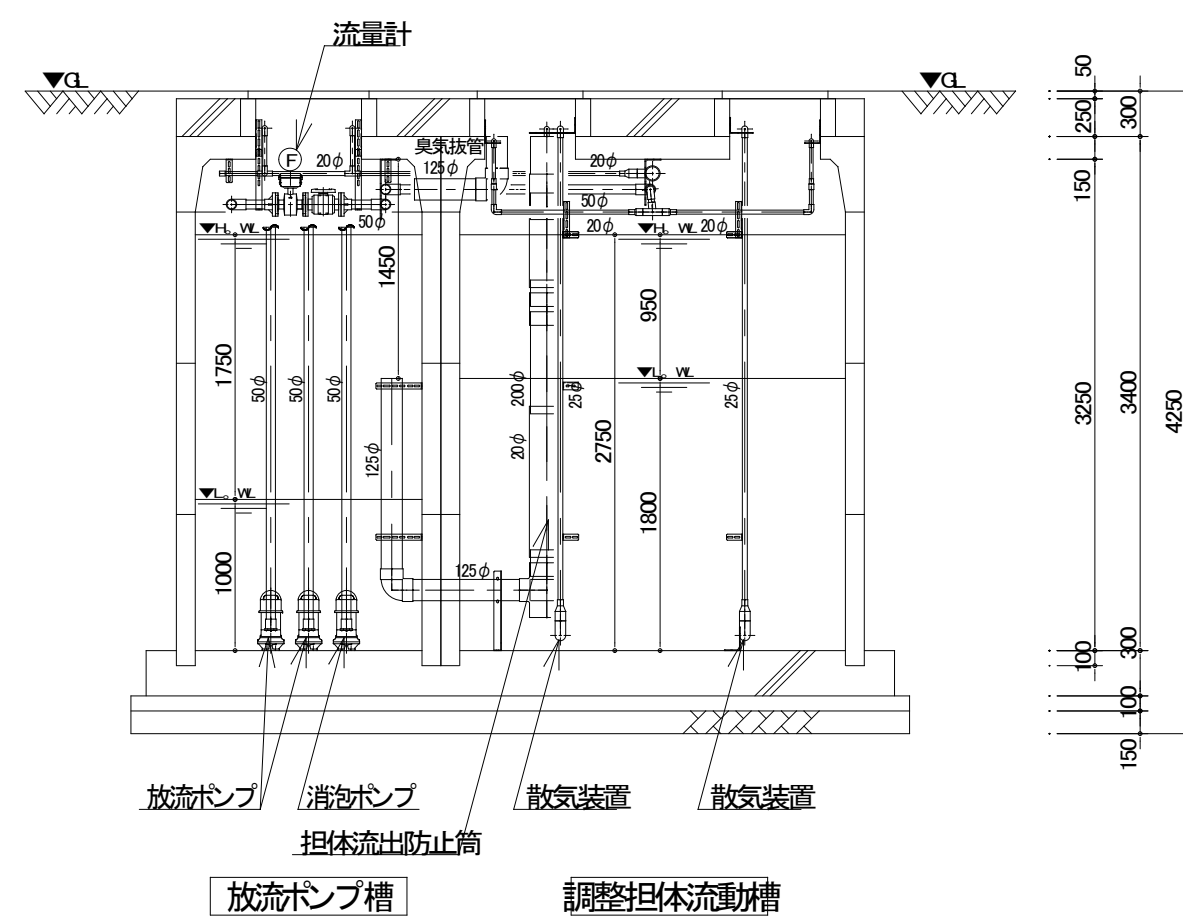
E-E断面図 1/50



F-F断面図 1/50



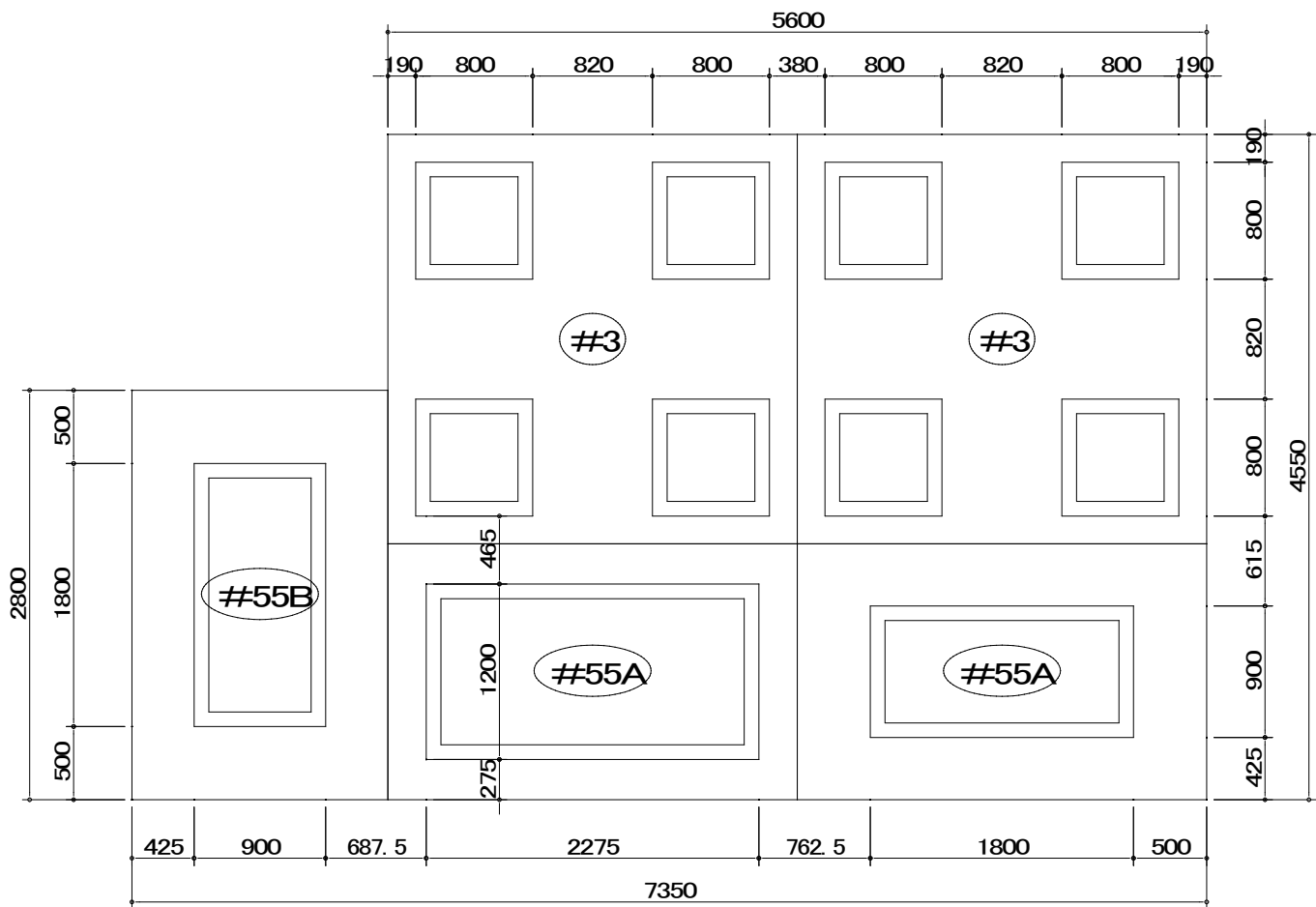
G-C断面図 1/50



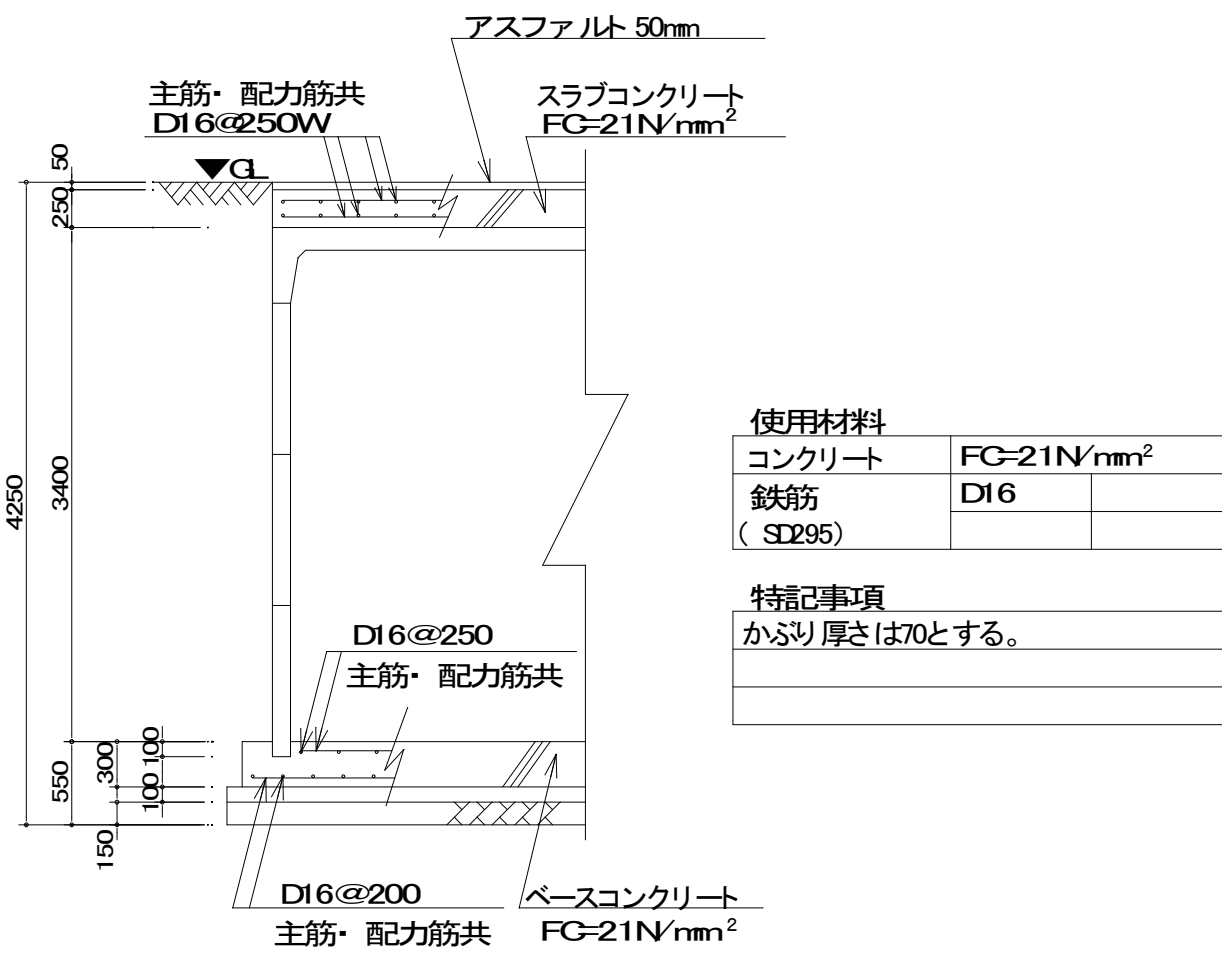
H-H断面図 1/50

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 年 月 日	施 工 監 理 者	照 査 ・ 検 図	経 営 部 署 長	技 術 部 長	図 面 番 号
皆野町新・学校給食センター(仮称)建設工事	排水処理施設(3)	A 1版 1/50 A 3版 1/100	F07. 03		福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL.(027)231-3060 代表	菅野聡建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	萩原正人 一級建築士 第260191号	担当設計者	P-008

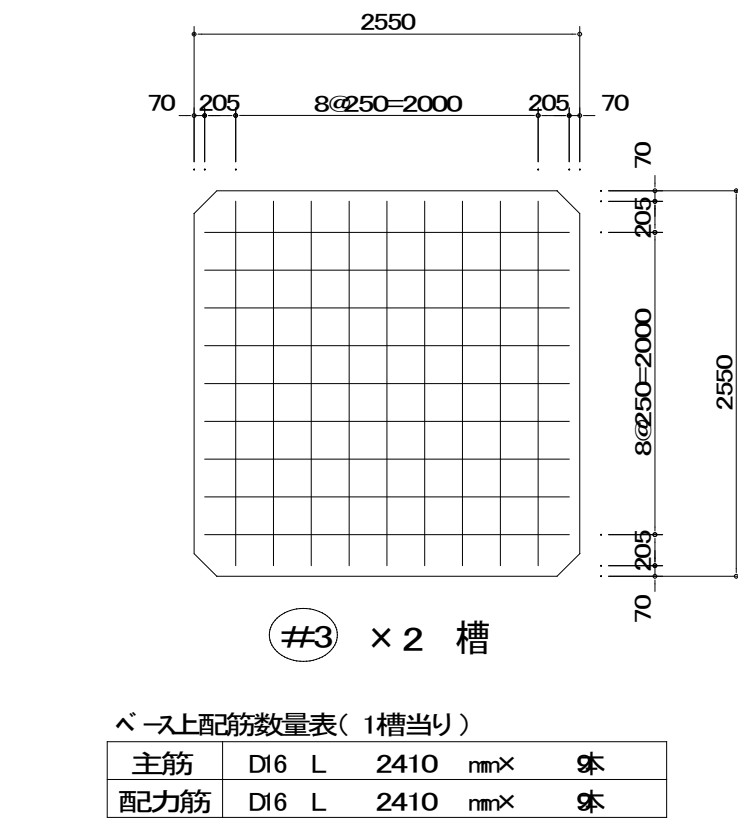
開口位置図 1 / 5 0



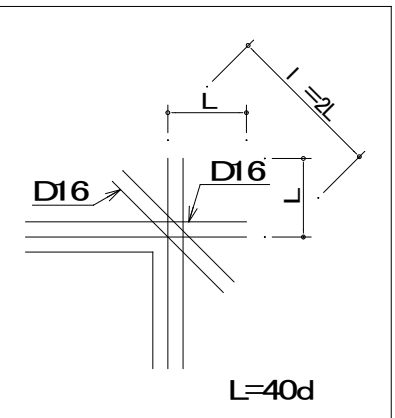
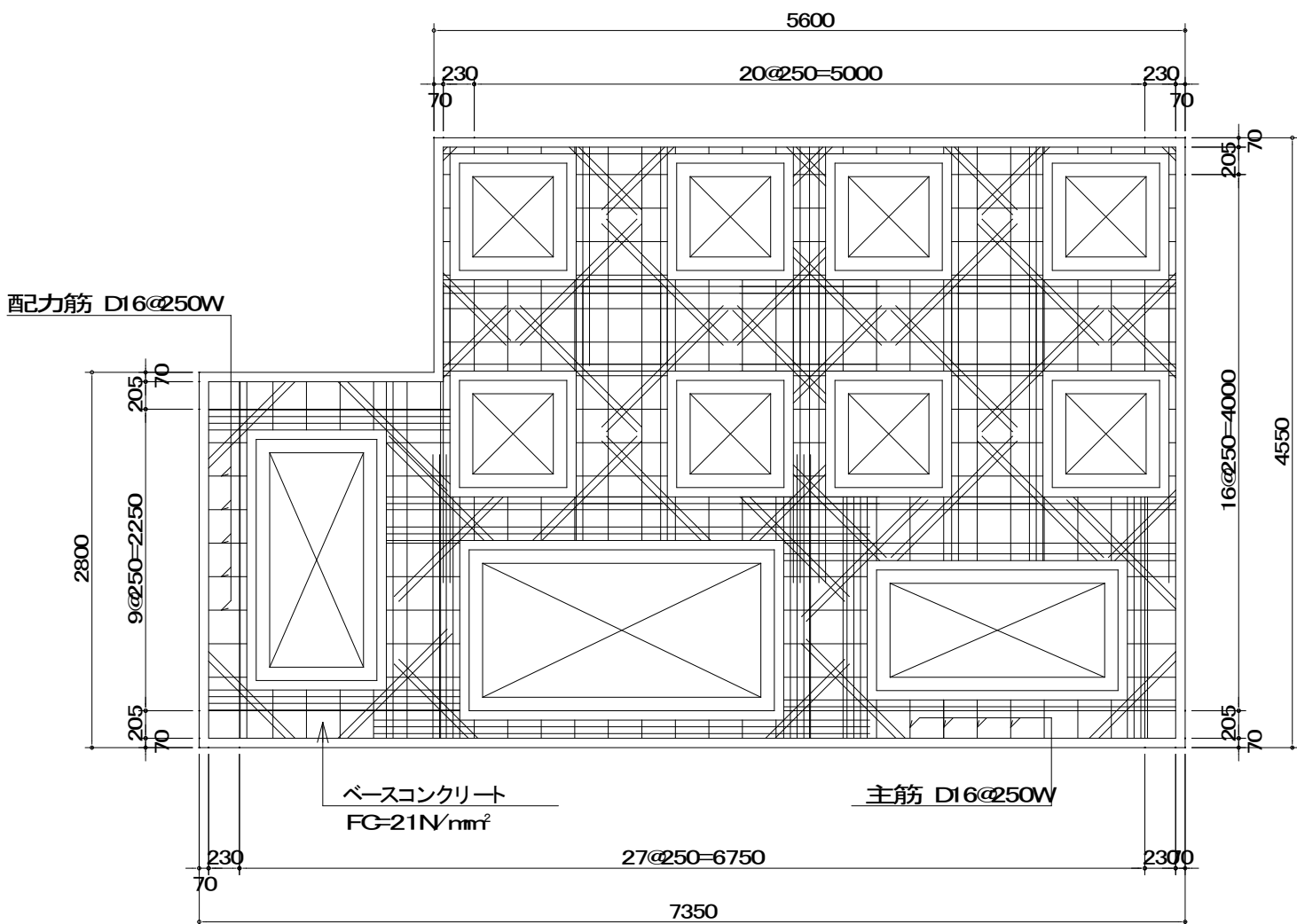
断面図 1 / 5 0



ベース上配筋平面図 1 / 5 0



スラブ配筋平面図 1 / 5 0

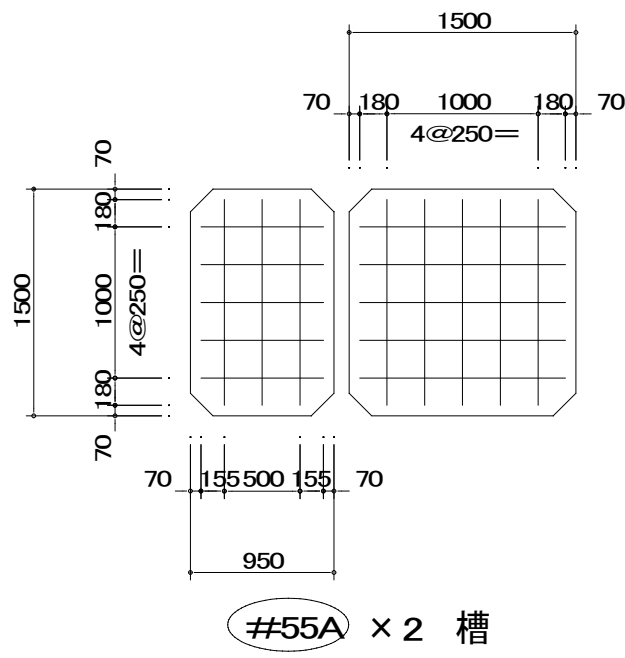
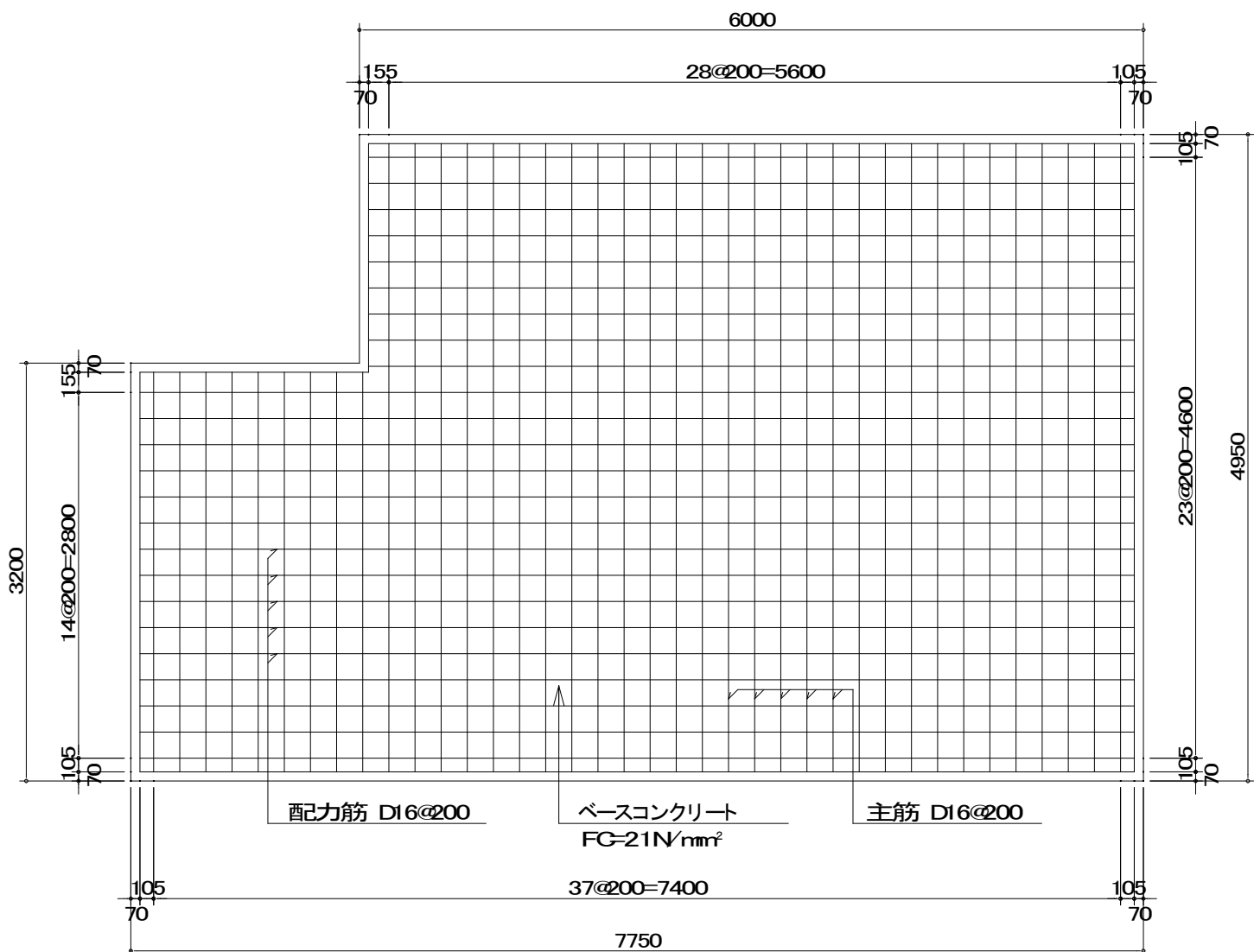


開口補筋詳細

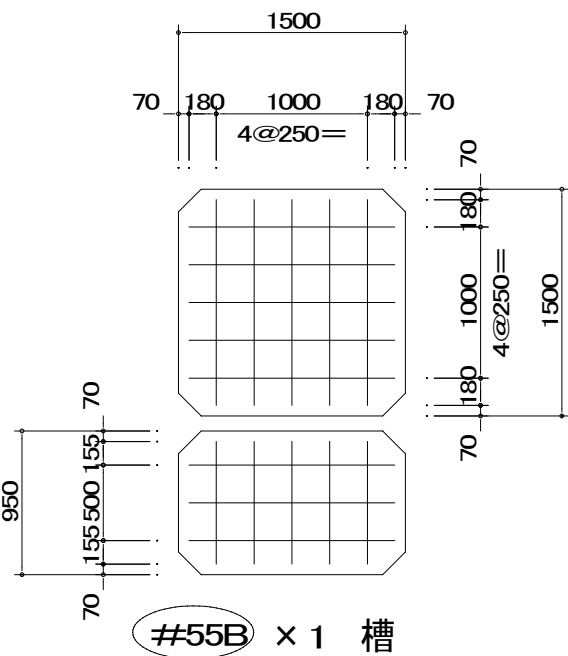
1. スラブ開口によって切られた鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補筋し、隅角部に斜め方向に2-D16(L=2L)シングルを上下筋の内側に配筋する。
2. スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補筋を省略することができる。

※公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年度版 P.586より

ベース下配筋平面図 1 / 5 0

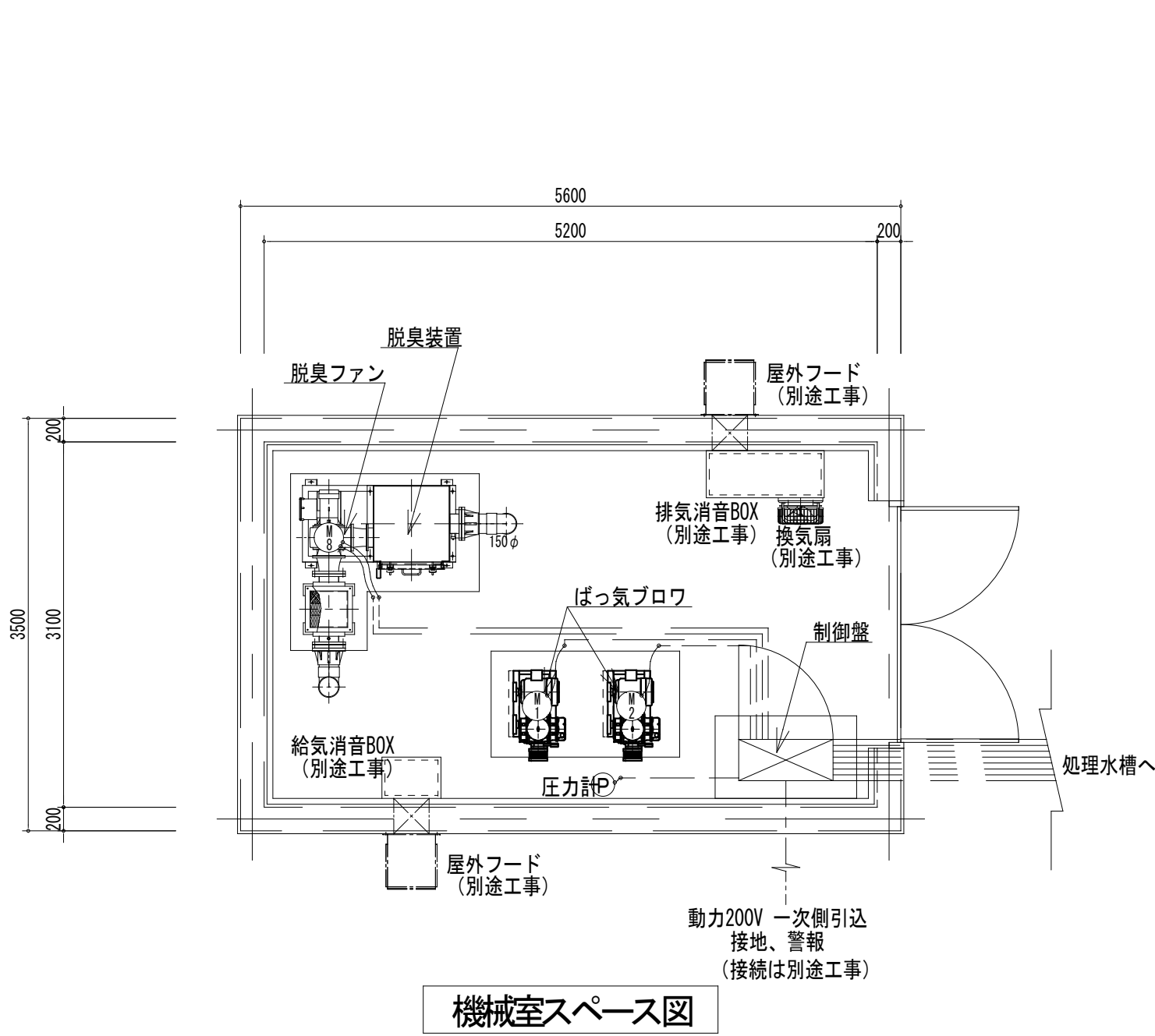


ベース上配筋数量表(1槽当り)					
主筋	D16	L	1360	mm×	本
配筋	D16	L	810	mm×	本

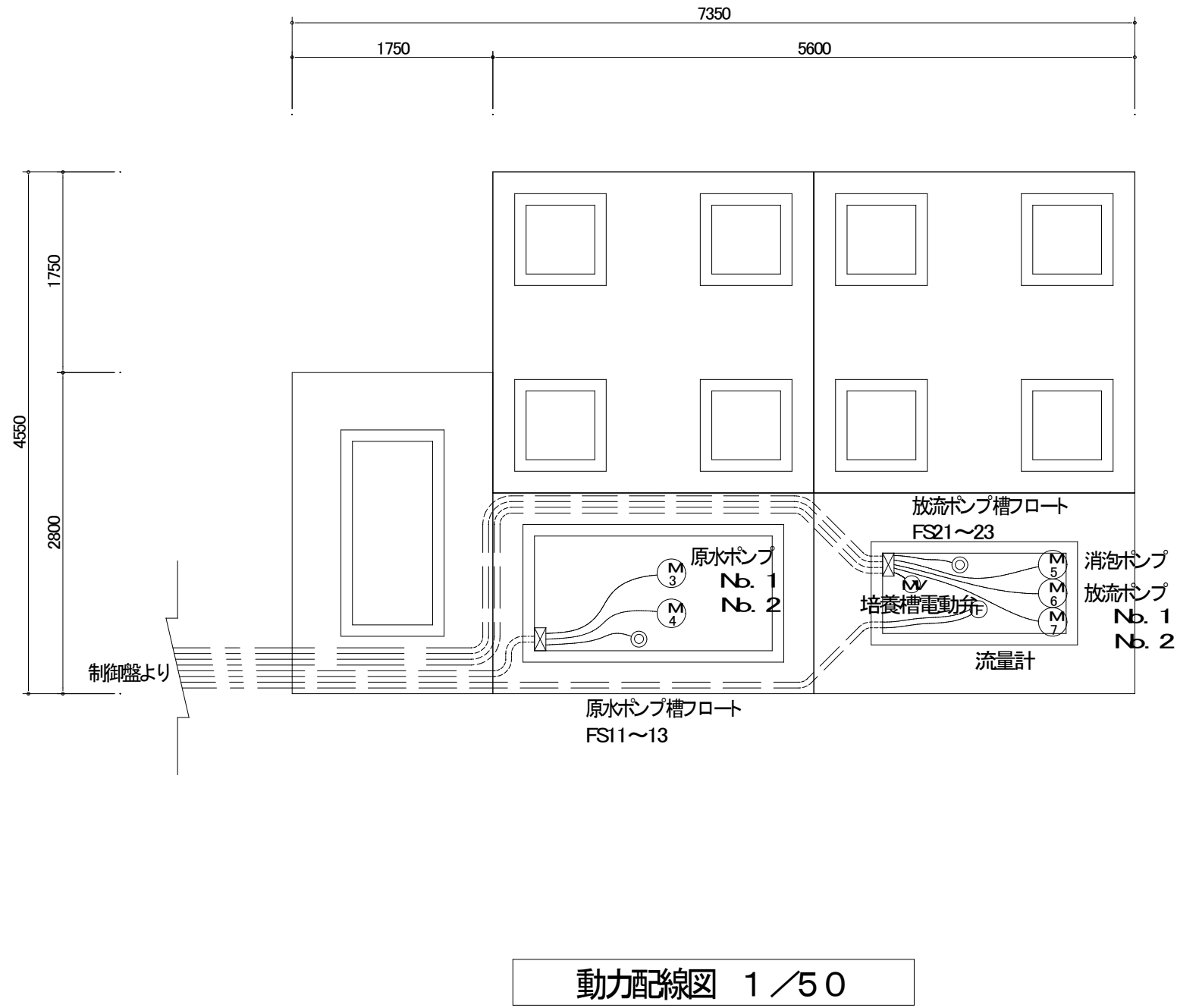


ベース上配筋数量表(1槽当り)					
主筋	D16	L	1360	mm×	本
配筋	D16	L	1360	mm×	本

RCユニット 型番別重量表(1ピース当り)			
NO	スラブ(t)	ウォール(t)	底板(t)
#1	6.45	5.96	6.55
#2	5.26	4.61	5.38
#3	4.12	3.43	4.24
#4	3.67	3.17	3.78
#5	2.77	2.76	2.87
#55	2.77	3.15	2.87
#6	1.42	1.54	1.53



機械室スペース図



動力配線図 1／50

制御盤～機械室 配線表

負荷記号	負荷名称	容量	ケーブル	電線管
M1	ばっ気ブロワ Nb. 1	2. 2kw	CE 2. 0 sq-4c	FF 22
M2	ばっ気ブロワ Nb. 2	2. 2kw	CE 2. 0 sq-4c	FF 22
M3	脱臭ファン	0. 7kw	CE 2. 0 sq-4c	FF 22
	脱臭ファン異常信号		CEE 1. 25 sq-2c	FF 22
P	圧力計		CEE-S 1. 25 sq-3c	FF 22

制御盤～水槽内 配線表

負荷記号	負荷名称	容量	ケーブル	電線管
M3	原水ポンプ Nb. 1	0. 75kw	CE 2. 0 sq-4c	FF 28
M4	原水ポンプ Nb. 2	0. 75kw	CE 2. 0 sq-4c	
FS11～13	原水ポンプ槽 フloatスイッチ		CEE 1. 25 sq-4c	FF 22
M5	消毒ポンプ	0. 4kw	CE 2. 0 sq-4c	FF 22
M6	放流ポンプ Nb. 1	0. 4kw	CE 2. 0 sq-4c	FF 28
M7	放流ポンプ Nb. 2	0. 4kw	CE 2. 0 sq-4c	
FS21～23	放流ポンプ槽 フloatスイッチ		CEE 1. 25 sq-4c	FF 22
F	流量計		専用ケーブル	FF 22
			専用ケーブル	FF 22
M8	培養槽電動弁		CEE 1. 25 sq-6c	FF 22

☒ ブロック型 防水型

--- コンクリート埋設配管

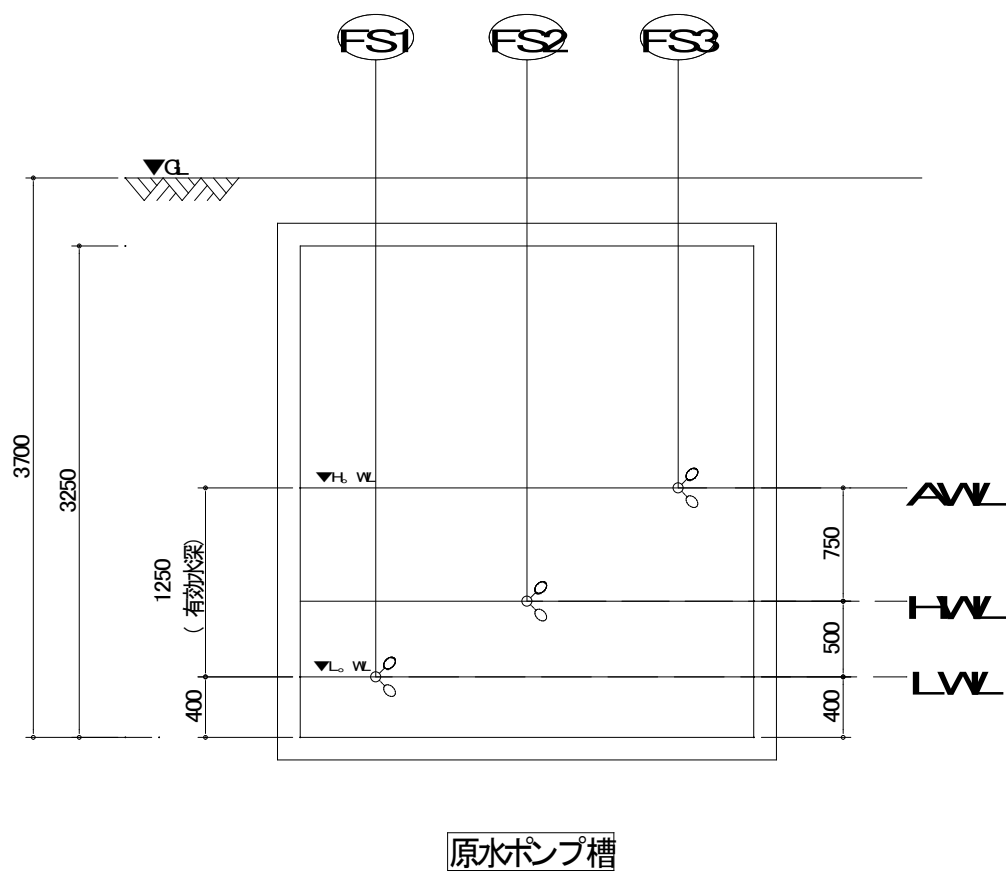
--- 埋設配管

--- 露出配管

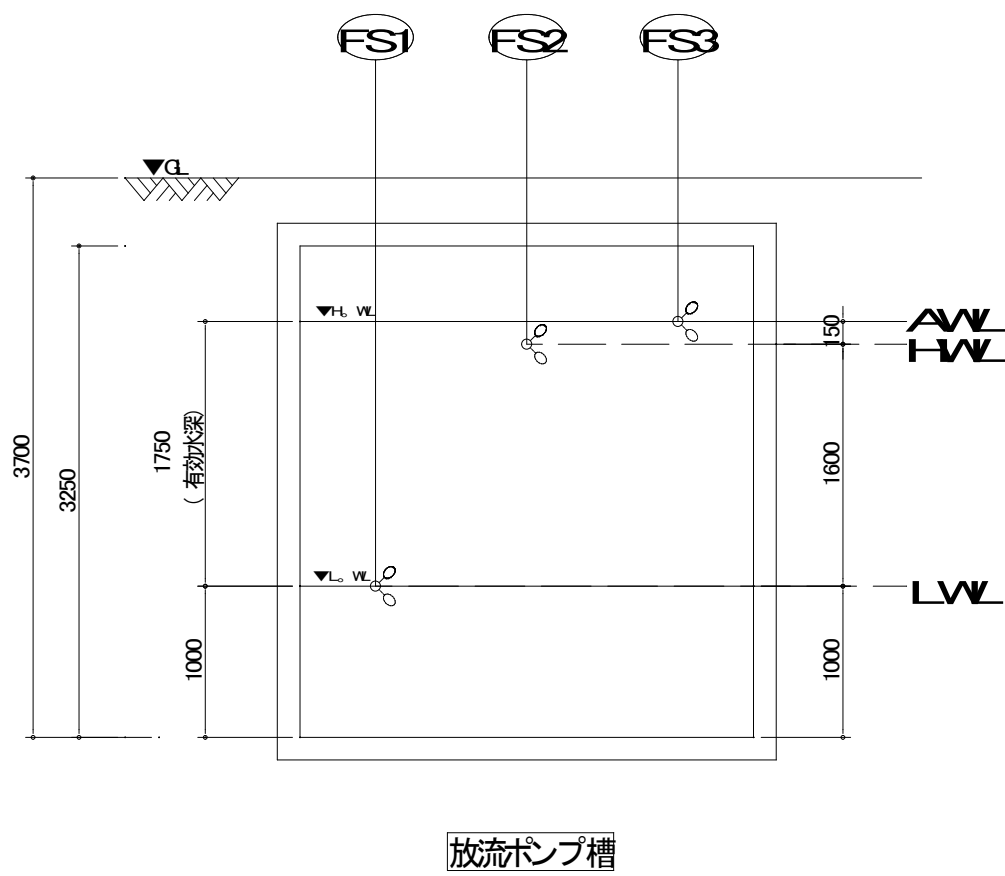
注 記

・動力一次側用 込み 別途工事

・アース接地・警報取出し 別途工事

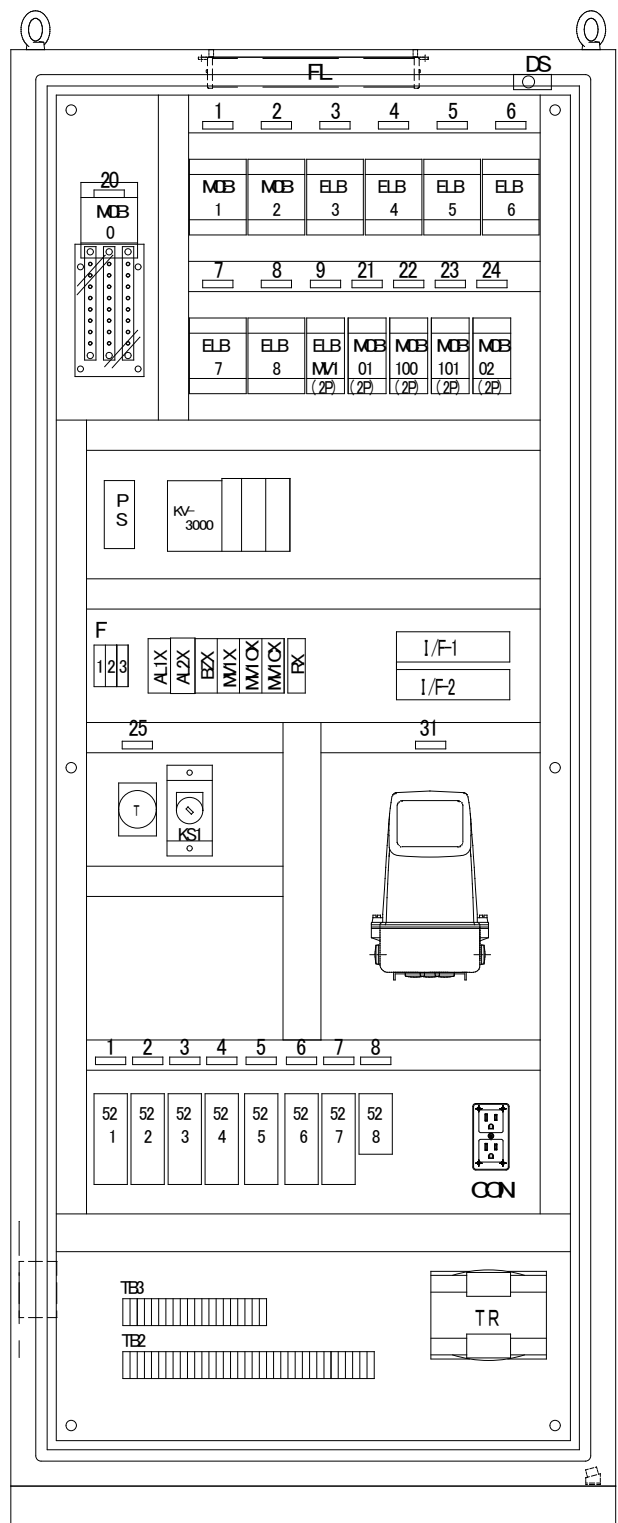
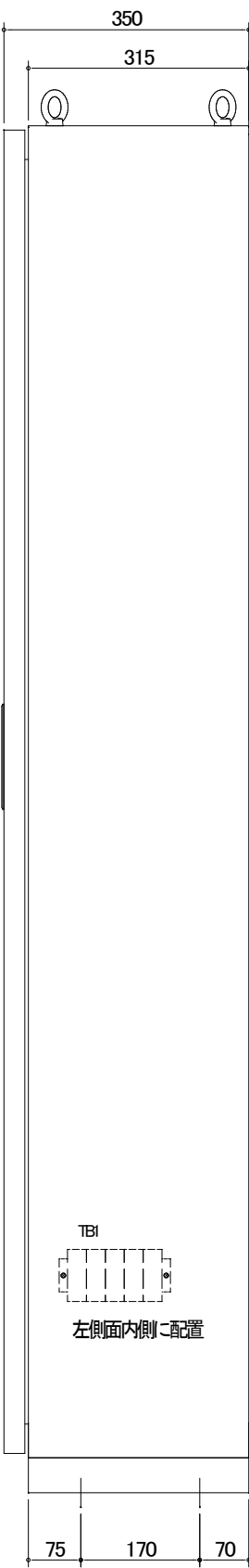
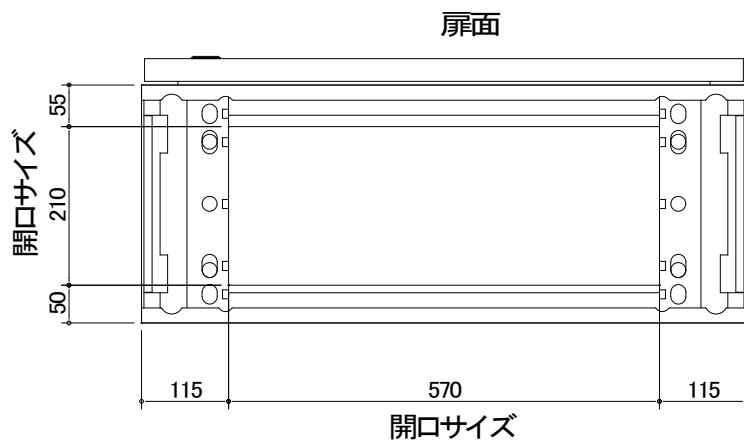
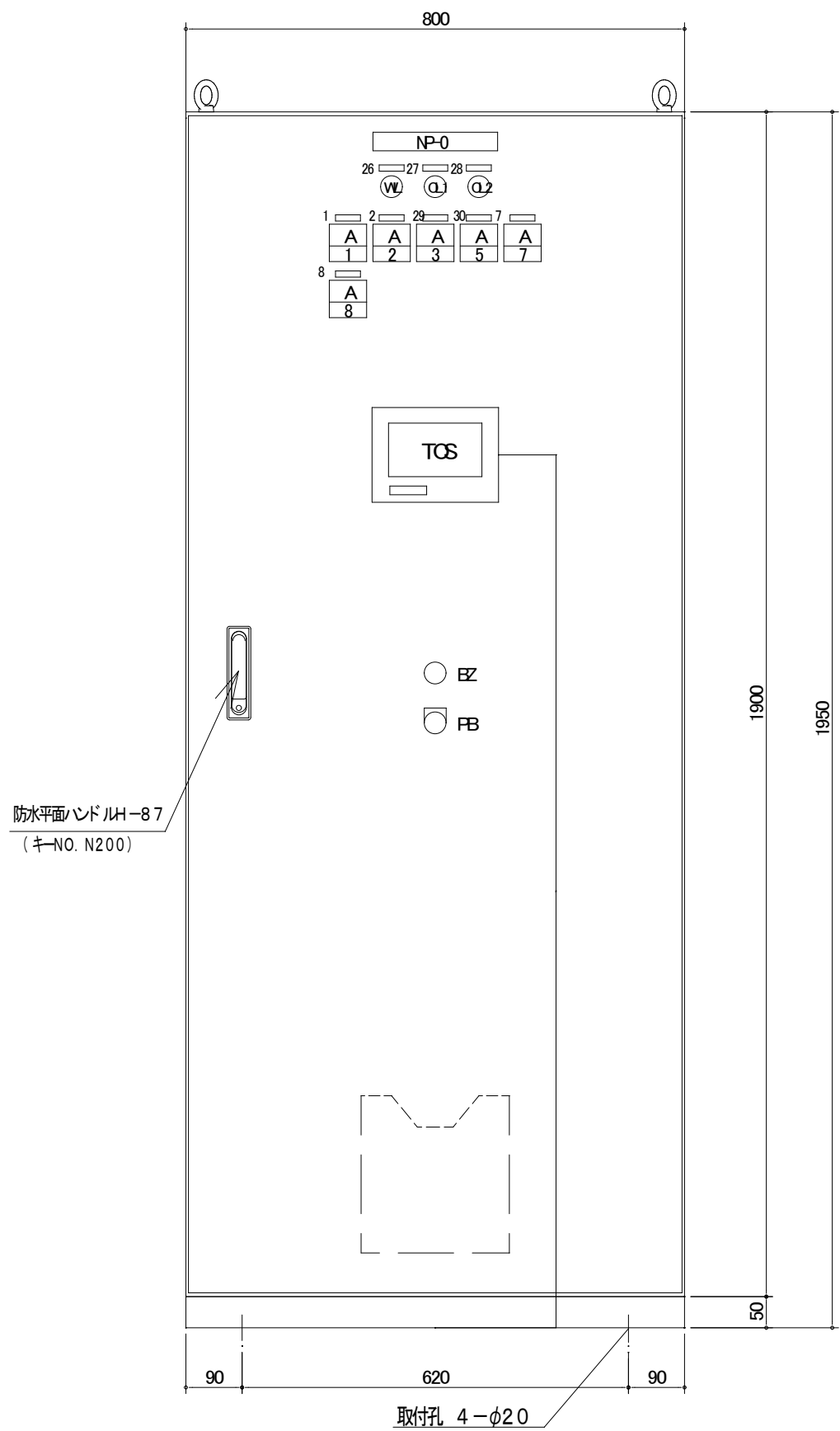


原水ポンプ槽



放流ポンプ槽

フロート 高さ 1／50

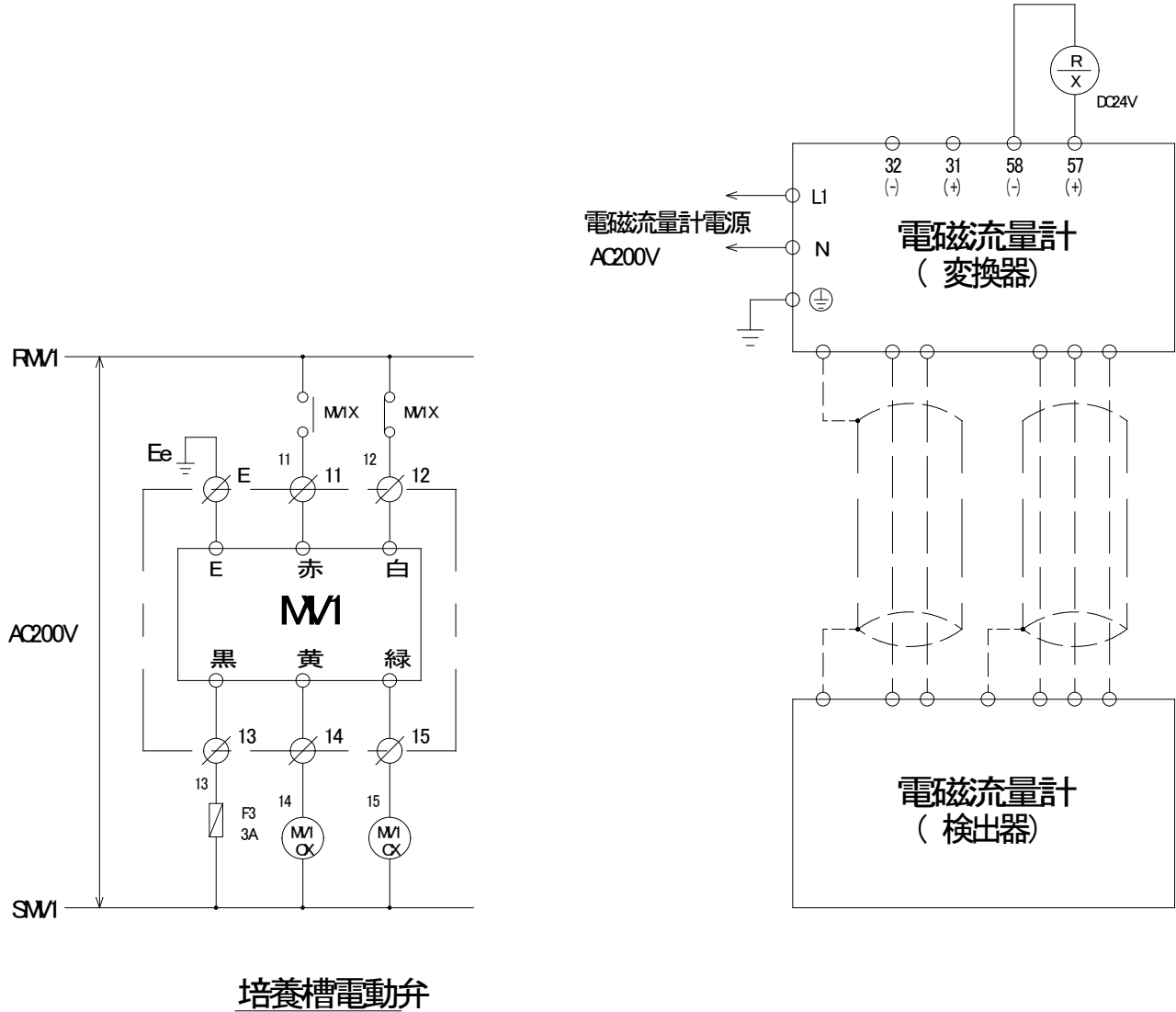
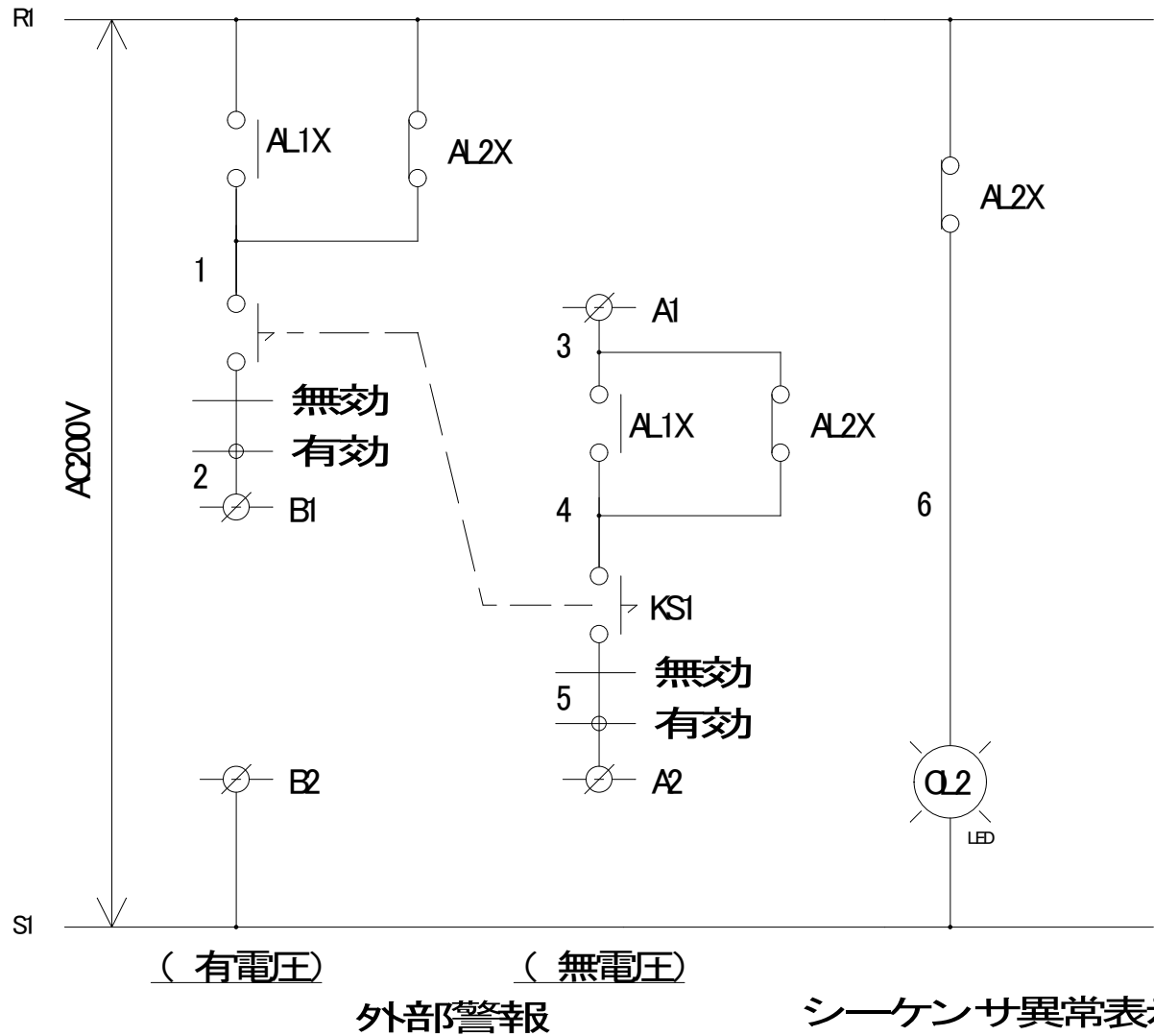
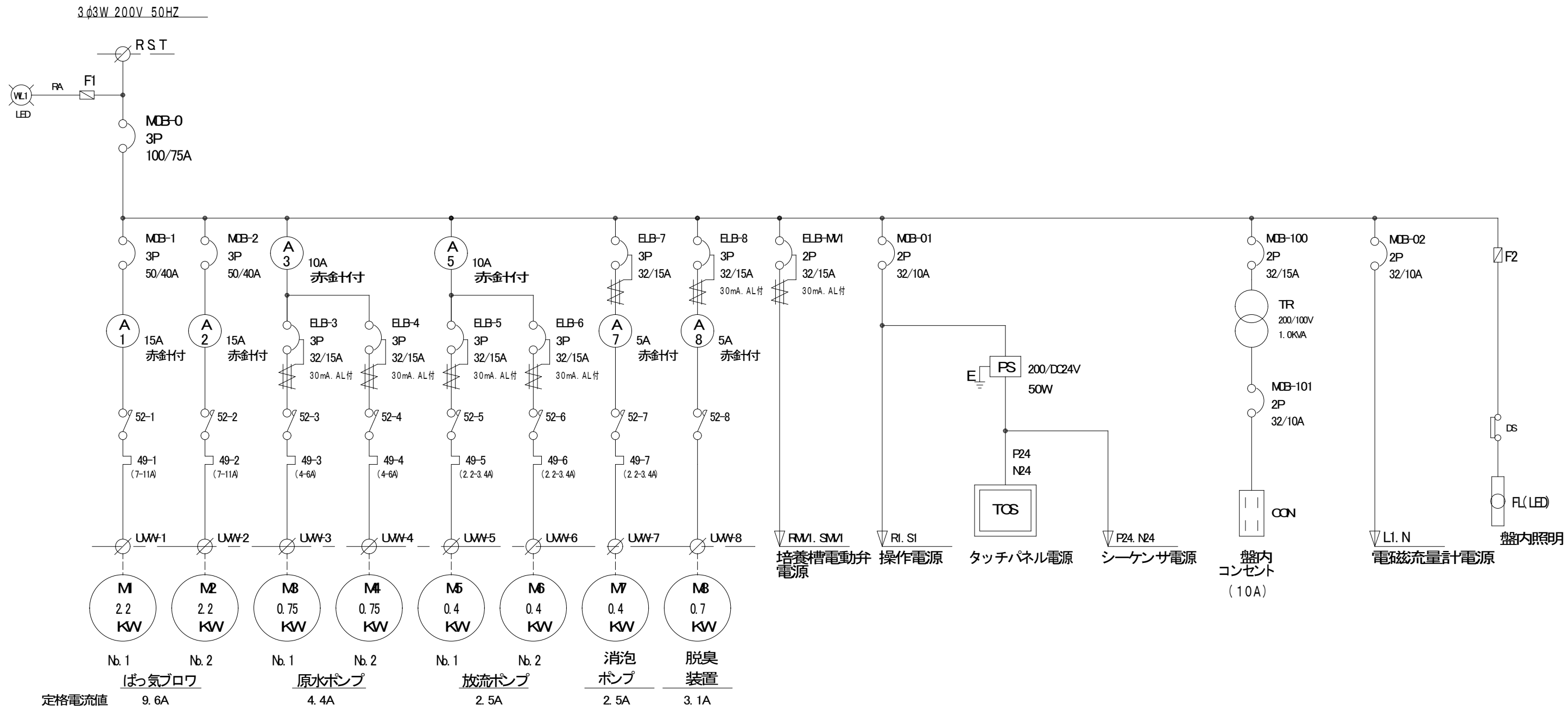


銘 板 表	
記号	名 称
NP-01	排水処理設備
1	No. 1 ばっ気ブロフ
2	No. 2 ばっ気ブロフ
3	No. 1 原水ポンプ
4	No. 2 原水ポンプ
5	No. 1 放流ポンプ
6	No. 2 放流ポンプ
7	消泡ポンプ
8	脱臭装置
9	培養槽電動弁電源
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	主幹
21	操作電源
22	100V一次側電源
23	盤内コンセント
24	電磁流量計電源
25	シーケンサ異常検出用タイマ
26	電源
27	一括警報
28	シーケンサ異常
29	原水ポンプ
30	放流ポンプ
31	電磁流量計変換器
KS1	警報出力 無効→有効
FB	ブザー停止

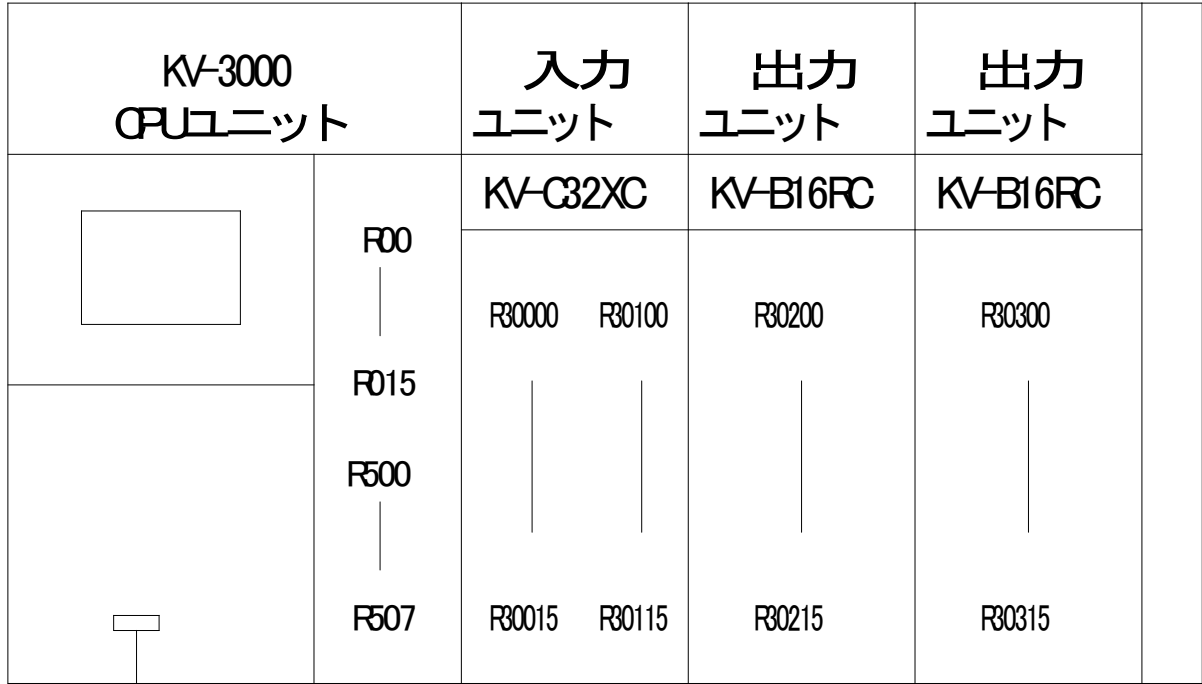
屋内自立型	
本体板厚	2.3
扉板厚	2.3
塗装色外面	S77/1 半ツヤ
塗装色内面	S77/1 半ツヤ

※主幹及び一次側端子台は、充電部保護カバー付き

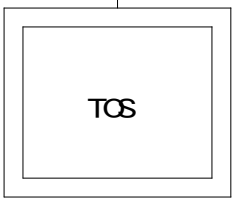
単線結線図



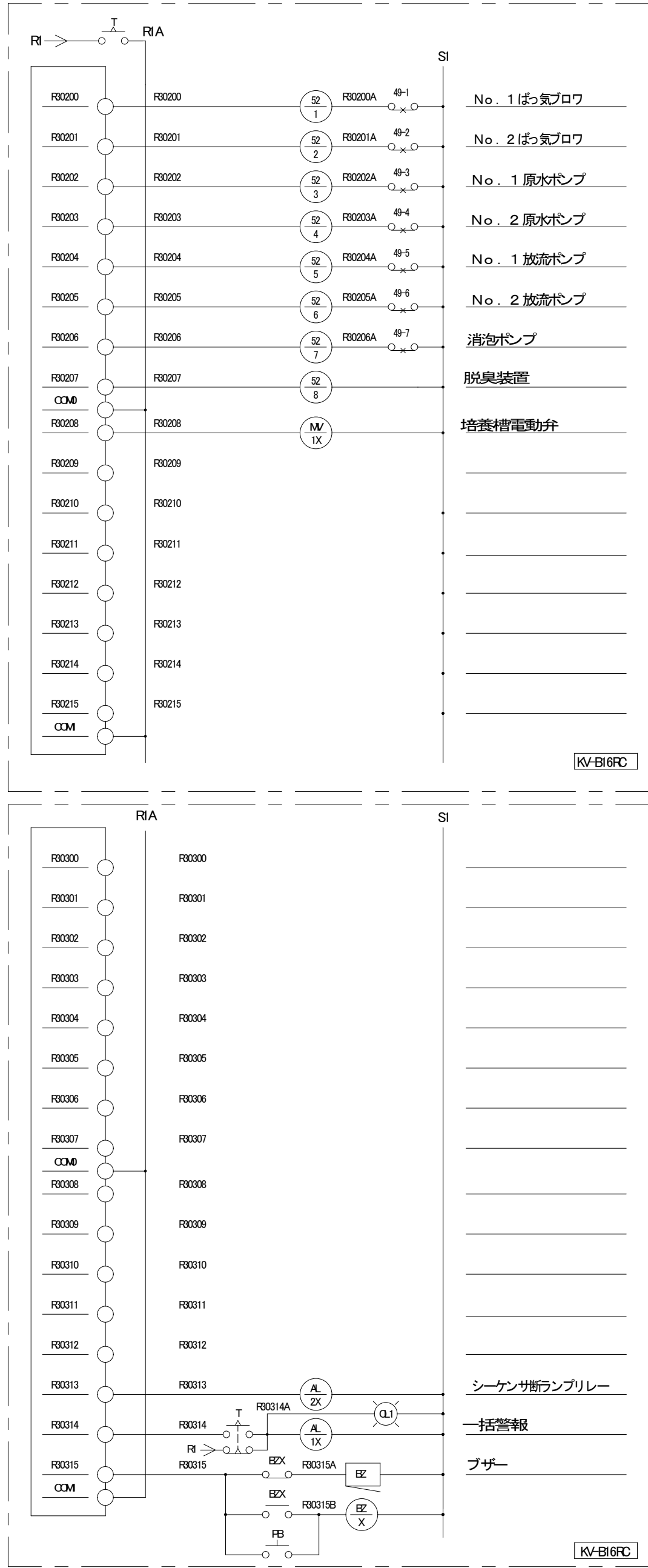
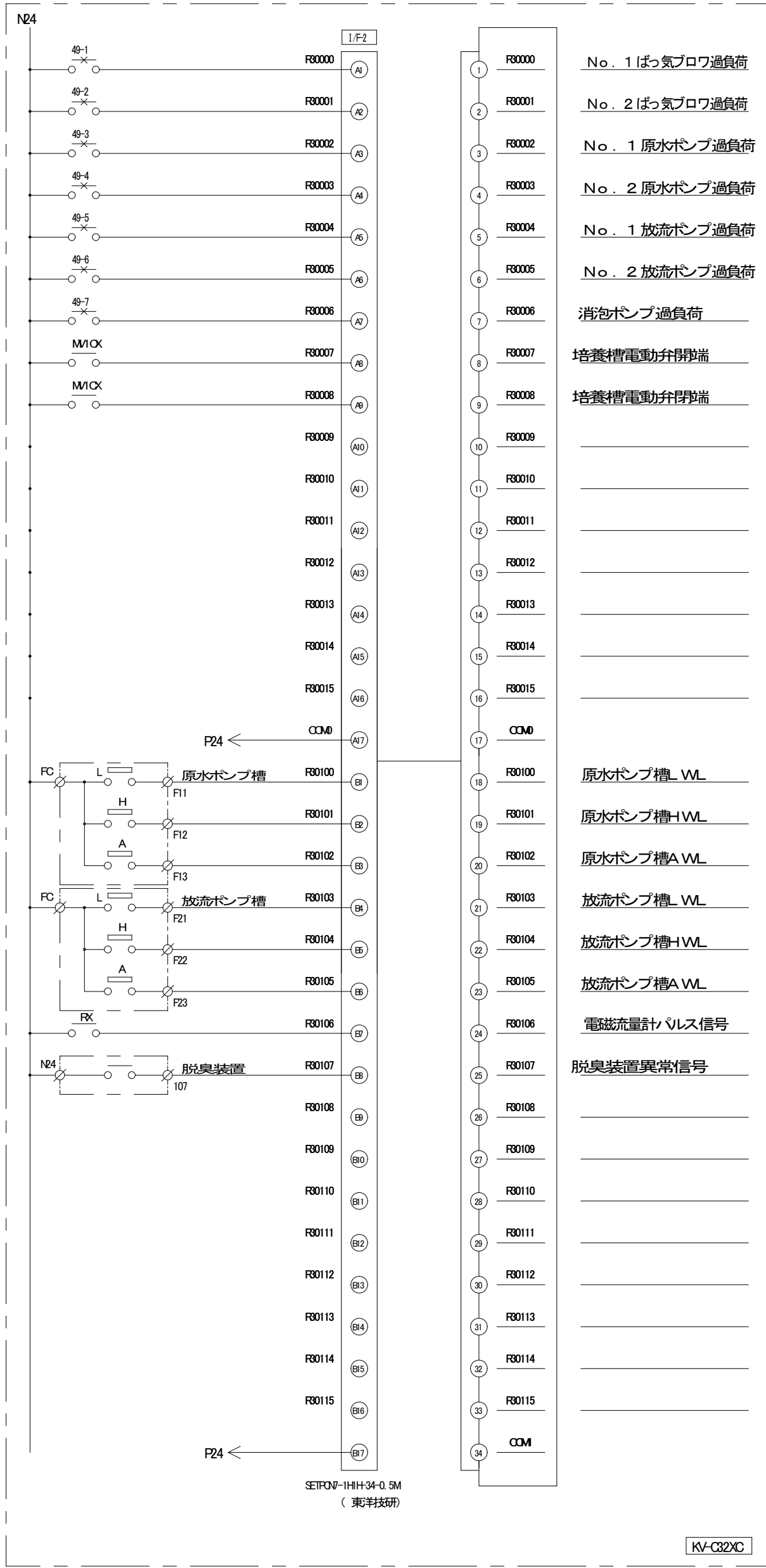
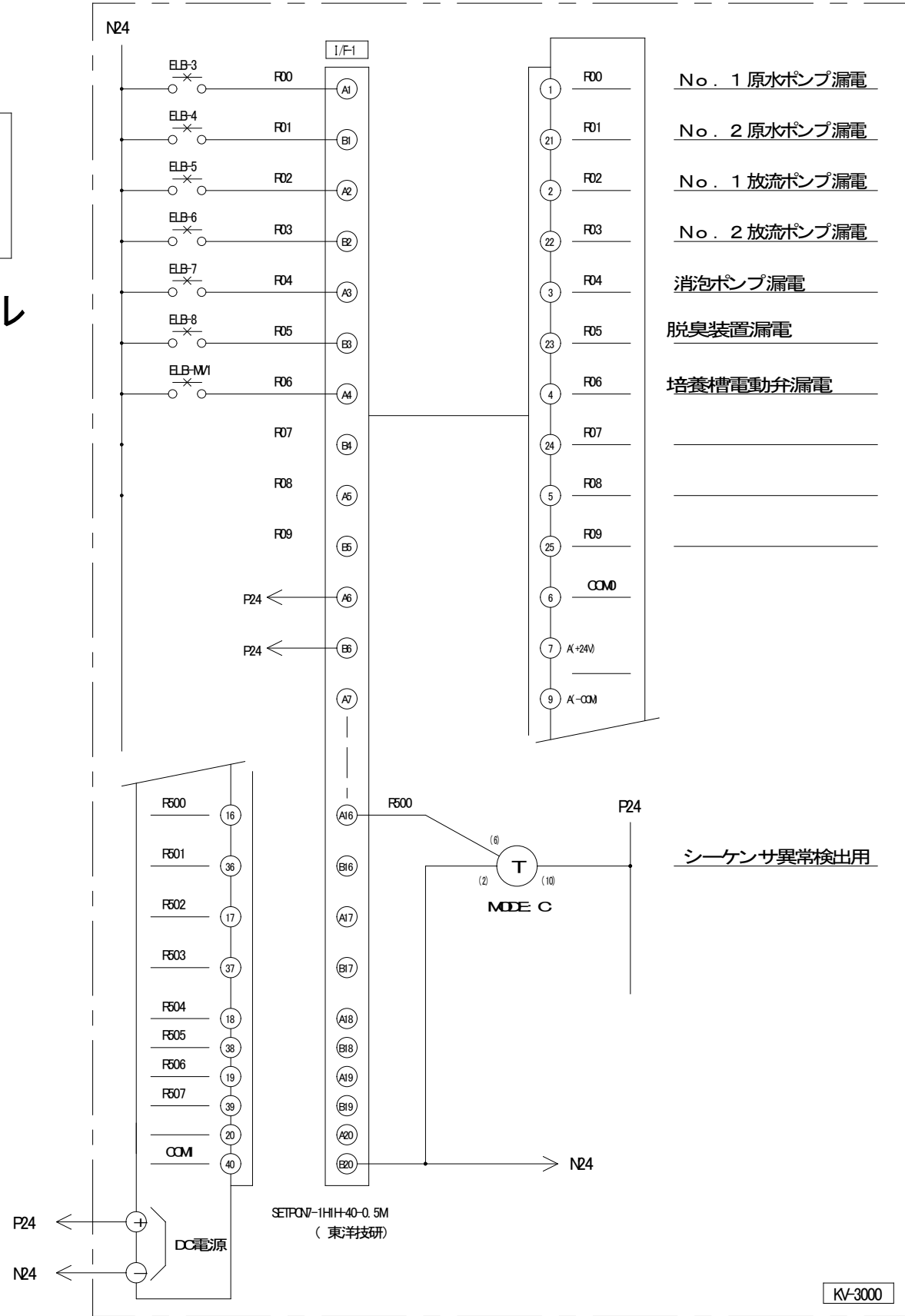
回路図



QP-86917



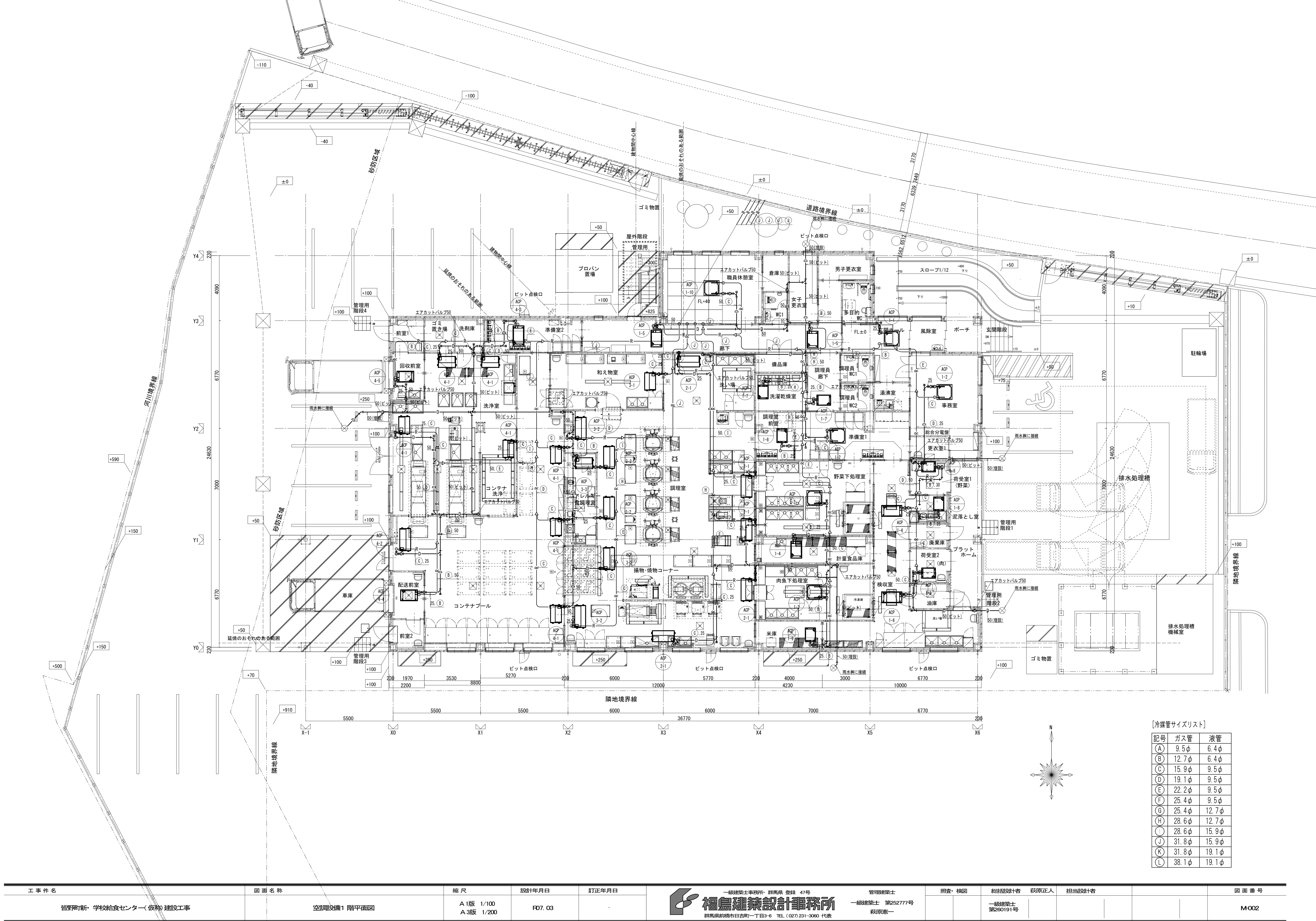
タッチパネル
VT5-W07M



記 号	名 称	仕 様	電 気 仕 様			台 数	設 置 場 所	備 考（参考型番）			
			φ	V	kW (W)						
ACP-1	ビル用マルチエアコン	形 式	床置型		圧縮機	3	200	12.9+13.3	1	屋上	RXYA950A φ15.9/φ31.8
	室外ユニット	冷房能力	95.0	kW	冷房時定格消費電力	3	200	27.5			
		暖房能力	106.0	kW	暖房時定格消費電力	3	200	29.7			質量334+272kg
		付 属 品	防振架台	ファン	3	200	(0.67x2) (0.66x2)			R32: 7. 2+6. 2kg	
ACP-1-1	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 4方向吹出						1	玄関ホール	FXYFA45AA φ6.4/φ12.7
	室内ユニット	冷房能力	4.5	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(41.0)			
		暖房能力	5.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(37.0)			質量29kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(46.0)
ACP-1-2	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 4方向吹出						3	事務室、準備室1、肉魚下処理室	FXYFA71AA φ9.5/φ15.9
	室内ユニット	冷房能力	7.1	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(72.0)			
		暖房能力	8.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(68.0)			質量28.5kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(53.0)
ACP-1-3	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 4方向吹出						1	野菜下処理室	FXYFA90AA φ9.5/φ15.9
	室内ユニット	冷房能力	9.0	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(128.0)			
		暖房能力	10.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(110.0)			質量31.5kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(106.0)
ACP-1-4	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 2方向吹出						1	計量食品庫	FXYCA36AA φ6.4/φ12.7
	室内ユニット	冷房能力	3.6	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(39.0)			
		暖房能力	4.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(35.0)			質量30kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(46.0)
ACP-1-5	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 2方向吹出						2	廊下	FXYCA45AA φ6.4/φ12.7
	室内ユニット	冷房能力	4.5	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(41.0)			
		暖房能力	5.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(37.0)			質量30kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(46.0)
ACP-1-6	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 2方向吹出						2	検収室	FXYCA71AA φ9.5/φ15.9
	室内ユニット	冷房能力	7.1	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(63.0)			
		暖房能力	8.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(64.0)			質量37kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(106.0)
ACP-1-7	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 1方向吹出						2	前室1、洗濯乾燥室	FXYKA22AA φ6.4/φ12.7
	室内ユニット	冷房能力	2.2	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(38.0)			
		暖房能力	2.5	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(38.0)			質量24.5kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(78.0)
ACP-1-8	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 1方向吹出						4	調理室前室、荷受室1 泥落とし室、荷受室2	FXYKA28AA φ6.4/φ12.7
	室内ユニット	冷房能力	2.8	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(54.0)			
		暖房能力	3.2	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(54.0)			質量24.5kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(78.0)
ACP-1-9	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 1方向吹出						1	米庫	FXYKA36AA φ6.4/φ12.7
	室内ユニット	冷房能力	3.6	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(59.0)			
		暖房能力	4.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(59.0)			質量24.5kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(78.0)
ACP-1-10	ビル用マルチエアコン	形 式	天井カセット型 4方向吹出						1	職員休憩室	FXYFA90AA φ9.5/φ15.9
	室内ユニット	冷房能力	9.0	kW	冷房時定格消費電力	1	200	(128.0)			
		暖房能力	10.0	kW	暖房時定格消費電力	1	200	(110.0)			質量31.5kg
		付 属 品	化粧パネル（センシング）	リモコン	検知器	警報器	遮断装置	ファン	1	200	(78.0)

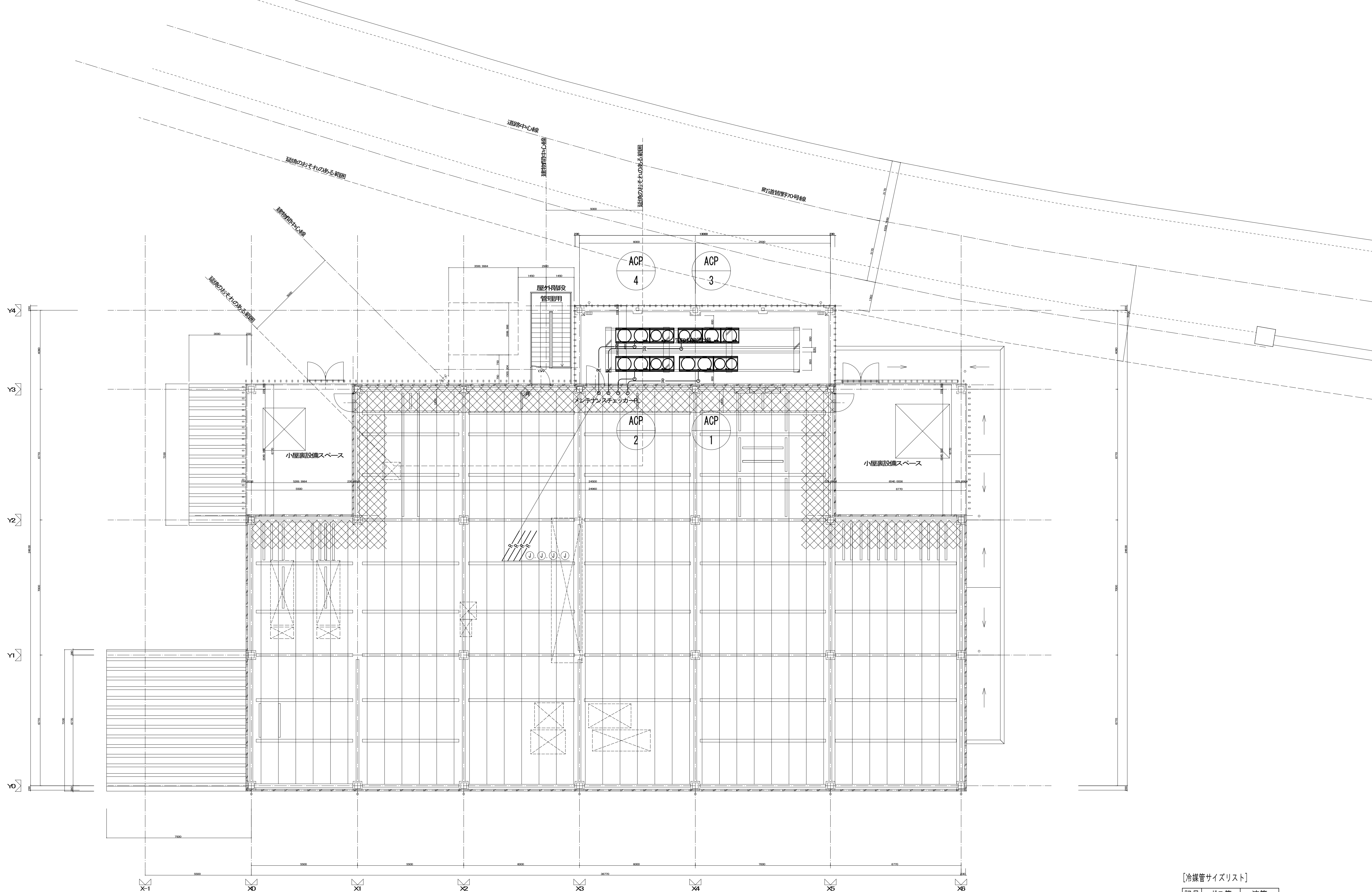
記 号	名 称	仕 様	電気仕様			台 数	設置場所	備考（参考型番）			
			φ	V	kW (W)						
ACP-2	ビル用マルチエアコン	形 式 床置型	圧縮機			3	200	12.9+13.3	1	屋上	RXYA950A
	室外ユニット	冷房能力 95.0 kW	冷房時定格消費電力			3	200	27.5			φ15.9/φ31.8
		暖房能力 106.0 kW	暖房時定格消費電力			3	200	29.7			質量334+272kg
		付 属 品 防振架台	ファン	3	200	(0.67x2) (0.66x2)					R32：7.2+6.2kg
ACP-2-1	ビル用マルチエアコン	形 式 厨房用エアコン									
	室内ユニット	冷房能力 14.0 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(218.0)	5	調理室	FXYTA140AA
		暖房能力 14.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(218.0)			φ9.5/φ15.9
		付 属 品 オイルガードフィルター リモコン	ファン	1	200	(130.0)					質量60kg
ACP-3	ビル用マルチエアコン	形 式 床置型	圧縮機			3	200	20.5+12.9	1	屋上	RXYA1120A
	室外ユニット	冷房能力 112.0 kW	冷房時定格消費電力			3	200	35.3			φ15.9/φ31.8
		暖房能力 125.0 kW	暖房時定格消費電力			3	200	37.8			質量335+334kg
		付 属 品 防振架台	ファン	3	200	(0.88x2) (0.67x2)					R32：7.5+7.2kg
ACP-3-1	ビル用マルチエアコン	形 式 厨房用エアコン									
	室内ユニット	冷房能力 8.0 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(127.0)	1	和え物室	FXYTA80AA
		暖房能力 8.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(117.0)			φ9.5/φ15.9
		付 属 品 オイルガードフィルター リモコン 検知器 警報器 遮断装置	ファン	1	200	(60.0)					質量48kg
ACP-3-2	ビル用マルチエアコン	形 式 厨房用エアコン									
	室内ユニット	冷房能力 14.0 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(218.0)	5	調理室	FXYTA140AA
		暖房能力 14.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(218.0)			φ9.5/φ15.9
		付 属 品 オイルガードフィルター リモコン	ファン	1	200	(130.0)					質量60kg
ACP-3-3	ビル用マルチエアコン	形 式 厨房用エアコン									
	室内ユニット	冷房能力 8.0 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(127.0)	1	アレルギー食調理室	FXYTA80AA
		暖房能力 8.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(117.0)			φ9.5/φ15.9
		付 属 品 オイルガードフィルター リモコン 検知器 警報器 遮断装置	ファン	1	200	(60.0)					質量48kg
ACP-4	ビル用マルチエアコン	形 式 床置型	圧縮機			3	200	20.2+13.1	1	屋上	RXYA1060A
	室外ユニット	冷房能力 106.0 kW	冷房時定格消費電力			3	200	32.9			φ15.9/φ31.8
		暖房能力 118.0 kW	暖房時定格消費電力			3	200	37.7			質量335+272kg
		付 属 品 防振架台	ファン	3	200	(0.88x2) (0.66x2)					R32：7.5+6.2kg
ACP-4-1	ビル用マルチエアコン	形 式 厨房用エアコン									
	室内ユニット	冷房能力 8.0 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(127.0)	7	洗浄室、コンテナプール	FXYTA80AA
		暖房能力 8.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(117.0)			φ9.5/φ15.9
		付 属 品 オイルガードフィルター リモコン 検知器 警報器 遮断装置	ファン	1	200	(60.0)					質量48kg
		※検知器・警報器・遮断装置は、洗浄室（4台）のみ設置									
ACP-4-2	ビル用マルチエアコン	形 式 厨房用エアコン									
	室内ユニット	冷房能力 14.0 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(218.0)	1	コンテナプール	FXYTA140AA
		暖房能力 14.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(218.0)			φ9.5/φ15.9
		付 属 品 オイルガードフィルター リモコン	ファン	1	200	(130.0)					質量60kg
ACP-4-3	ビル用マルチエアコン	形 式 天井カセット型 2方向吹出									
	室内ユニット	冷房能力 5.6 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(59.0)	1	準備室2	FXYCA56AA
		暖房能力 6.3 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(56.0)			φ6.4/φ12.7
		付 属 品 化粧パネル（センシング） リモコン 検知器 警報器 遮断装置	ファン	1	200	(46.0)					質量34kg
ACP-4-4	ビル用マルチエアコン	形 式 天井カセット型 2方向吹出									
	室内ユニット	冷房能力 3.6 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(39.0)	1	配送前室	FXYCA36AA
		暖房能力 4.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(35.0)			φ6.4/φ12.7
		付 属 品 化粧パネル（センシング） リモコン 検知器 警報器 遮断装置	ファン	1	200	(46.0)					質量30kg
ACP-4-5	ビル用マルチエアコン	形 式 天井カセット型 2方向吹出									
	室内ユニット	冷房能力 4.5 kW	冷房時定格消費電力			1	200	(41.0)	1	回収前室	FXYCA45AA
		暖房能力 5.0 kW	暖房時定格消費電力			1	200	(37.0)			φ6.4/φ12.

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	福島建築設計事務所 一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL (027) 231-3000 代表 管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査・検図		総括設計者	萩原正人	担当設計者		図面番号
皆野町新・学校給食センター(仮称)建設工事	空調設備 機器表	A 1版 1/100 A 3版 1/200	F07_03	.				一級建築士 第260191号				M-001



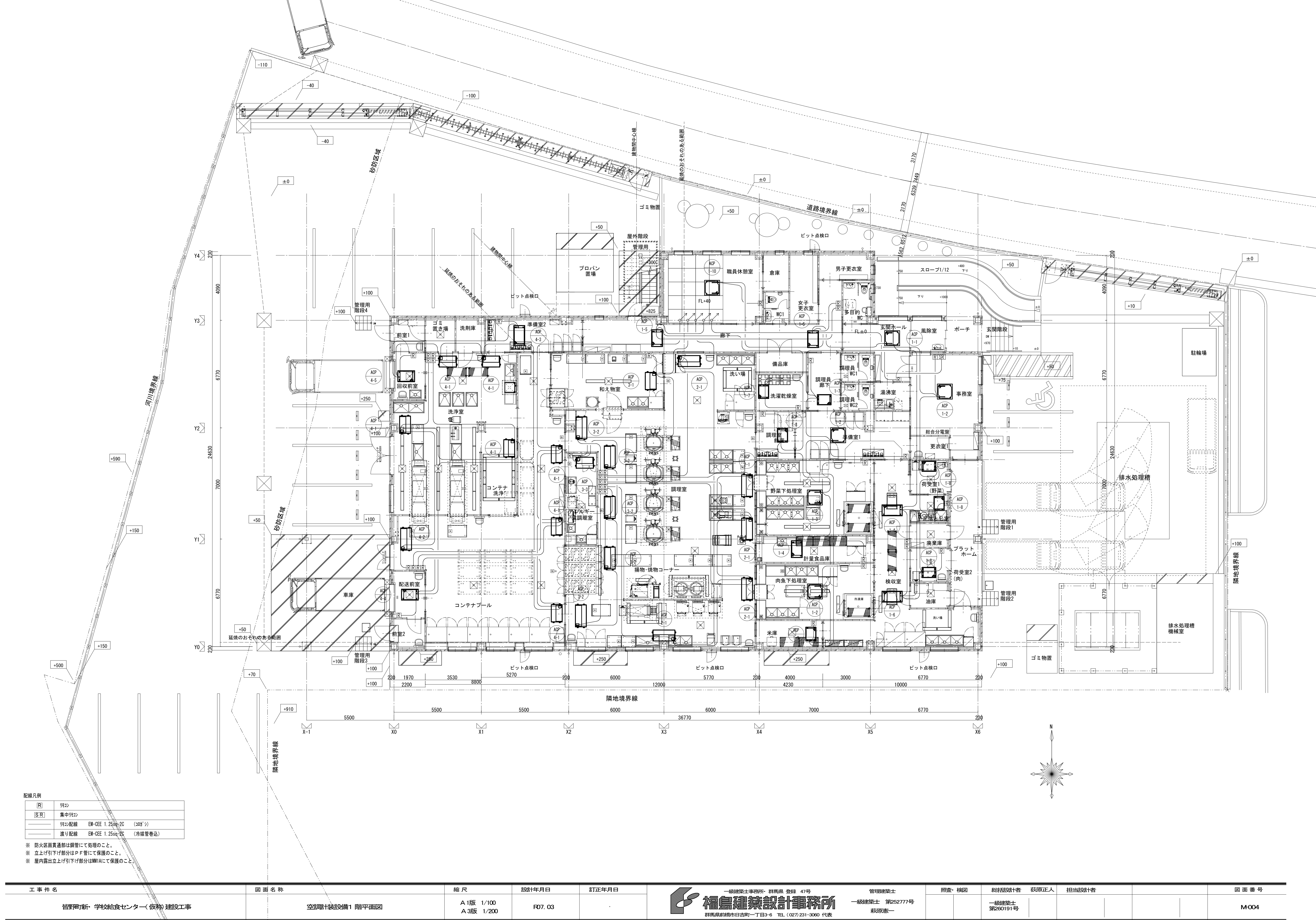
[冷媒管サイズリスト]		
記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	15.9φ
(K)	31.8φ	19.1φ
(L)	38.1φ	19.1φ

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市白吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩京憲一	照査・検図	経済部設計者 一級建築士 第260191号	萩京正人	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新 学校給食センター(仮称) 建設工事	空間設備1階平面図	A 1版 1/100 A 3版 1/200	F07. 03								M-002



[冷媒管サイズリスト]

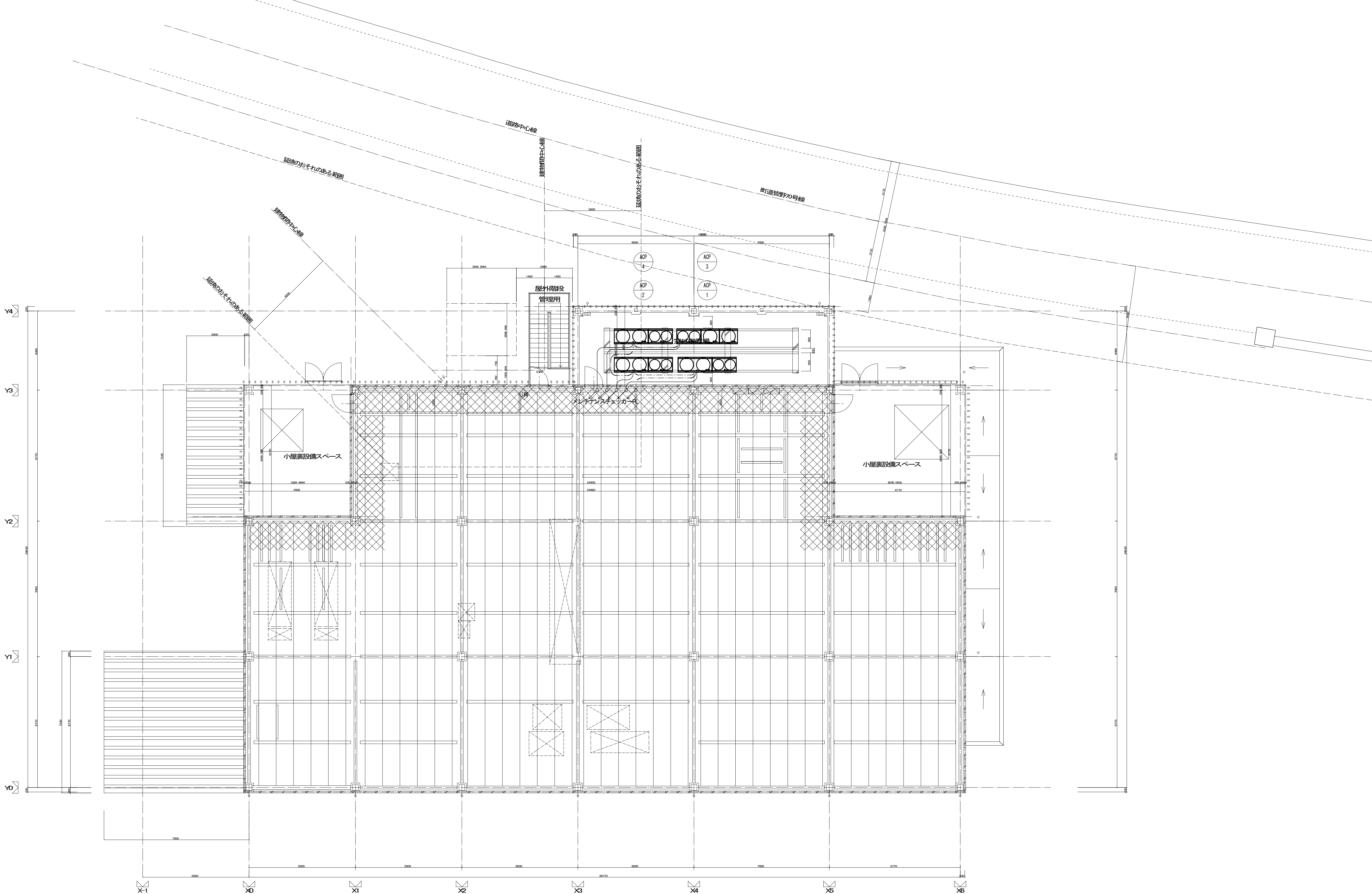
記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	15.9φ
(K)	31.8φ	19.1φ
(L)	38.1φ	19.1φ



配線凡例	
[R]	配線
[S R]	集中配線
—	配線 配線 EM-OEE 1.25sq-20 (30kg)
—	渡り配線 EM-OEE 1.25sq-20 (冷媒管巻込)

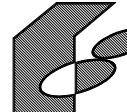
※ 防火区画貫通部は鋼管にて処理のこと。
※ 立上げ引下げ部分はP F管にて保護のこと。
※ 屋内露出立上げ引下げ部分はMMIAにて保護のこと。

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査・検図	経済部設計者 一級建築士 第260191号	萩原正人	担当設計者	図 面 番 号
皆野町新 学校給食センター(仮称) 建設工事	空調機計装設備1 階平面図	A 1版 1/100 A 3版 1/200	F07. 03								M-004



配線凡例	
	リヤ
	集中リヤ
	リヤ配線 EM-CEE 1.25sq-2C (200°)
	渡り配線 EM-CEE 1.25sq-2C (冷媒管巻込)

※ 防火区画貫通部は鋼管にて処理のこと。
※ 立上げ引下げ部分はP F 管にて保護のこと。
※ 屋内露出立上げ引下げ部分はMMIAにて保護のこと。

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	 一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3080 代表	管理建築士 一級建築士 第252777号 萩原憲一	照査・検図	総計設計者	萩原正人	担当設計者	図 面 番 号	
皆野町新・学校給食センター(仮称) 建設工事	空調機計装設備2 階平面図	A 1版 1/100 A 3版 1/200	F07. 03					一級建築士 第260191号				M-005

換気機器表

[illegible]

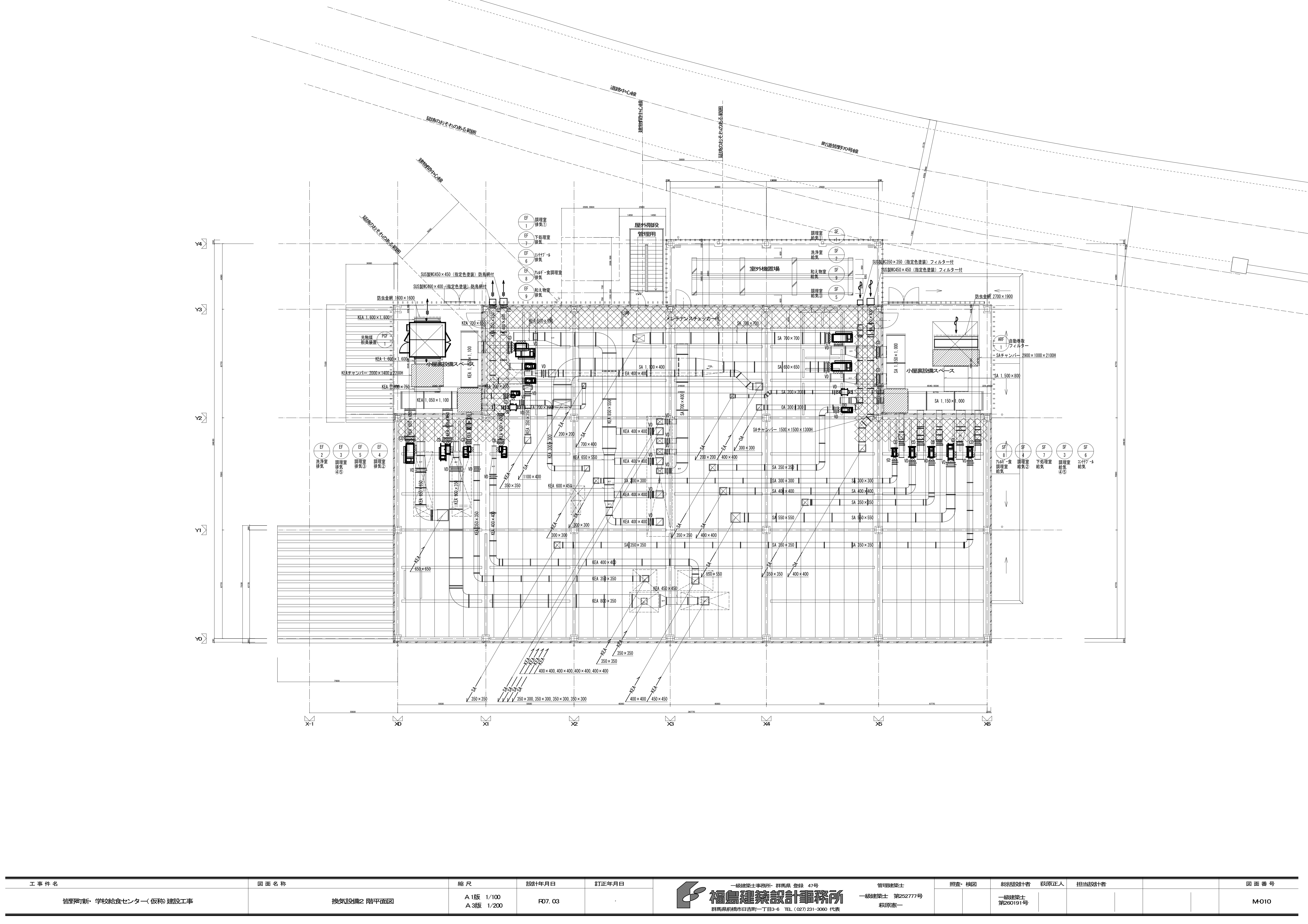
換氣機器表

[illegible]

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	 一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL (027) 231-3000 代表	管理建築士	照査・検図	総括設計者	萩原正人	担当設計者	図面番号
皆野町新・学校給食センター(仮称)建設工事	換気設備 機器表(2)	A 1版 N/S A 3版 N/S	F07.03	.		一級建築士 第252777号 萩原憲一			一級建築士 第260191号		

換気計算書

階	部屋名称	居室	床面積	天井高	室容積	換気方式	OA	風量計算														シックハウス対策換気量				住宅等以外	住宅等	備考						
		火気使用室						排気フード面風速		占有面積	法定換気量	人員による (人員× 20 m3/h・人)		換気回数による		設計風量	換気扇	決定 (機器) 風量		0.3	0.5													
		燃料種類						燃料消費量	電気 30 q	面積	面風速 (0.3m/s)	N	20Af/N	人密度	人員	計算風量	換気回数	計算風量		設計台数	排気 (EA)	給気 (OA)	判定	換気回数	計算風量	換気ルート	換気扇風量		換気扇台数	決定風量	換気回数	判定		
換気計算書		換気経路	(m2)	(m)	(m3)		又は、EA		q (kW)	燃料 40 kq	m2	(m3/h)	(m2/人)	(m3/h)	(人/m2)	(人)	(m3/h)	(回/h)	(m3/h)	(m3/h)	台	(m3/h)	(m3/h)		(回/h)	(m3/h)		(m3/h)	(台)	(m3/h)	(回/h)			
1	事務室	○	26.62	2.50	66.5	第1種	OA・EA											3	200	200	1	200	200	○	0.3	20			200	1	200	3.01	⋧0.30 ○K	HEX-1
1	更衣室		3.75	2.50	9.3	第3種	EA											5	47	50	1	50		○									F-1	
1	湯沸室		4.13	2.50	10.3	第3種	EA											5	52	100	1	100		○									F-10	
1	玄関ホール		12.91	2.50	32.2	第3種	EA											3	97	100	1	100		○									F-2	
1	廊下		35.69	2.50	89.2	第3種	EA											2	179	200	1	200		○									F-4	
1	倉庫		4.18	2.50	10.4	第3種	EA											5	52	100	1	100		○									F-6	
1	職員休憩室	○	29.18	2.50	72.9	第1種	OA・EA											3	219	250	1	250	250	○	0.3	22			250	1	250	3.43	⋧0.30 ○K	HEX-2
1	多目的WC		5.54	2.50	13.8	第3種	EA											10	138	150	1	150		○									F-7	
1	女子更衣室		8.36	2.50	20.9	第3種	EA											5	105	150	1	150		○									F-3	
1	男子更衣室		6.23	2.50	15.5	第3種	EA											5	78	100	1	100		○									F-2	
1	WC1		3.60	2.50	9.0	第3種	EA											10	90	100	1	100		○									F-6	
1	備品庫		4.10	2.50	10.2	第3種	EA											5	51	100	1	100		○									F-6	
1	荷受室1 (野菜)		5.50	2.50	13.7	第3種	EA											5	69	100	1	100		○									F-6	
1	廃棄庫		3.87	2.50	9.6	第3種	EA											5	48	50	1	50		○									F-5	
1	荷受室2 (肉)		5.50	2.50	13.7	第3種	EA											5	69	100	1	100		○									F-6	
1	油庫		4.05	2.50	10.1	第3種	EA											5	51	100	1	100		○									F-6	
1	検収室、泥落とし室	○	50.95	2.50	127.3	第1種	OA・EA											5	637	650	1	650	650	○	0.3	39			50	1	50	0.39	⋧0.30 ○K	F-5
1	調理員廊下		7.65	2.50	19.1	第3種	EA											5	96	100	1	100		○									F-6	
1	調理員WC1		3.91	2.50	9.7	第3種	EA											10	97	100	1	100		○									F-6	
1	調理員WC2		3.82	2.50	9.5	第3種	EA											10	95	100	1	100		○									F-6	
1	洗濯乾燥室		7.97	2.50	19.9	第3種	EA											12	239	250	1	250		○									F-8	
1	準備室1		22.26	2.50	55.6	第1種	OA・EA											5	278	300	1	300	300	○										
1	調理室前室		7.61	2.50	19.0	第1種	OA・EA											5	95	100	1	100	100	○										
1	野菜下処理室	○	35.58	2.50	88.9	第1種	OA・EA											5	445	450	1	450	450	○	0.3	27			50	1	50	0.56	⋧0.30 ○K	F-5
1	計量食品庫	○	12.91	2.50	32.2	第1種	OA・EA											5	161	200	1	200	200	○	0.3	10			50	1	50	1.55	⋧0.30 ○K	F-5
1	肉魚下処理室	○	26.86	2.50	67.1	第1種	OA・EA											5	336	350	1	350	350	○	0.3	21			50	1	50	0.75	⋧0.30 ○K	F-5
1	米庫		8.04	2.50	20.1	第1種	OA・EA											5	101	150	1	150	150	○										
1	調理室	○	190.72	3.00	572.1	第1種	OA・EA																		0.3	172			200	1	200	0.35	⋧0.30 ○K	F-11
1	和え物室	○	25.67	2.50	64.1	第1種	OA・EA											5	321	350	1	350	350	○	0.3	20			50	1	50	0.78	⋧0.30 ○K	F-9
1	アレルギー食調理室	○	11.86	2.50	29.6	第1種	OA・EA																		0.3	9			50	1	50	1.69	⋧0.30 ○K	F-9
1	準備室2		13.81	2.50	34.5	第3種	EA											7	242	250	1	250		○									F-8	
1	洗浄室 (コンテナ洗浄含む)	○	75.40	3.00	226.2	第1種	OA・EA																		0.3	68			100	1	100	0.44	⋧0.30 ○K	F-6
1	洗剤庫		4.19	2.50	10.4	第3種	EA											5	52	100	1	100		○									F-6	
1	ゴミ置き場		4.28	2.50	10.7	第3種	EA											5	54	100	1	100		○									F-6	
1	回収前室		6.60	2.50	16.5	第3種	EA																											



工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 年 月 日	一級建築士事務所・群馬県 登録 47号 福島建築設計事務所 群馬県前橋市日吉町一丁目3-6 TEL. (027) 231-3060 代表	管理建築士	照査・検図	経済部設計者	萩原正人	担当設計者		図 面 番 号
皆野町新・学校給食センター(仮称) 建設工事	換気設備2 階平面図	A 1版 1/100 A 3版 1/200	F07. 03			一級建築士 第252777号 萩原憲一		一級建築士 第260191号				M010